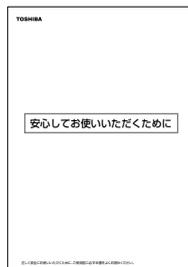


# マニュアルの使いかた

## 安心してお使いいただくために

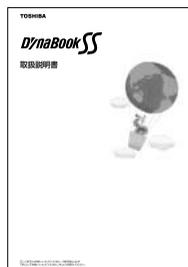
- パソコンをお取り扱いいただくための注意事項  
ご使用前に必ずお読みください。



## 取扱説明書（本書）

- Windowsのセットアップ
- 基本機能
- モバイル活用法
- 周辺機器の接続
- 困ったときは
- 再セットアップ

 パソコン画面で見る『オンラインマニュアル』  
↳ 「8章 1 オンラインマニュアルについて」



## リリース情報

- 本製品を使用するうえでの注意事項など  
必ずお読みください。

本製品の電源を入れた状態で、次のように操作します。

 [スタート] → [すべてのプログラム] → [はじめに] → [リリース情報]  
をクリック

 [スタート] → [はじめに] → [リリース情報] をクリック

# もくじ

マニュアルの使いかた .....	1
もくじ .....	2
はじめに .....	6

## 1章 セットアップ ..... 9

1 パソコンの準備 .....	10
1 電源コードとACアダプタの接続 .....	10
2 電源を入れる .....	11
2 Windows のセットアップ .....	12
1 セットアップの前に .....	12
2 Windows XP のセットアップ .....	14
3 Windows 2000 のセットアップ .....	20
3 ユーザ登録 .....	28
1 東芝へのユーザ登録 .....	28
2 その他のユーザ登録 .....	29

## 2章 電源を入れる／切る ..... 31

1 電源を入れる .....	32
2 電源を切る .....	36
3 パソコンの使用を中断する .....	38
1 スタンバイ .....	38
2 休止状態 .....	41
4 簡単に電源を切る／使用を中断する .....	43

### 3章 本体の機能..... 45

1	各部の名称.....	46
2	音量の調節.....	54
3	タッチパッド.....	55
4	キーボード.....	58
	1 キーボードについて.....	58
	2 日本語を入力するには.....	65
5	モデム機能.....	66
6	LAN 機能.....	72
	1 ケーブルを使ったLAN接続（有線LAN）.....	72
	2 ケーブルを使わないLAN接続（無線LAN）.....	72
	3 ネットワーク設定／デバイスを切り替える.....	79
7	PC カード.....	81
8	SD メモリカード.....	84
9	コンパクトフラッシュカード.....	87
10	CRT ディスプレイの接続.....	89
11	メモリの増設.....	91

## 4章 パソコンを持ち歩く ..... 95

- 1 バッテリについて ..... 96
  - 1 バッテリを充電する ..... 99
  - 2 バッテリ充電量を確認する ..... 101
  - 3 バッテリパックを交換する ..... 105
- 2 省電力の設定 ..... 106
- 3 大容量バッテリー ..... 111

## 5章 システム構成とパスワード ..... 115

- 1 東芝 HW セットアップ ..... 116
- 2 セットアッププログラム ..... 120
  - 1 起動 ..... 120
  - 2 終了 ..... 121
  - 3 セットアッププログラムの画面 ..... 122
  - 4 設定項目 ..... 124
- 3 パスワードセキュリティ ..... 134
  - 1 ユーザパスワード ..... 136
  - 2 スーパーバイザパスワード ..... 140
  - 3 パスワードの入力 ..... 141

## 6章 困ったときは ..... 143

- 1 困ったときは ..... 144
  - 1 Q&A 集を見る前に ..... 147
  - 2 Q&A 集 ..... 148

## 7章 再セットアップ ..... 193

- 1 再セットアップとは ..... 194
- 2 標準システムを復元する ..... 196
- 3 標準システムインストール起動ディスクを使う .... 200
- 4 パーティションの設定 ..... 204

## 8章 パソコンの取り扱い ..... 207

- 1 オンラインマニュアルについて ..... 208
- 2 日常の取り扱いとお手入れ ..... 209
- 3 アフターケアについて ..... 213
- 4 廃棄・譲渡について ..... 214
- 5 アプリケーションのお問い合わせ先 ..... 217

## 付録 ..... 219

- 1 製品仕様 ..... 220
- 2 各インタフェースの仕様 ..... 227
- 3 技術基準適合について ..... 230

東芝 PC ダイアルのご案内 ..... 243

    東芝 PC ダイアル ..... 243

    トラブルチェックシート ..... 245

さくいん ..... 247

# はじめに

本製品を安心してお使いいただくために重要な事項が添付の冊子『安心して  
お使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお  
使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようにお手元大切に  
保管してください。

本書は、次のきまりに従って書かれています。

## 記号の意味

 <b>警告</b>	"取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること"を示します。	
 <b>注意</b>	"取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること"を示します。	
 <b>お願い</b>	データの消失や、故障、性能低下をおこさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。	
 <b>メモ</b>	知っておくと便利な内容を示します。	
 <b>用語</b>	覚えておくと役に立つ用語を示します。	
 <b>XP</b>  <b>2000</b>	本書はWindows XP、Windows 2000モデルに共通の説明書です。それぞれに固有の操作や機能名称を示すときは次のマークを使用しています。 ご購入の製品に応じた部分をお読みください。	
	 <b>XP</b>	Windows XPモデルに固有の操作や機能名称などを示します。
	 <b>2000</b>	Windows 2000モデルに固有の操作や機能名称などを示します。
 <b>参照</b>	このマニュアルや他のマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合…「 」 他のマニュアルへの参照の場合…『 』	

- \* 1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
- \* 2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
- \* 3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。

## 用語について

---

本書では、次のように定義します。

システム ..... 特に説明がない場合は、ご使用になるオペレーティングシステム (OS) を示します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト  
..... アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows XP ..... Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版を示します。

Windows 2000 ..... Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版を示します。

MS-IME ..... Microsoft® IME スタンダード 2002 または Microsoft® IME2000 を示します。

無線 LAN モデル ..... 無線 LAN の機能が内蔵されているモデルを示します。

コンパクトフラッシュモデル  
..... コンパクトフラッシュカードスロットが内蔵されているモデルを示します。

## 記載について

---

- ・ 本書で使用しているパソコン本体のイラストは、無線 LAN モデルです。必要箇所のみ、コンパクトフラッシュモデルのイラストを使って説明しています。
- ・ 本書に記載している画面は、表示例です。実際に表示される画面と異なる場合があります。

## Trademarks

---

- ・ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Intel、インテル、Pentium、インテル SpeedStep は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標、または登録商標です。

・ Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

本書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

## 著作権について

---

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的に又は家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。

上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切にご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

## お願い

---

- ・ 本製品の内蔵ハードディスクにインストールされているシステム（OS）、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。
- ・ 無線 LAN モデルで、無線 LAN の使用によるデータの盗聴、およびそれによる被害に関しては保証いたしかねます。
- ・ 内蔵ハードディスクにインストールされているシステム（OS）は、本製品でのみご利用いただけます。
- ・ ご購入時に定められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。お取り扱いにはご注意願います。
- ・ パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを削除できなくなった場合は、お使いの機種を確認後、お近くの保守サービスにご依頼ください。パスワードの解除を保守サービスにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

本製品のお客様登録（ユーザ登録）をあらかじめ行っていただくようお願いしております。

本体同梱の「お客様登録カード」またはインターネット経由で登録できます。



参照 詳細について ⇨ 「1 章 3-1 東芝へのユーザ登録」

保証書は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

# 1章 セットアップ

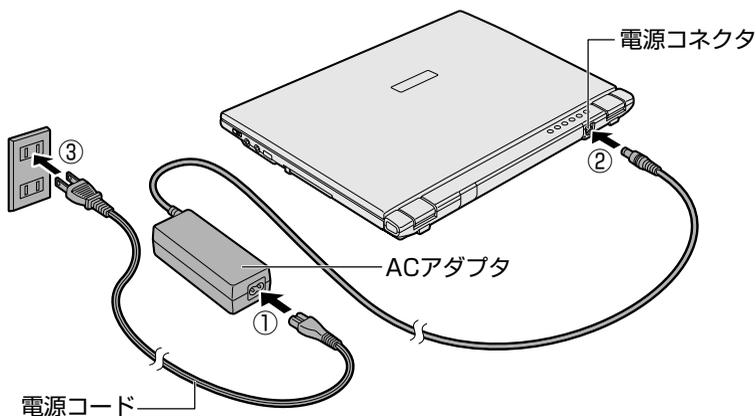
1	パソコンの準備 .....	10
2	Windows のセットアップ .....	12
3	ユーザ登録 .....	28

# 1

## パソコンの準備

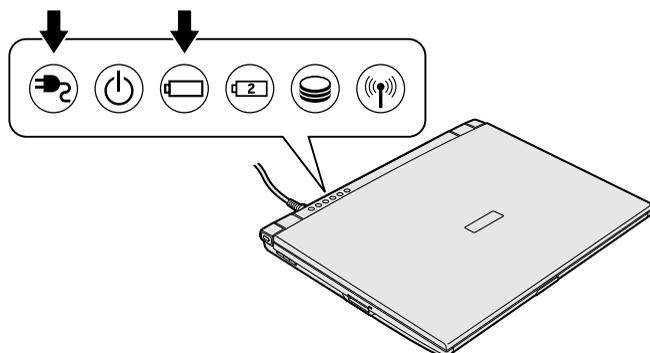
### 1 電源コードとACアダプタの接続

電源コードとACアダプタの接続は、次の図の①→②→③の順に行います。はずすときは、逆の③→②→①の順で行います。



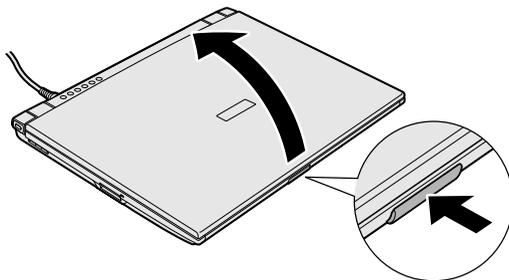
#### ■ 接続すると

DC IN LED が緑色に点灯します。また、Battery LED がオレンジ色に点灯し、バッテリーへの充電が自動的に始まります。

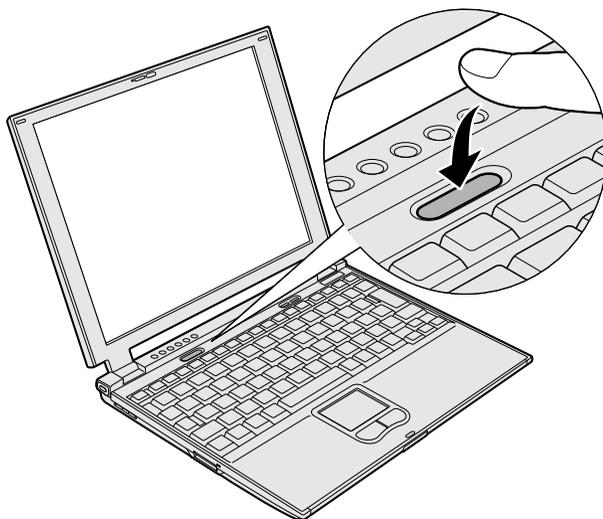


## 2 電源を入れる

- 1 ディスプレイ開閉ラッチを押して、ディスプレイを開ける  
両手を使ってゆっくり起こしてください。



- 2 Power  LED が緑色に点灯するまで、電源スイッチを押す



# 2

## Windows のセットアップ

セットアップを始める前に、『安心してお使いいただくために』を必ずお読みください。特に電源コードや AC アダプタの取り扱いについて、よくお読みになり、注意事項をお守りください。

### 1 セットアップの前に

#### セットアップをするときの注意

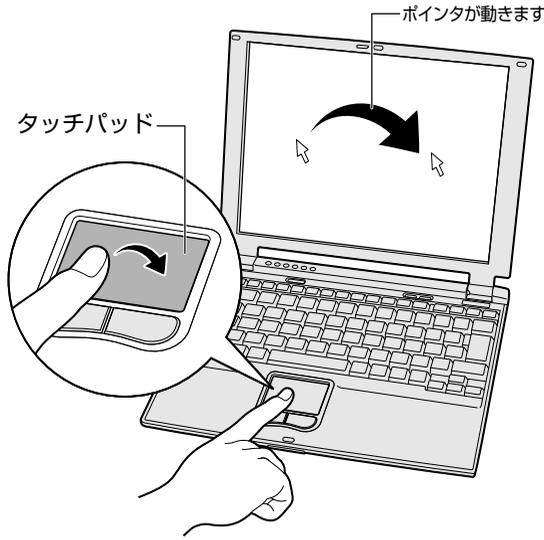
- 周辺機器は接続しないでください  
セットアップは AC アダプタと電源コードのみを接続した状態で行ってください。セットアップが完了するまでプリンタ、マウスなどの周辺機器は接続しないでください。
- 途中で電源を切らないでください  
セットアップの途中で電源スイッチを押したり電源コードを抜くと、故障の原因になります。
- 操作は時間をあけないでください  
セットアップ中にキー操作が必要な画面があります。時間をあけないで操作を続けてください。30 分以上タッチパッドやキーボードを操作しなかった場合、画面に表示される内容が見えなくなりますが、故障ではありません。もう 1 度表示するには、(Shift)キーを押すか、タッチパッドに触れてください。



- プロダクトキーがパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。  
このラベルは、絶対になくさないでください。再発行はできません。紛失した場合、マイクロソフト社からの保守サービスが受けられなくなります。

## タッチパッドの使いかた

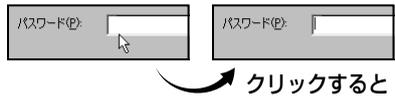
タッチパッドに指を置き、押さえながら前後左右に動かします。指の動きに合わせてディスプレイ上の「」（ポインタ）が動きます。



タッチパッド手前の左ボタンを1回押す操作を「クリック」といいます。



 を文字入力欄に合わせてクリックすると、「」（カーソル）が点滅します。「」の位置から入力できます。



## 2 Windows XP のセットアップ

次の手順に従ってセットアップを行ってください。

初めて電源を入れると、[Microsoft Windows へようこそ] 画面が表示されます。



- Windows セットアップのヘルプを表示するには、画面右下の  ボタンをクリックするか **(F1)** キーを押します。
- 本製品の音量調節はソフトウェアで行いますので、セットアップ中に流れる音楽は調節できません。セットアップ終了後、Windows 起動時にキーボードでの調節が可能になります。

 参照  音量の調節について  「3章 2 音量の調節」

- 1 [次へ] ボタンをクリックする  
[使用許諾契約] 画面が表示されます。



- 2 画面下部の [同意します] をチェックして [次へ] ボタンをクリックする

契約の内容を必ずお読みください。

表示されていない部分を見るには、▲▼ボタンをクリックして、画面をスクロールさせてください。なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。

-  ● [同意しません] を選択した場合は、次にパソコンを起動したとき、最初からセットアップをやり直す必要があります。

[コンピュータに名前を付けてください] 画面が表示されます。



- 3 コンピュータ名を入力して [次へ] ボタンをクリックする  
コンピュータ名を入力せずに [省略] ボタンをクリックしても  
セットアップを続行することができます。  
[管理者パスワードを設定してください] 画面が表示されます。



#### 4 [管理者パスワード] にパスワードを入力する

Administrator と呼ばれる管理者のユーザアカウントでは、コンピュータにフルアクセスできます。パスワードには、半角の英数文字および記号を使用することができます。



- パスワードは大文字と小文字が区別されますので注意してください。例えば「PASSWORD」と「password」は別のパスワードとして識別されます。

- 5 [パスワードの確認入力] にもう1度パスワードを入力し、  
[次へ] ボタンをクリックする  
[このコンピュータをドメインに参加させますか?] 画面が表示  
されます。



- 6 ドメインの設定を選択し、[次へ] ボタンをクリックする  
ドメインの設定が必要な場合は、[はい、このコンピュータを次の  
ドメインのメンバにします] をチェックし、テキストボックス  
にドメイン名を入力してください。  
[インターネット接続が選択されませんでした] または [イン  
ターネットに接続する方法を指定してください] 画面が表示され  
ます。



## 7 [省略] ボタンをクリックする

インターネットに接続する設定は、セットアップ完了後に行えますので、ここでは省略した場合について説明します。

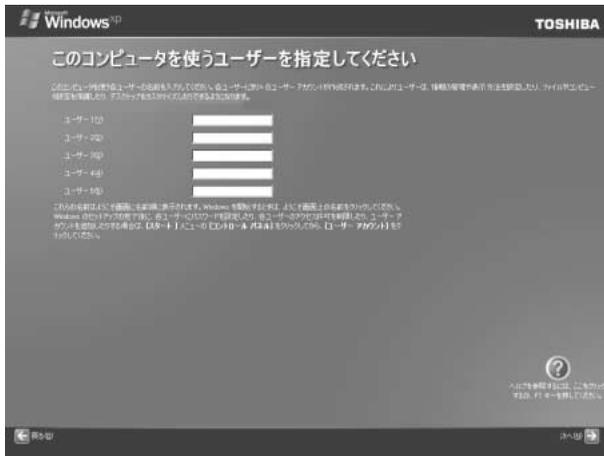
[Microsoft にユーザー登録する準備はできましたか?] 画面が表示されます。



## 8 [いいえ、今回はユーザー登録しません] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックする

マイクロソフト社へのユーザー登録は、セットアップ完了後に行えますので、ここでは省略した場合について説明します。

[このコンピュータを使うユーザーを指定してください] 画面が表示されます。



## 9 [ユーザー 1] 欄に使う人の名前を入力する

Windows XP では複数 (5 人まで) のユーザを設定し、それぞれのユーザごとに別々の環境を構築できますが、ここでは 1 人の名前だけ入力した場合について説明します。



- ひらがなや漢字の入力のしかた

標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。

例：“なかた” または “中田” と入力する場合

### 1 (N)(A)(K)(A)(T)(A) とキーを押す

“なかた” と表示されます。入力ミスをした場合は、(BackSpace) キーを押して入力ミスした文字を削除します。

### 2 ひらがなのままでよい場合は、(Enter) キーを押す

“なかた” で確定されます。

漢字に変換する場合は (Space) キーを押し、目的の漢字が表示されたら、(Enter) キーを押す

(Space) キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。

(Enter) キーを押すと、選択した漢字で確定します。

## 10 [次へ] ボタンをクリックする

[設定が完了しました] 画面が表示されます。



## 11 [完了] ボタンをクリックする

Windows のセットアップが終了してパソコンが再起動し、ログイン画面が表示されます。

-  ● 次のようなパーティションがハードディスクに作成されています。
- C ドライブ : NTFS システム
  - 東芝とマイクロソフト社へのユーザ登録を行ってください。

 ユーザ登録について ⇨ 「本章 3 ユーザ登録」

### ■ Windows の使いかた

Windows の使いかたについては、『Microsoft Windows XP Professional ファーストステップガイド』、または [スタート] → [ヘルプとサポート] をクリックして、『Windows のヘルプ』をご覧ください。

## 3 Windows 2000 のセットアップ

次の手順に従ってセットアップを行ってください。

初めて電源を入れると、[Windows 2000 セットアップウィザードの開始] 画面が表示されます。

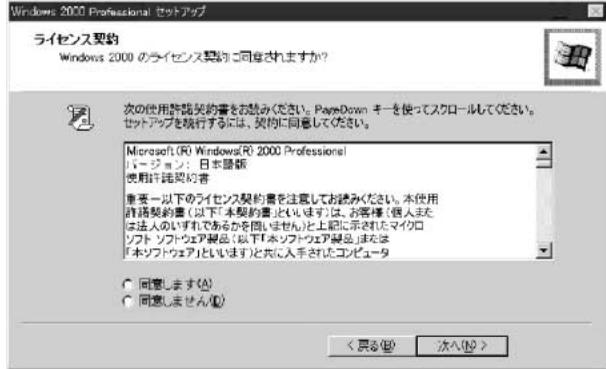


## 1 [次へ] ボタンをクリックする

[ライセンス契約] 画面が表示されます。

契約の内容を必ずお読みください。

表示されていない部分を見るには、▲▼ボタンをクリックして、画面をスクロールさせてください。なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。



## 2 画面下部の [同意します] をチェックして [次へ] ボタンをクリックする

- メモ** ● [同意しません] を選択した場合は、次にパソコンを起動したとき、最初からセットアップをやり直す必要があります。

[ソフトウェアの個人用設定] 画面が表示されます。



### 3 名前と組織名を入力する

名前は必ず入力してください。組織名は省略できます。組織名を入力するには、名前の入力後(Tab)キーを押します。



- 日本語入力システムが起動しています。

ひらがなや漢字の入力のしかた

標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。

例：“なかた” または “中田” と入力する場合

#### 1 (N)(A)(K)(A)(T)(A)とキーを押す

“なかた” と表示されます。入力ミスをした場合は、

(BackSpace)キーを押して入力ミスした文字を削除します。

#### 2 ひらがなのままでよい場合は、(Enter)キーを押す

“なかた” で確定されます。

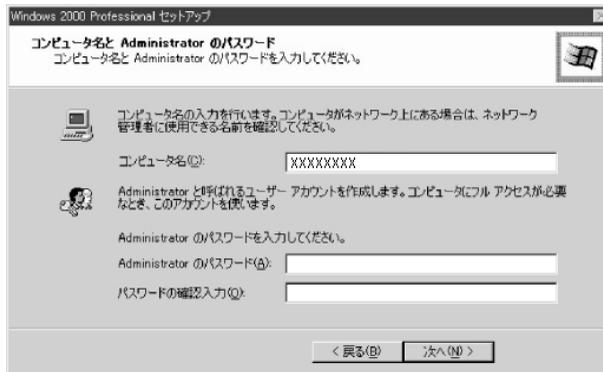
漢字に変換する場合は(Space)キーを押し、目的の漢字が表示されたら、(Enter)キーを押す

(Space)キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。

(Enter)キーを押すと、選択した漢字で確定します。

### 4 [次へ] ボタンをクリックする

[コンピュータ名と Administrator のパスワード] 画面が表示されます。



- 5 コンピュータ名と Administrator のパスワードを入力する  
コンピュータ名は自動で作成されます。変更する場合は、半角英数字で 15 字以内の名前を入力してください。

Administrator と呼ばれるユーザ名を作成します。コンピュータにフルアクセスする場合に使用します。パスワードには、半角の英数文字および記号を使用することができます。



- パスワードは大文字と小文字が区別されますので注意してください。例えば、「PASSWORD」と「password」は別のパスワードとして識別されます。

- 6 [次へ] ボタンをクリックする  
[日付と時刻の設定] 画面が表示されます。



- 7 [日付と時刻] の設定をする

日付と時刻を確認します。

タイムゾーンで「(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京」が選択されていることを確認します。

「(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京」が選択されていない場合は▼ボタンをクリックし、一覧から選択してください。

## 8 [次へ] ボタンをクリックする

[ネットワークの設定] 画面が表示されます。



## 9 ネットワークの設定をする

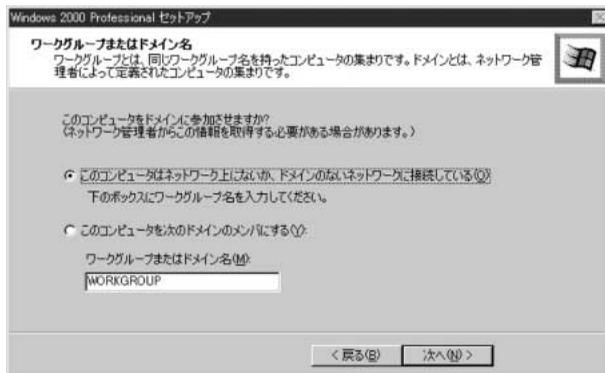
ネットワークの設定はネットワーク管理者にお問い合わせください。  
標準設定またはカスタム設定のどちらかを選択してください。



- 標準設定：Microsoft ネットワーククライアント、Microsoft ネットワークのファイルとプリンタの共有サービス、アドレスを自動的に指定する TCP/IP トランスポートプロトコルを使ってネットワーク接続を作成します。
- カスタム設定：手でネットワークコンポーネントを構成することができます。

## 10 [次へ] ボタンをクリックする

[ワークグループまたはドメイン名] 画面が表示されます。



## 11 ワークグループまたはドメイン名の設定をする

ワークグループまたはドメインのどちらかを選択してください。選択後、[ワークグループまたはドメイン名] にワークグループ(ドメイン) 名を入力してください。

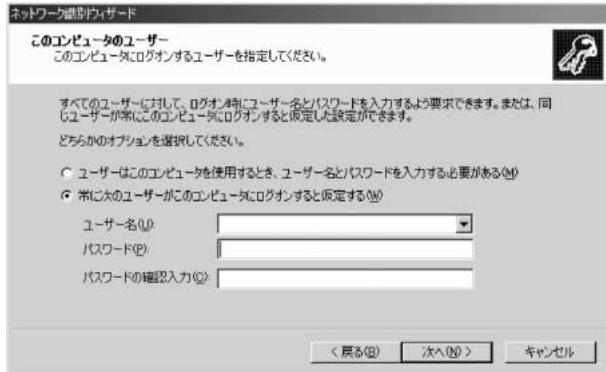
## 12 [次へ] ボタンをクリックする

設定の保存後、再起動します。再起動後に [ネットワーク識別ウィザードの開始] 画面が表示されます。ここで、コンピュータをネットワークに接続する手続きをします。



## 13 [次へ] ボタンをクリックする

[このコンピュータのユーザー] 画面が表示されます。



## 14 ユーザの設定をする

このコンピュータで使用するユーザを指定します。

- [ユーザーはこのコンピュータを使用するとき、ユーザー名とパスワードを入力する必要がある]  
…指定したユーザでパスワードを入力してからログオンします。
- [常に次のユーザーがこのコンピュータにログオンすると仮定する]  
…指定したユーザで自動的にログオンします。  
ここで指定できるユーザは手順3で入力した名前、あるいは Administrator です。  
▼ボタンをクリックして選択してください。

## 15 [次へ] ボタンをクリックする

[ネットワーク識別ウィザードの終了] 画面が表示されます。



## 16 [完了] ボタンをクリックする

Windows 2000 のセットアップを完了しました。

手順 14 で [ユーザーはこのコンピュータを使用するとき…] を選択した場合、[Windows へのログオン] 画面が表示されます。Administrator パスワードを入力して、[OK] ボタンをクリックすると、Administrator でログオンし、[Windows 2000 の紹介] 画面が表示されます。

手順 14 で [常に次のユーザーがこのコンピュータに...] を選択した場合、指定されたユーザ (Administrator または例: 中田) で自動的にログオンし、[Windows 2000 の紹介] 画面が表示されます。



- [Windows 2000 の紹介] の下部にあるチェックボックス (スタートアップ時にこの画面を表示) をクリックしてチェックを解除すると、次に Windows 2000 が起動したときは [Windows 2000 の紹介] は表示されません。  
[Windows 2000 の紹介] 画面を再表示するには、[スタート] → [プログラム] → [アクセサリ] → [システムツール] → [はじめに] をクリックしてください。
- 次のようなパーティションがハードディスクに作成されています。  
C ドライブ: NTFS システム
- 東芝とマイクロソフト社へのユーザ登録を行ってください。



ユーザ登録について → 「本章 3 ユーザ登録」

## ■ Windows の使いかた

Windows の使いかたについては、『クイックスタートガイド』、または [スタート] → [ヘルプ] をクリックして、『Windows のヘルプ』をご覧ください。

# 3

## ユーザ登録

### 1 東芝へのユーザ登録

本製品をお使いになるにあたって、お客様へのサービス・サポートを充実させるために東芝へのユーザ登録をおすすめしています。

東芝パソコンをさらに便利に使っていただくためのノウハウ、新商品やイベント情報のご案内などの特典があります。

登録は、インターネットまたは同梱されている「登録はがき」で行います。

#### ■ 東芝ホームページから登録する

インターネットに接続するための設定を行った後、次のアドレスを入力して、表示された画面から登録してください。

[http://www3.toshiba.co.jp/tpmc/userj/index\\_j.htm](http://www3.toshiba.co.jp/tpmc/userj/index_j.htm)

#### ■ 「東芝 PC お客様登録」を使う

インターネットでユーザ登録をするための「東芝 PC お客様登録」を使用できます。

デスクトップの「東芝 PC お客様登録」アイコン（）をクリックし、表示される画面に従って設定を行ってください。

お使いの状況に従って、次の3つから選択してください。

- **【インターネットプロバイダと未契約の方】：**  
インターネットプロバイダ「infoPepper」への入会とパソコンのユーザ登録を1度に行うことができます。初期登録料と接続した時間に応じた料金がかかりますので、あらかじめご了承ください。  
「infoPepper」以外のプロバイダへの入会を希望される場合は、プロバイダに入会してパソコンを設定した後、[インターネットプロバイダと契約済みの方、もしくは LAN 経由でインターネットに接続されている方] を選択してください。
- **【インターネットプロバイダと契約済みの方、もしくは LAN 経由でインターネット接続されている方】：**  
インターネットに接続してユーザ登録できます。
- **【インターネット経由で登録を希望しない方】：**  
はがきでユーザ登録するメッセージが表示されます。

## ■ はがきで登録する

本製品に同梱されている登録はがきに必要事項を記入し、送付してください。

## 2 その他のユーザ登録

### マイクロソフト社へのユーザ登録

本製品にプレインストールされているマイクロソフト社製品のサービス・サポートを受けることができます。

Windows XP の場合、インターネットで登録を行います。

Windows 2000 の場合は、インターネットまたは同梱されている「登録はがき」で行います。

### ■ インターネットに登録する場合

インターネットに接続するための設定を行った後、次のように登録します。

#### ● Windows XP の場合

- ① [スタート] → [ヘルプとサポート] をクリックする
- ② [Windows XP の新機能] をクリックする
- ③ [ライセンス認証、ライセンス、およびユーザー登録] をクリックする
- ④ [オンラインユーザー登録を使用する] をクリックする
- ⑤ 説明文中の [ユーザー登録ウィザード] をクリックする  
ウィザードが起動します。画面の指示に従って操作してください。

#### ● Windows 2000 の場合

- ① [スタート] → [プログラム] → [アクセサリ] → [システムツール]  
→ [はじめに] をクリックする
- ② [今すぐ登録] をクリックする  
ウィザードが起動します。画面の指示に従って操作してください。

## その他のアプリケーションのユーザ登録

---

本製品にプレインストールまたは添付されている各アプリケーションのユーザ登録については、各アプリケーションのヘルプをご覧ください。また、各アプリケーションのお問い合わせについては、「8章 5 アプリケーションのお問い合わせ先」をご覧ください。

## 2章 電源を入れる／切る

- 1 電源を入れる ..... 32
- 2 電源を切る ..... 36
- 3 パソコンの使用を中断する ..... 38
- 4 簡単に電源を切る／使用を中断する ..... 43

# 1

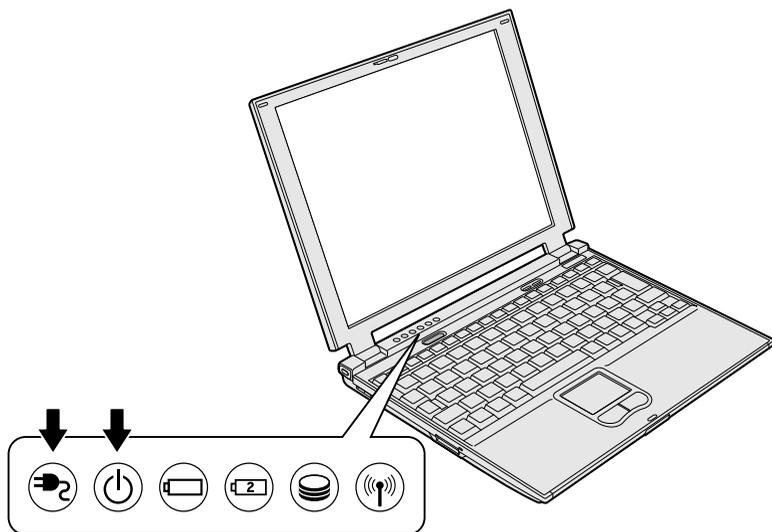
## 電源を入れる

ここでは、Windows セットアップを終えた後で、電源を入れる方法について説明します。

 初めて電源を入れるとき ➡ 「1章 セットアップ」

### 電源に関する表示

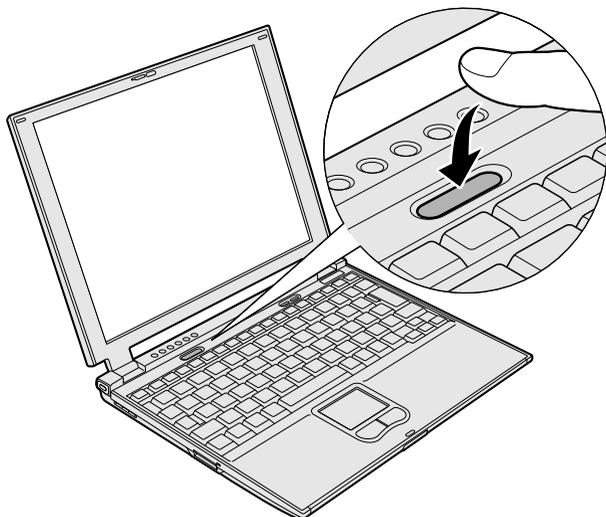
電源の状態は次のシステムインジケータの点灯状態で確認することができます。



	状態	パソコン本体の状態
DC IN  LED	緑の点灯	ACアダプタを接続している
	オレンジの点滅	異常警告 ACアダプタ、バッテリー、またはパソコン本体の異常
	消灯	ACアダプタを接続していない
Power  LED	緑の点灯	電源ON
	オレンジの点滅	スタンバイ中
	消灯	電源OFF

## 操作手順

- 1 周辺機器を接続している場合は、周辺機器の電源を入れる
- 2 Power  LED が緑色に点灯するまで、電源スイッチを押す



Windows が起動します。  
パソコンの設定によっては、メッセージが表示されます。  
スタンバイ、休止状態を実行した場合は、電源を切る直前の状態  
が表示されます。

 参照  スタンバイ、休止状態 ⇨ 「本章 3 パソコンの使用を中断する」

## ■ ユーザパスワードを設定している場合

ユーザパスワードを設定している場合は、電源を入れると次のメッセージが表示されます。

Password =

設定したユーザパスワードを入力し、**(Enter)**キーを押してください。

-  ● スタンバイ、休止状態を実行している場合は、電源を入れた直後に表示されます。
- ユーザパスワードの入力ミスが3回繰り返した場合は、自動的に電源が切れます。

 パスワードについて ⇨ 「5章 3 パスワードセキュリティ」

## ■ メッセージが表示される場合

不明なメッセージについては、「6章 1-2-メッセージ」をご覧ください。

## 起動するドライブを変更する場合

ご購入時の設定では、標準ハードディスクドライブからシステムを起動します。起動するドライブを変更したい場合、次の方法で変更できます。

### ■ 方法 1

電源を入れたときに表示される 5 種類のアイコンから、起動するドライブを選択できます。

- 1 **(F12)** キーを押しながら電源スイッチを押す  
アイコンの下に選択カーソルが表示されます。



アイコンは左から、次の順に表示されます。

HDD → CD-ROM ドライブ → FDD → ネットワーク → PC カード

- 2 **(→)** または **(←)** キーで起動したいドライブを選択し、**(Enter)** キーを押す  
一時的にそのドライブが起動最優先ドライブとなり、起動します。

### ■ 方法 2

「東芝 HW セットアップ」の [OS の起動] タブで起動ドライブの優先順位を変更できます。

 設定の変更 ⇨ 「5章 1 東芝 HW セットアップ」

# 2

## 電源を切る

正しい手順で電源を切らないとパソコンが故障したりデータが壊れる原因になりますので、必ず正しい手順で操作してください。

パソコンの使用を一時的に中断したいときには、スタンバイまたは休止状態にする方法もあります。

 **参照** スタンバイ、休止状態 → 「本章 3 パソコンの使用を中断する」

### 電源を切る前に

- 必要なデータは必ず保存してください。保存されていないデータは消失します。
- 起動中のアプリケーションは終了してください。
- Disk  LED、SD Card LED が点灯中は、電源を切らないでください。保存されていないデータは消失します。

### 操作手順

#### ■ Windows XP の場合

1 [スタート] ① → [終了オプション] ②をクリックする



## 2 [電源を切る] をクリックする



### ■ Windows 2000 の場合

#### 1 [スタート] ① → [シャットダウン] ② をクリックする



#### 2 [スタート] ボタンをクリックし①、[シャットダウン] を選択する②



#### 3 [OK] ボタンをクリックする

# 3

## パソコンの使用を中断する

パソコンの使用を中断したときの状態をメモリに保存するのが「スタンバイ」、ハードディスクに保存するのが「休止状態」です。

再び処理を行う（電源スイッチを押す、ディスプレイを開くなど）と、パソコンの使用を中断した時の状態が再現されます。



- スタンバイ中や休止状態では、バッテリーや周辺機器（増設メモリなど）の取り付け／取りはずしは行わないでください。データの消失や感電、故障のおそれがあります。
- スタンバイまたは休止状態を利用しない場合は、データを保存し、アプリケーションをすべて終了させてから、電源を切ってください。保存されていないデータは消失します。
- スタンバイまたは休止状態を実行する前にデータを保存することをおすすめします。

電源スイッチを押したときやディスプレイを閉じたときにスタンバイまたは休止状態にする場合は、設定が必要です。



参照 詳細について ⇨ 「本章 4 簡単に電源を切る／使用を中断する」

## 1 スタンバイ

作業を中断したときの状態をメモリに保存する機能です。次に電源スイッチを押すと、状態を再現することができます。

スタンバイを実行するとすばやく状態が再現されますが、休止状態にしたときよりバッテリーを消耗します。バッテリーを使い切ってしまうとデータは消失しますので、スタンバイを実行する場合は、ACアダプタを取り付けてお使いになることをおすすめします。

次のような場合はスタンバイが無効になり、本体内の記憶内容が変化し、消失するおそれがあります。

- 誤った使いかたをしたとき
- 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
- バッテリーが消耗したとき
- 故障、修理、バッテリー交換のとき

- バッテリ駆動で使用中にバッテリーパックを取りはずしたとき
- 増設メモリの取り付け／取りはずしするとき



- スタンバイ中にバッテリーや周辺機器（増設メモリなど）の取り付け／取りはずしを行わないでください。データの消失や感電・故障のおそれがあります。
- パソコン本体を航空機や病院に持ち込む場合、スタンバイを使用しないで、必ず電源を切ってください。スタンバイ状態のまま持ち込むと、パソコンの電波により、計器や医療機器に影響を与える場合があります。

## ■ Windows XP の場合

### 1 [スタート] ① → [終了オプション] ② をクリックする



### 2 [スタンバイ] をクリックする

スタンバイ状態になり、Power LED がオレンジ色に点滅します。



- (Fn) + (F3) キーを押して、スタンバイを実行することもできます。

## ■ Windows 2000 の場合

1 [スタート] ① → [シャットダウン] ②をクリックする



2 ▾ ボタンをクリックし①、[スタンバイ] を選択する②



3 [OK] ボタンをクリックする

スタンバイ状態になり、Power ① LED がオレンジ色に点滅します。

メモ ● (Fn) + (F3) キーを押して、スタンバイを実行することもできます。

## 2 休止状態

パソコンの使用を中断したときの状態をハードディスクに保存します。次に電源を入れると、状態を再現することができます。パソコンをバッテリー駆動（ACアダプタを接続しない状態）で使用する場合は、休止状態の設定をすることをおすすめします。

ご購入時の設定では、バッテリーが消耗すると、パソコン本体は自動的に休止状態になります。休止状態が無効の場合、パソコン本体は何もしないで電源が切れますので、作業中のデータが消失するおそれがあります。パソコンをバッテリー駆動（ACアダプタを接続しない状態）で使用する場合は、休止状態の設定をすることをおすすめします。

ご購入時は、休止状態は有効に設定されています。無効にした場合は、次の方法で有効にしてください。

### ① XP

[スタート] → [コントロールパネル] をクリック → [パフォーマンスとメンテナンス] をクリック → [東芝省電力] をクリックする

### 2000

[スタート] → [設定] → [コントロールパネル] をクリック → [東芝省電力] をダブルクリックする

② [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックする (  )

③ [OK] ボタンをクリックする



- 休止状態にするときは、メモリの内容をハードディスクに書き込んだ後に、電源が切れます。Disk  LED が点灯中は、バッテリーパックをはずさないでください。
- 休止状態では、バッテリーや周辺機器（増設メモリなど）の取り付け／取りはずしは行わないでください。データの消失や感電、故障のおそれがあります。

### ■ Windows XP の場合

1 [スタート] ① → [終了オプション] ② をクリックする



- 2 (Shift)キーを押しながら、[休止状態] をクリックする  
(Shift)キーを押している間は、[スタンバイ] が [休止状態] に変わります。



- メモ ● (Fn)+(F4)キーを押して、休止状態にすることもできます。

## ■ Windows 2000 の場合

- 1 [スタート] ① → [シャットダウン] ②をクリックする



- 2 ▼ ボタンをクリックし①、[休止状態] を選択する②



- 3 [OK] ボタンをクリックする

- メモ ● (Fn)+(F4)キーを押して、休止状態にすることもできます。

# 4

## 簡単に電源を切る ／使用を中断する

電源スイッチを押したときやディスプレイを閉じたときに、電源を切る（電源オフ）、またはスタンバイ／休止状態にすることができます。休止状態にする場合は、あらかじめ設定が必要です。ご購入時は、休止状態は有効に設定されています。無効にした場合は、次の方法で有効にしてください。

①  XP

[スタート] → [コントロールパネル] をクリック → [パフォーマンスとメンテナンス] をクリック → [東芝省電力] をクリックする

 2000

[スタート] → [設定] → [コントロールパネル] をクリック → [東芝省電力] をダブルクリックする

② [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックする (  )

③ [OK] ボタンをクリックする

## 電源スイッチを押す

### 1 電源スイッチを押したときの動作を設定する

①  XP

[スタート] → [コントロールパネル] をクリック → [パフォーマンスとメンテナンス] をクリック → [東芝省電力] をクリックする

 2000

[スタート] → [設定] → [コントロールパネル] をクリック → [東芝省電力] をダブルクリックする

② [電源設定] タブで設定する省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリックする

③ [動作] タブの [電源ボタンを押したとき] で、表示されるメニューから実行したい動作を選択する

④ [OK] ボタンをクリックする

⑤ [東芝省電力のプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

## 2 電源スイッチを押す

選択した状態で電源を切る、または作業を中断します。

Windows XP の場合、手順 1 の③で [入力を求める] を選択したときは、[コンピュータの電源を切る] 画面が表示されます。  
[何もしない] を選択したときは、電源スイッチを押しても何も動作しません。

## ディスプレイを閉じる (パネルスイッチ機能)

---

### 1 ディスプレイを閉じたときの動作を設定する

#### ① XP

[スタート] → [コントロールパネル] をクリック → [パフォーマンスとメンテナンス] をクリック → [東芝省電力] をクリックする

#### 2000

[スタート] → [設定] → [コントロールパネル] をクリック → [東芝省電力] をダブルクリックする

- ② [電源設定] タブで設定する省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリックする
- ③ [動作] タブの [コンピュータを閉じたとき] で、表示されるメニューから実行したい動作を選択する
- ④ [OK] ボタンをクリックする
- ⑤ [東芝省電力のプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

### 2 ディスプレイを閉じる

選択した状態で電源を切る、または作業を中断します。

手順 1 の③で [スタンバイ] または [休止状態] を選択したときは、次にディスプレイを開くと、自動的に状態が再現されます。  
[何もしない] を選択すると、パネルスイッチ機能は働きません。

# 3章 本体の機能

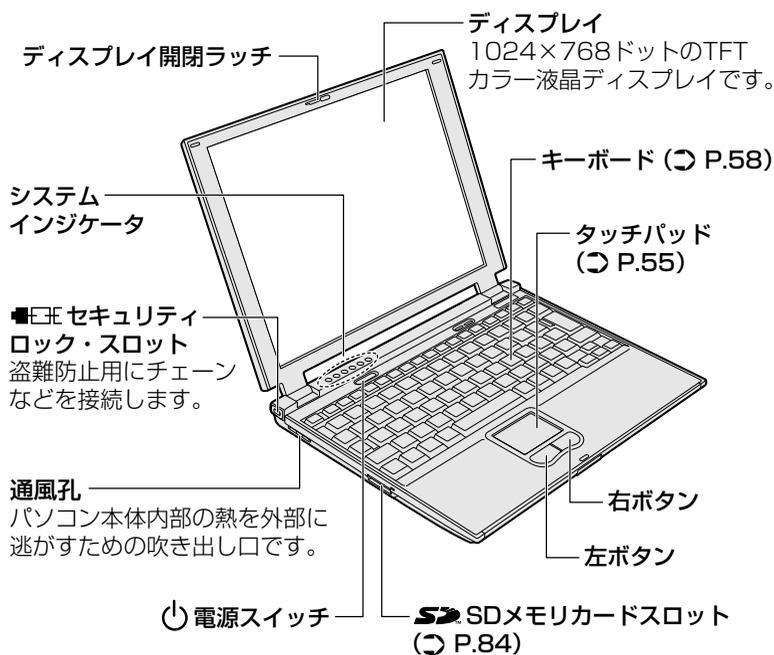
1	各部の名称.....	46
2	音量の調節.....	54
3	タッチパッド.....	55
4	キーボード.....	58
5	モデム機能.....	66
6	LAN 機能.....	72
7	PC カード.....	81
8	SD メモリカード.....	84
9	コンパクトフラッシュカード.....	87
10	CRT ディスプレイの接続.....	89
11	メモリの増設.....	91

# 1

## 各部の名称

ここでは、各部の名称と機能を簡単に説明します。  
それぞれについての詳しい説明は、それぞれに関連する節で行います。

### ■ 前面図

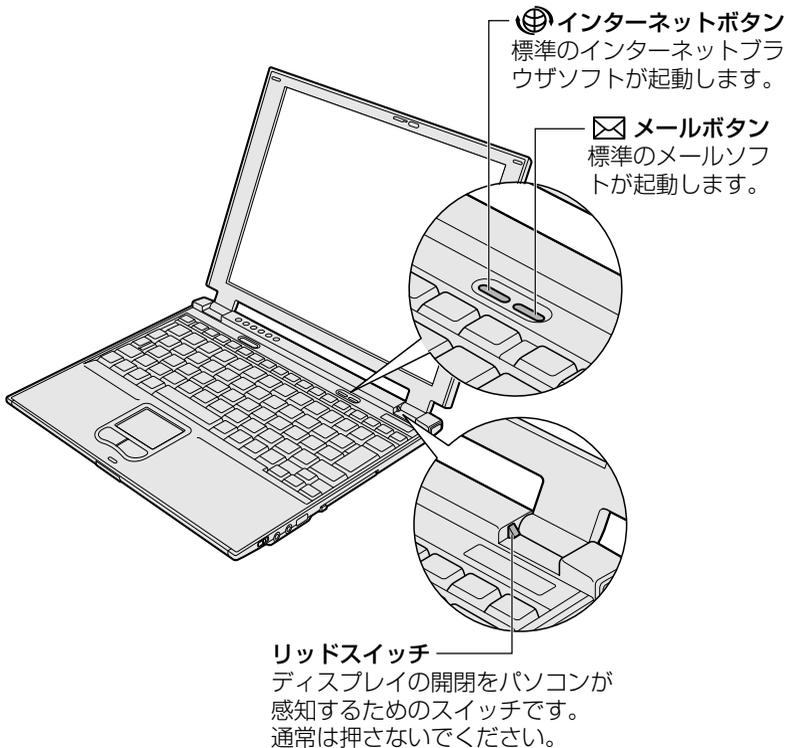


- セキュリティロック用の機器については、本製品に対応のものかどうかを販売店にご確認ください。

## 【システムインジケータ】

	DC IN LED	電源コードの接続 ☞ 「2章 1 電源を入れる」
	Power LED	電源の状態 ☞ 「2章 1 電源を入れる」
	Battery LED	標準バッテリーの状態 ☞ 「4章 1 バッテリーについて」
	大容量バッテリーLED	大容量バッテリーの状態 ☞ 「4章 1 バッテリーについて」
	Disk LED	標準ハードディスクにアクセスしている
	ワイヤレスコミュニケーション LED	無線LAN機能の状態 * 無線LANモデルのみ

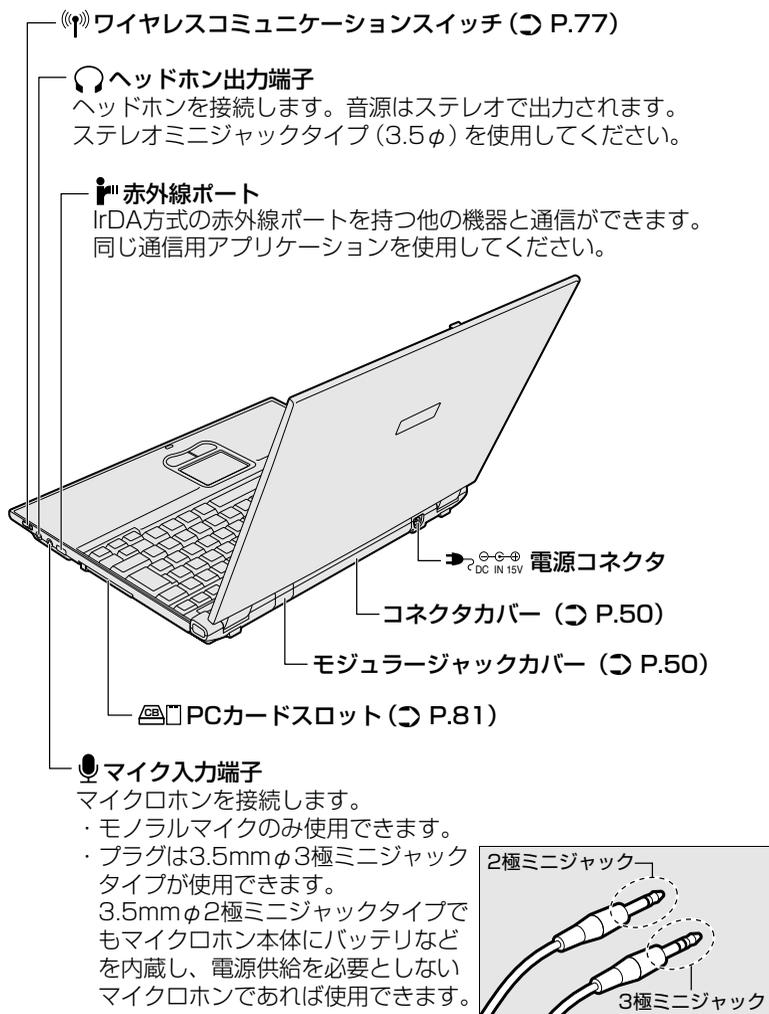
## 【スイッチ部の拡大図】



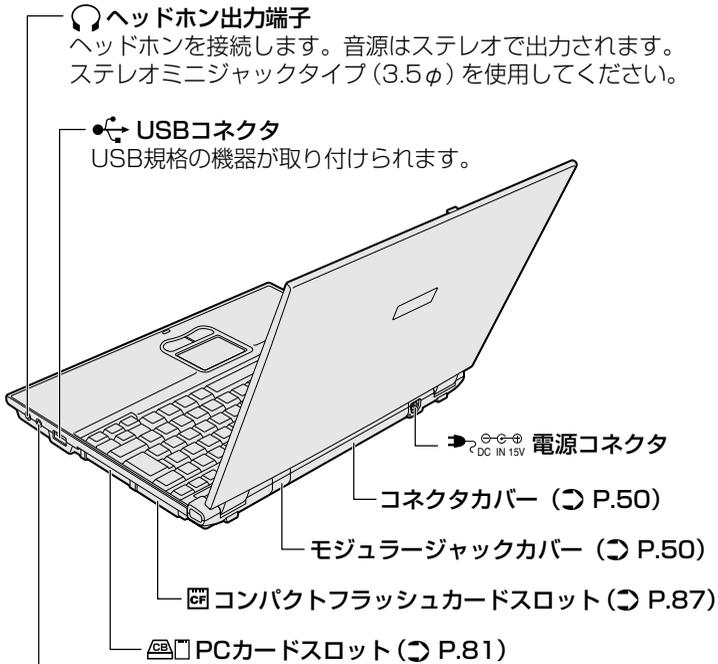
-  ● インターネットボタンとメールボタンの設定は、[コントロールパネル] の [東芝コントロール] で変更できます。

## ■ 背面図

(無線 LAN モデルの場合)



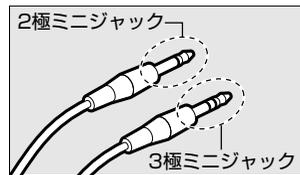
## (コンパクトフラッシュモデルの場合)



## マイク入力端子

マイクロホンを接続します。

- ・モノラルマイクのみ使用できます。
  - ・プラグは3.5mmφ 3極ミニジャックタイプが使用できます。
- 3.5mmφ 2極ミニジャックタイプでもマイクロホン本体にバッテリーなどを内蔵し、電源供給を必要としないマイクロホンであれば使用できます。



## 【モジュージャックカバーとコネクタカバーを開いたところ】

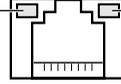
### 📞 モジュージャック (☞ P.66)

モジュラーケーブルで本体を電話回線に接続し、  
モデム機能を使用します。

### 🌐 LANコネクタ (☞ P.72)

ネットワークケーブルを接続します。  
ネットワークに接続するには、設定が必要です。

LANアクティブLED (橙)  
データを送受信している  
ときに点灯します。



リンクLED (緑)  
ネットワークに正常に  
接続され、使用可能な  
ときに点灯します。



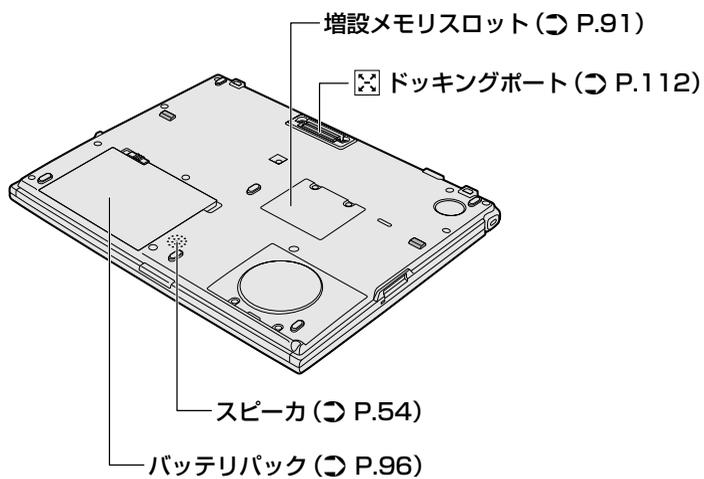
### 📺 RGBコネクタ (☞ P.89)

CRTディスプレイを接続します。

### 🔌 USBコネクタ

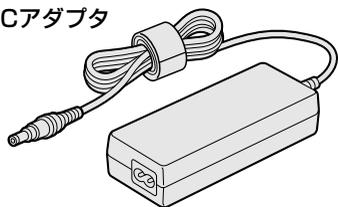
USB規格の機器が取り付けられます。

## ■ 裏面図

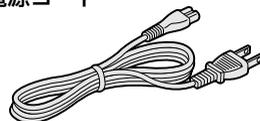


## ■ 付属品

ACアダプタ



電源コード



モジュラーケーブル



## 周辺機器の接続

本書で説明していない機器については、それぞれの機器に付属の説明書を参考にしてください。

取り付け／取りはずしの方法は周辺機器によって異なります。各節を読んでから作業をしてください。

### ⚠ 注意

- 電源を入れた状態で機器の取り付け／取りはずしが認められていない周辺機器を接続する場合は、必ずパソコン本体の電源を切り、電源コードのプラグを抜き、バッテリーパックを取りはずしてから作業を行ってください。



- 適切な温度範囲内、湿度範囲内であっても、結露しないように急激な温度変化を与えないでください。冬場は特に注意してください。
- ホコリが少なく、直射日光のあたらない場所で作業をしてください。
- 極端に湿度の高い／低い場所では作業しないでください。
- 静電気が発生しやすい環境では作業をしないでください。
- 本書で説明している場所のネジ以外は、取りはずさないでください。
- 作業時に使用するドライバは、ネジの形、大きさに合ったものを使用してください。
- 本製品を分解、改造すると、保証やその他のサポートは受けられません。
- 周辺機器については、動作確認ができていないためすべての機器の動作を保証することはできません。
- パソコン本体に周辺機器を取り付けた状態で持ち運ばないでください。

### ■ パソコン本体へケーブルを接続するとき

ケーブルを接続するときは、次の点に注意して、接続してください。

- パソコン本体のコネクタにケーブルを接続するときは、コネクタの上下や方向をあわせてください。コネクタに無理な力が加わるとピンが折れたり、曲がったりします。
- ケーブルのコネクタに固定用ネジがある場合は、パソコン本体のコネクタに接続した後、ケーブルがはずれないようにネジを締めてください。

# 2

## 音量の調節

本製品はサウンド機能を搭載し、スピーカを内蔵しています。  
スピーカの音量調節について説明します。

-  ● 使用するアプリケーションによっては、外部マイクとスピーカでハウリングを起こし、高く大きな音が発生することがあります。この場合は、次のようにしてください。
- ・ キーボードから音量を調節する
  - ・ 使用しているアプリケーションの設定を変える
  - ・ 外部マイクをスピーカから離す

### キーボードで調節する

---

#### ■ 音量を下げる

- 1 (Fn)キーを押したまま、(1)キーを押す  
(1)キーを押すたびに、音量が1段階ずつ下がります。

#### ■ 音量を上げる

- 1 (Fn)キーを押したまま、(2)キーを押す  
(2)キーを押すたびに、音量が1段階ずつ上がります。

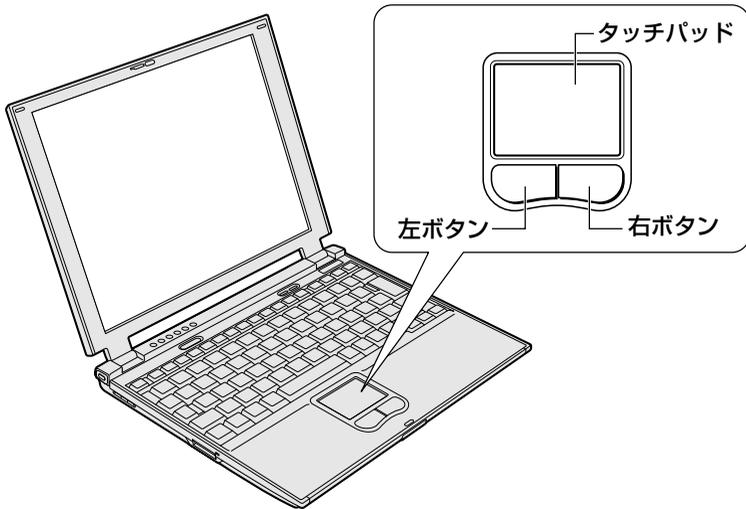
#### ■ ミュート (消音)

- 1 (Fn)キーを押したまま、(Esc)キーを押す  
スピーカのミュート／ミュート解除が切り替わります。

# 3

## タッチパッド

電源を入れて Windows を起動すると画面上に  (ポインタ) が表示されます。タッチパッドと左ボタン/右ボタンを使って、ポインタを操作します。



- タッチパッドを強く押さえたり、ボールペンなど先の鋭いものを使ったりしないでください。タッチパッドが故障するおそれがあります。

タッチパッドに指を置き、上下左右に動かすと、ポインタが指の方向にあわせて動きます。

クリック	タッチパッドでポインタを合わせて、左ボタンまたは右ボタンを1回押します。
ダブルクリック	タッチパッドでポインタを合わせて、左ボタンをすばやく2回続けて押します。
ドラッグアンドドロップ	左ボタンを押したまま、タッチパッドでポインタを移動します（ドラッグ）。ドラッグの操作の最後に、目的の場所でボタンから指を離します（ドロップ）。

## タッピング

---

タッチパッドを指で軽くたたくことをタッピングといいます。タッピング機能を使うと、左ボタンを使わなくても、次のような基本的な操作ができます。

クリック	タッチパッドを1回軽くたたきます。
ダブルクリック	タッチパッドを2回軽くたたきます。
ドラッグアンドドロップ	タッチパッドを続けて2回たたき、2回目はタッチパッドから指を離さずに目的の位置まで移動し、指を離します。
スクロール	タッチパッドの右端に指を合わせて上下に動かします（上下スクロール）。 タッチパッドの下端に指を合わせて左右に動かします（左右スクロール）。

タッチパッドや左ボタン／右ボタンは [マウスのプロパティ] で設定を変更できます。

## タッチパッドオン／オフ機能

---

タッチパッドの機能を無効にすることで、キーボード入力時などに誤ってタッチパッド操作することを防止できます。

### ■ 方法1 - (Fn) + (F9) キーを押す

#### 1 (Fn) + (F9) キーを押す

タッチパッドからの入力が一時的に無効になります。  
解除するには、もう1度 (Fn) + (F9) キーを押します。

-  ● (Fn) + (F9) キーでタッチパッドの操作を有効にした場合、タッチパッドの操作中にカーソルの動きが不安定になることがあります。そのような場合は、1度タッチパッドから手を離してください。しばらくすると、正常に操作できるようになります。

### ■ 方法2 - マウスのプロパティで設定する

#### 1 タスクバーの [TouchPad] ( ) アイコンをダブルクリックする

[マウスのプロパティ] は、[コントロールパネル] の [マウス] から表示できます。

## 2 [タッチパッド ON/OFF] タブで [無効] をチェックし、 [OK] ボタンをクリックする

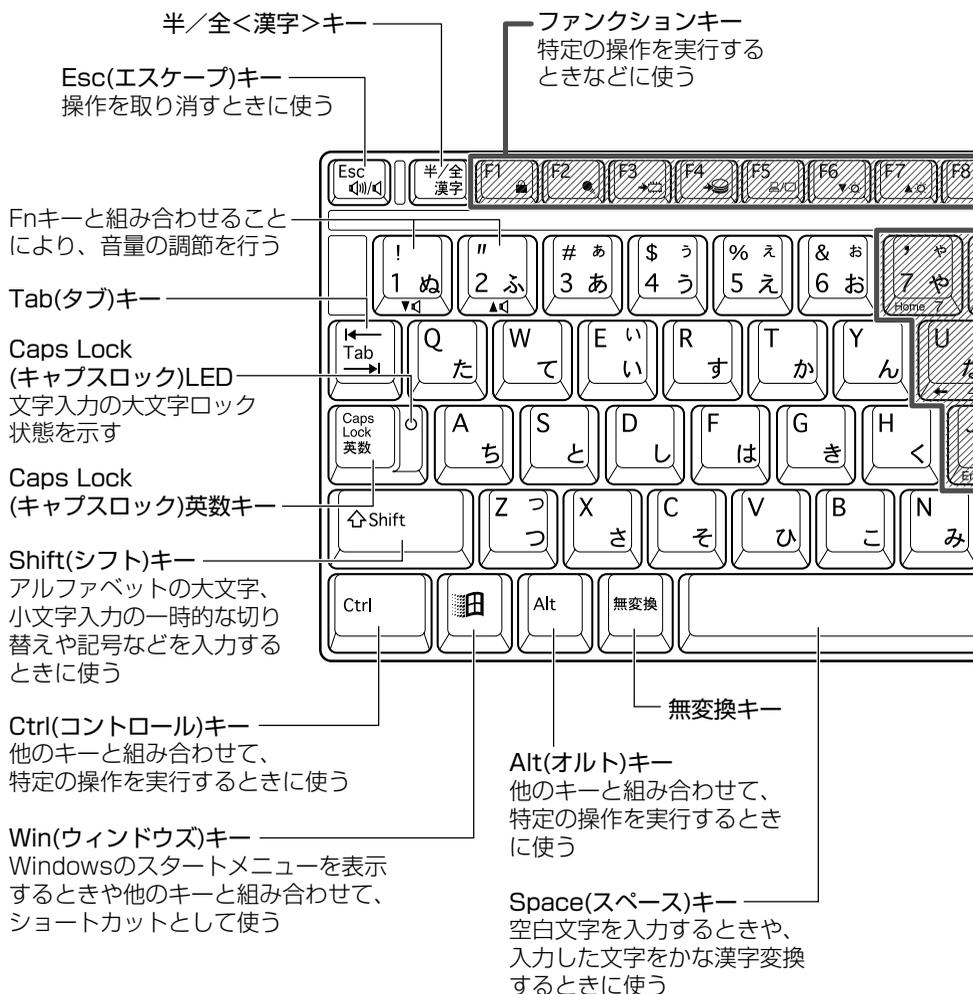


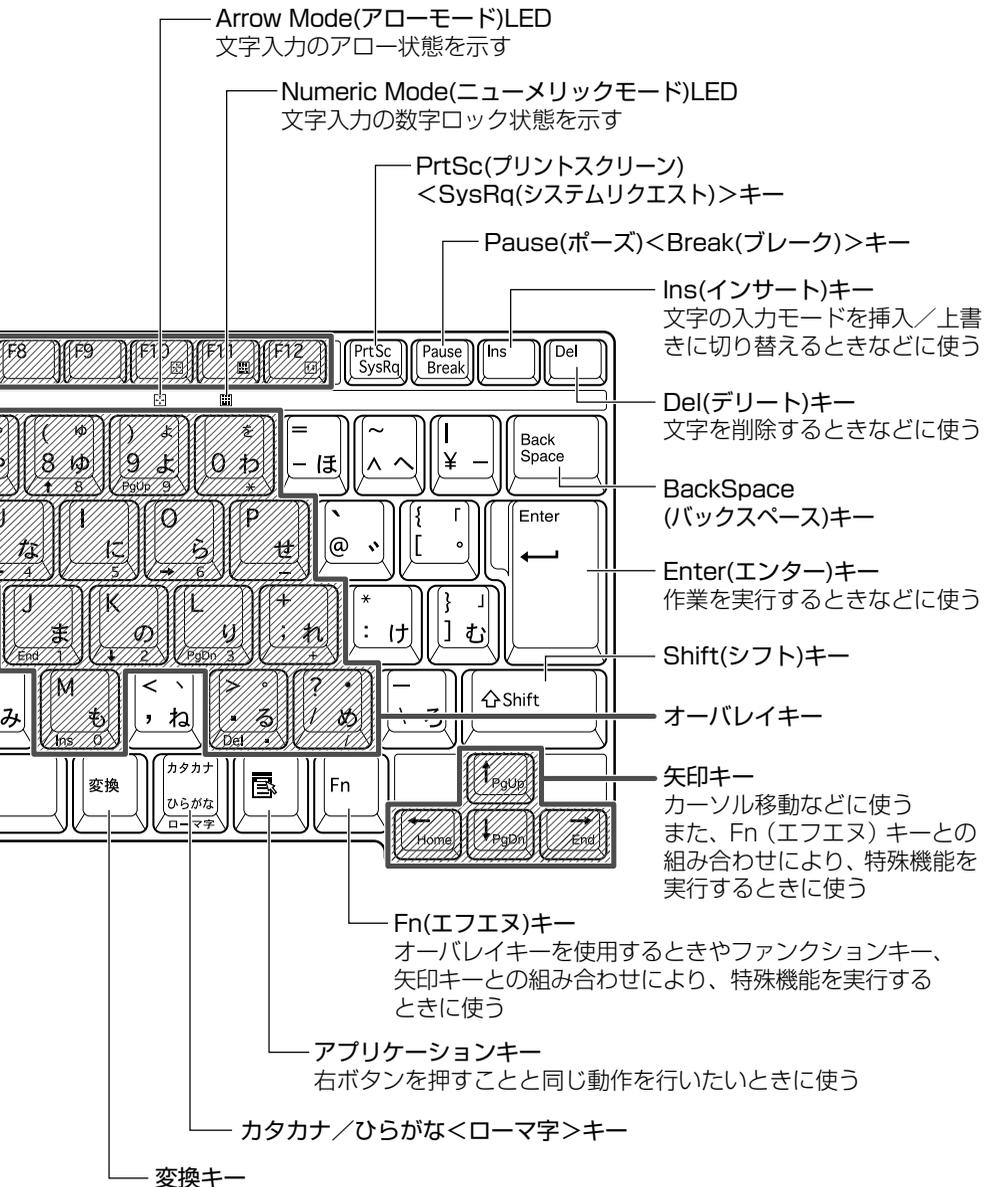
# 4

## キーボード

### 1 キーボードについて

ここでは基本的な使いかたと、それぞれのキーの意味や呼びかたについて簡単に説明します。





## ■ 文字キー

文字キーは、文字や記号を入力するときに使います。  
文字キーに印刷されている2～6種類の文字や記号は、キーボードの文字入力の状態によって変わります。

### ■ 左上

(Shift)キーを押しながら押すと、記号やアルファベットの大文字が入力できます。

### ■ 右上

かな入力ができる状態で (Shift)キーを押しながら押すと、記号、ひらがなのそくおん促音 (小さい「っ」)、ようおん拗音 (小さい「ゃ、ゅ、ょ」)が入力できます。

### ■ 左下

他のキーは使わず、そのまま押すと、数字やアルファベットの小文字が入力できます。  
大文字ロック状態にすると、大文字も入力できます。

### ■ 右下

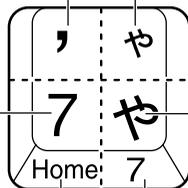
かな入力ができる状態で押すと、ひらがなや記号が入力できます。

### ■ 前面左

アロー状態のときに押すと、カーソル制御キーとして使えます。

### ■ 前面右

数字ロック状態のときに押すと、テンキーとして使えます。



 参照  アロー状態、数字ロック状態  「本節 (Fn)キーを使った特殊機能キー」

## Fn キーを使った特殊機能キー

キー	内容
Fn + Esc 〈スピーカのミュート〉	内蔵スピーカやヘッドホンの音量をミュート（消音）にします。元に戻すときは、もう1度 Fn + Esc キーを押します。
Fn + ① 〈スピーカの音量を 下げる〉	Fn キーを押したまま、① キーを押すたびに音量が1段階ずつ下がります。 表示される画面のアイコンで音量を確認できます。
Fn + ② 〈スピーカの音量を 上げる〉	Fn キーを押したまま、② キーを押すたびに音量が1段階ずつ上がります。 表示される画面のアイコンで音量を確認できます。
Fn + F1 〈インスタント セキュリティ機能〉	画面右上にカギアイコンが表示された後、画面表示がオフになります。 パスワードによる保護を設定（[画面のプロパティ] の [スクリーンセーバー] タブで、[パスワードによる保護] または [再開時による画面に戻る] をチェック）しておく、セキュリティを強化できます。解除するには、次の操作を行ってください。 ① (Shift) キーや (Ctrl) キーを押す、またはタッチパッドを操作する ② ユーザが複数の場合はユーザ名をクリックする ③ パスワード入力画面に Windows のログオンパスワードを入力し、(Enter) キーを押す パスワードによる保護を設定していない場合は、(Shift) キーや (Ctrl) キーを押す、またはタッチパッドを操作すると解除できます。
Fn + F2 〈省電力モードの設定〉	Fn + F2 キーを押すと、設定されている「東芝省電力ユーティリティ」の省電力モードが表示されます。 Fn キーを押したまま、F2 キーを押すたびに、省電力モードが切り替わります。
Fn + F3 〈スタンバイの実行〉	Fn + F3 キーを押す、表示される画面で [はい] ボタンをクリックするとスタンバイが実行されます (*1)。

<p>(Fn)+(F4) 〈休止状態の実行〉</p>	<p>(Fn)+(F4)キーを押し、表示される画面で [はい] ボタンをクリックすると休止状態が実行されま す (*1)。</p>
<p>(Fn)+(F5) 〈表示装置の切り替え〉</p>	<p>表示装置を選択できます。   詳細について      ⇨ 「本章 10 CRT ディスプレイの接続」</p>
<p>(Fn)+(F6) 〈内部液晶ディスプレ イの輝度を下げる〉</p>	<p>(Fn)キーを押したまま、(F6)キーを押すたびに 内部液晶ディスプレイの輝度が1段階ずつ下が ります。 表示される画面のアイコンで輝度の状態を確認 できます (*2)。</p>
<p>(Fn)+(F7) 〈内部液晶ディスプレ イの輝度を上げる〉</p>	<p>(Fn)キーを押したまま、(F7)キーを押すたびに 内部液晶ディスプレイの輝度が1段階ずつ上 がります。 表示される画面のアイコンで輝度の状態を確認 できます (*2)。</p>
<p>(Fn)+(F9) 〈タッチパッド オン/オフ機能〉</p>	<p>(Fn)+(F9)キーを押すと、タッチパッドから の入力を無効にできます。 解除するには、もう1度(Fn)+(F9)キーを押し ます。</p>
<p>(Fn)+(F10) 〈オーバーレイ機能： アロー状態〉</p>	<p>オーバーレイキーを、キー前面左に灰色で印刷さ れたとおりにカーソル制御キーとして使用でき ます。 アロー状態のときは、(F10)キー下のArrow Mode  LED が点灯します。 アロー状態を解除するには、もう1度(Fn)+ (F10)キーを押します。</p>
<p>(Fn)+(F11) 〈オーバーレイ機能： 数字ロック状態〉</p>	<p>オーバーレイキー前面右に灰色で印刷された、数 字などの文字を入力できます。 数字ロック状態のときは、(F11)キー下の Numeric Mode  LED が点灯します。 数字ロック状態を解除するには、もう1度(Fn) +(F11)キーを押します。 アプリケーション (Microsoft Excel など) に よっては機能が異なる場合があります。</p>
<p>(Fn)+(F12) 〈スクロールロック 状態〉</p>	<p>一部のアプリケーションで(↑)(↓)(←)(→)キー を画面スクロールとして使用できます。 ロック状態を解除するには、もう1度(Fn)+ (F12)キーを押します。</p>

<b>Fn</b> + <b>↑</b> 〈PgUp (ページアップ)〉	<b>Fn</b> キーを押したまま、 <b>↑</b> キーを押すと、前のページに移動できます。
<b>Fn</b> + <b>↓</b> 〈PgDn (ページダウン)〉	<b>Fn</b> キーを押したまま、 <b>↓</b> キーを押すと、次のページに移動できます。
<b>Fn</b> + <b>←</b> 〈Home (ホーム)〉	<b>Fn</b> キーを押したまま、 <b>←</b> キーを押すと、カーソルが行または文書の最初に移動します。
<b>Fn</b> + <b>→</b> 〈End (エンド)〉	<b>Fn</b> キーを押したまま、 <b>→</b> キーを押すと、カーソルが行または文書の最後に移動します。

- \* 1 表示される画面で [今後、このメッセージを表示しない] をチェックすると、次回以降メッセージ画面は表示されません。
- \* 2 液晶ディスプレイの点灯直後は、約 18 秒間、輝度の変更はできません。その間、液晶ディスプレイの点灯を安定させるため、自動的に最高輝度となります。

## **Fn** キーを使ったショートカットキー

キー	操作
<b>Fn</b> + <b>R</b>	[ファイル名を指定して実行] 画面を表示する
<b>Fn</b> + <b>M</b>	すべてをアイコン化する (*1)
<b>Shift</b> + <b>Fn</b> + <b>M</b>	すべてのアイコン化を元に戻す (*1)
<b>Fn</b> + <b>F1</b>	『Windows のヘルプ』を起動する
<b>Fn</b> + <b>E</b>	[マイコンピュータ] 画面を表示する
<b>Fn</b> + <b>F</b>	ファイルまたはフォルダを検索する
<b>Ctrl</b> + <b>Fn</b> + <b>F</b>	他のコンピュータを検索する
<b>Fn</b> + <b>Tab</b>	タスクバーのボタンを順番に切り替える
<b>Fn</b> + <b>Break</b>	[システムのプロパティ] 画面を表示する

- \* 1 ウィンドウの種類によっては、この機能は使用できません。

## 特殊機能キー

特殊機能	キー	操作
カナロック状態	(Ctrl) + (Caps Lock 英数)	カナロック状態になります。この状態で文字キーを押すと、キー右下に印刷されたひらがなを、カタカナで入力できます (*1)。
大文字ロック状態	(Shift) + (Caps Lock 英数)	大文字ロック状態になります。この状態で文字キーを押すと、キー左上に印刷された英字などの文字を、大文字で入力できます (*1)。大文字ロック状態のときは、(Caps Lock 英数)キーの Caps Lock LED が点灯します。
アプリケーションの強制終了など	(Ctrl) + (Alt) + (Del)	 <b>XP</b> : [Windows タスクマネージャ] 画面が表示されます。  <b>2000</b> : [Windows のセキュリティ] 画面が表示されます。
画面コピー	(PrtSc)	現在表示中の画面をクリップボードにコピーします。
	(Alt) + (PrtSc)	現在表示中のアクティブな画面をクリップボードにコピーします。

\* 1 カナロック状態や大文字ロック状態を解除するには、もう 1 度同じキー操作をします。

ロック状態の優先度は、カナロック状態 > 大文字ロック状態です。

## 2 日本語を入力するには

本製品には、日本語入力システム MS-IME が搭載されています。  
日本語入力システムとは、日本語を入力するためのソフトウェアです。

起動したときは、英数字の入力ができるようになっています。(半/全)キーを押すと、日本語を入力できるようになります。

日本語入力に切り替わると、IME ツールバーは次のように表示されます。

● MS-IME2002 の場合



● MS-IME2000 の場合



### ■ 入力モード

ローマ字入力が既定値になっています。

ローマ字入力とかな入力は(Alt)+(カタカナひらがな)キーを押すと切り替えられます。

この場合、パソコンを再起動するとローマ字入力に戻ります。  
常に同じ入力モードで使用する場合は、次の方法で設定します。

- ① ツールバーの [プロパティ] アイコン (  または  ) をクリックする
- ② [全般] タブで [ローマ入力/かな入力] の設定をする

### ■ 漢字変換

入力した文字を漢字変換するには、(Space)キーを押します。  
目的の漢字ではない場合は、もう1度(Space)キーを押して、他の漢字を表示します。

さらに(Space)キーを押すと、候補の一覧が表示されます。

(↑)(↓)キーで選択し、(Enter)キーを押します。

-  ● MS-IME の使いかたについてはツールバーの [ヘルプ] アイコン (  または  ) から『MS-IME のオンラインヘルプ』をご覧ください。

# 5

## モデム機能

内蔵モデムは、ITU-T V.90 に準拠しています。通信先のプロバイダが V.90 以外の場合は、最大 33.6kbps で接続されます。

### ■ 使用上のお願い

- 雷雲が近づいてきたときは、モジュラープラグを電話回線用モジュラージャックから抜いてください。電話回線に落雷した場合、モデムやパソコン本体が破壊されるおそれがあります。
- モジュラーケーブルをパソコン本体のモジュラージャックに接続した状態で、モジュラーケーブルを引っ張ったり、パソコン本体の移動をしないでください。モジュラージャックが破損するおそれがあります。
- 市販の分岐アダプタを使用して他の機器と並列接続した場合、本モデムのデータ通信や他の機器の動作に悪影響を与えることがあります。
- 回線切換器を使用する場合は、両切り式のもの（未使用機器から回線を完全に切り離す構造のもの）を使用してください。



- PC カード接続のハードディスクドライブや CD-ROM ドライブなどの動作中に、通信を行った場合、次の現象が発生することがあります。
  - ・通信回線の速度が遅くなる
  - ・通信回線が切断される
  - ・ダイヤルに失敗する

### ■ AT コマンド

Windows XP の場合は『オンラインマニュアル』をご覧ください。  
Windows 2000 の場合はアプリケーション CD-ROM をセットして表示される画面をご覧ください。

### ■ モジュラーケーブルの取り付け

モジュラーケーブルを取り付けて、内蔵モデムを使用する前に、あらかじめ『安心してお使いいただくために』を必ずお読みになり、注意事項をお守りください。

## 1 パソコン本体背面のモジュージャックカバーを開く

## 2 モジュラーケーブルのコアがある方のプラグをパソコン本体のモジュージャックに差し込む

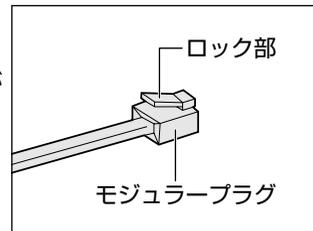
カチッと音がするまで確実に押し込んでください。

## 3 もう一方のモジュラープラグを電話機用モジュラープラグに差し込む

ISDN回線に接続する場合は、ご使用のターミナルアダプタ (TA) またはダイヤルアップルータのアナログポートなどに接続してください。

### 【モジュラーケーブルを取りはずすとき】

モジュラーケーブルを取りはずすときは、モジュージャックに差し込んであるモジュラープラグのロック部分を押さえながら抜きます。



## ■ 地域設定を変更する

本製品の内蔵モデムは、次の地域で使用できます。

アイスランド、アイルランド、アメリカ合衆国、アラブ首長国連邦、イギリス、イスラエル、イタリア、インド、インドネシア、エジプト、エストニア、オーストラリア、オーストリア、オマーン、オランダ、カナダ、韓国、ギリシャ、クウェート、サウジアラビア、シンガポール、スイス、スウェーデン、スペイン、スリランカ、スロバキア、スロベニア、タイ、台湾、チェコ、中国、デンマーク、ドイツ、トルコ、日本、ニュージーランド、ノルウェー、パキスタン、ハンガリー、バングラデシュ、フィリピン、フィンランド、フランス、ブルガリア、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、香港、マルタ、マレーシア、南アフリカ、モロッコ、ラトビア、リトアニア、ルーマニア、ルクセンブルグ、レバノン、ロシア

(2002年10月現在)

海外でモデムを使用する場合、「内蔵モデム用地域選択ユーティリティ」による地域設定を行います。

本製品を日本で使用する場合は、必ず日本モードでご使用ください。他地域のモードでご使用になると電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。



- 「内蔵モデム用地域選択ユーティリティ」は、コンピュータの管理者のユーザアカウントで起動してください。それ以外のユーザが起動しようすると、エラーメッセージが表示され、起動できないことがあります。

## 1 XP

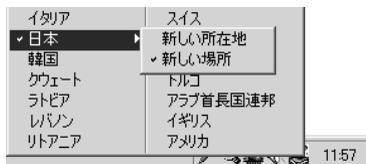
[スタート] → [すべてのプログラム] → [TOSHIBA Internal Modem] → [Region Select Utility] をクリックする

## 2000

[スタート] → [プログラム] → [TOSHIBA Internal Modem] → [Region Select Utility] をクリックする  
[Internal Modem Region Select Utility] アイコン ( ) がタスクバーに表示されます。

## 2 タスクバーの [Internal Modem Region Select Utility] アイコン ( ) をクリックする

内蔵モデムがサポートする地域のリストが表示されます。  
現在設定されている地域設定と、サブメニューの所在地情報名にチェックマークが付きま。



- 3 使用する地域名または所在地情報名を選択し、クリックする地域名を選択した場合、モデムの地域設定を行った後、新しく所在地情報を作成します。

この場合、新しく作成した所在地情報が現在の所在地情報になります。

所在地情報名を選択した場合、その所在地情報に設定されている地域でモデムの地域設定を行います。選択された所在地情報が現在の所在地情報になります。

## 【その他の設定】

- 1 タスクバーの [Internal Modem Region Select Utility] アイコン (  ) を右クリックし、表示されたメニューから項目を選択する

### ● 設定

チェックボックスをクリックすると、次の設定を変更することができます。

自動起動モード	システム起動時に、自動的に「内蔵モデム用地域選択ユーティリティ」が起動し、モデムの地域設定が行われます。
地域選択後に自動的にダイアルのプロパティを表示する	地域選択後、「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。
場所設定による地域選択	「電話とモデムのオプション」の所在地情報名が地域名のサブメニューに表示され、所在地情報名から地域選択ができるようになります。
モデムとテレフォニーの現在の場所設定の地域コードとが違っている場合にダイアログを表示	モデムの地域設定と、「電話とモデムのオプション」の現在の場所設定の地域コードが違っている場合に、メッセージ画面を表示します。

### ● モデム選択

COM ポート番号を選択する画面が表示されます。内蔵モデムを使用する場合、通常は自動的に設定されますので、変更の必要はありません。

### ● ダイアルのプロパティ

「電話とモデムのオプション」画面を表示します。

## ■ モデムボードの取り付け / 取りはずし

モデムボードを取り付けることによって、モデム機能を使用できます。あらかじめモデムボードが取り付けられているモデルの場合は、取り付け / 取りはずしの作業は必要ありません。また、モデムボードを取りはずした状態で本製品を使用しないでください。

### ⚠ 警告

- ・本文中で説明されている部分以外は絶対に分解しないでください。内部には高電圧部分が数多くあり、万一触ると危険です。

### ⚠ 注意

- ・モデムボードの取り付け / 取りはずしは、必ず電源を切り、ACアダプタのプラグを抜き、バッテリーパックを取りはずしてから作業を行ってください。電源を入れたまま取り付け / 取りはずしを行うと感電、故障のおそれがあります。
- ・次のような場合、モデムボードの取り付け / 取りはずしは行わないでください。内部が熱くなっているため、やけど、感電、故障のおそれがあります。
  - ・スタンバイ機能を実行中
  - ・LANのウェイクアップ機能を設定しているとき
  - ・電源を切った直後電源を切った後 30 分以上たってから、行うことをおすすめします。
- ・モデムボードを強く押ししたり、曲げたり、落としたりしないでください。



- モデムの取り付け、取りはずし、PTT ラベルの確認以外の目的でパソコン本体のベースカバーを開けないでください。
- パソコンの内部にネジや異物を残さないでください。

### 【取り付け】

- ① Windows を終了して電源を切る
- ② パソコン本体に接続されている AC アダプタとケーブル類をはずす
- ③ パソコン本体を裏返して、バッテリーパックを取りはずす
- ④ ハードディスクドライブカバーのネジ 2 本をはずし、ハードディスクカバーとハードディスクドライブを取りはずす
- ⑤ 増設メモリカバー以外の、パソコン本体裏面のネジ 15 本をすべて取りはずす
- ⑥ パソコン本体を表に戻し、キーボードホルダをはずし、その下のネジ 2 ケ所をはずす

- ⑦ キーボードをはずし、ネジ4本をはずす
- ⑧ パソコン本体を裏返して、ベースカバーを取りはずす
- ⑨ モデムボードにハーネスを取り付ける
- ⑩ タッチパッドの裏にモデムボードを取り付け、固定用のネジ2本でとめる
- ⑪ 手順⑧ではずしたベースカバーを取り付け、手順⑥⑦ではずしたキーボードを取り付け、手順⑤ではずしたネジ15本でとめる
- ⑫ ハードディスクドライブとハードディスクカバーを取り付け、手順④ではずしたネジ2本でとめる
- ⑬ バッテリーパックを取り付ける

### 【取りはずし】

- ① Windows を終了して電源を切る
- ② パソコン本体に接続されている AC アダプタとケーブル類をはずす
- ③ パソコン本体を裏返して、バッテリーパックを取りはずす
- ④ ハードディスクドライブカバーのネジ2本をはずし、ハードディスクカバーとハードディスクドライブを取りはずす
- ⑤ 増設メモリカバー以外の、パソコン本体裏面のネジ15本をすべて取りはずす
- ⑥ パソコン本体を表に返し、キーボードホルダをはずし、その下のネジ2ヶ所をはずす
- ⑦ キーボードをはずし、ネジ4本をはずす
- ⑧ パソコン本体を裏返して、ベースカバーを取りはずす  
PTT ラベルを確認することができます。
- ⑨ モデム固定用のネジ2本をはずし、モデムボードを取りはずす
- ⑩ モデムボードからケーブルを取りはずす
- ⑪ 手順⑧ではずしたベースカバーを取り付け、手順⑥⑦ではずしたキーボードを取り付け、手順⑤ではずしたネジ15本でとめる
- ⑫ ハードディスクドライブとハードディスクカバーを取り付け、手順④ではずしたネジ2本でとめる
- ⑬ バッテリーパックを取り付ける

# 6

## LAN 機能

### 1 ケーブルを使ったLAN接続 (有線LAN)

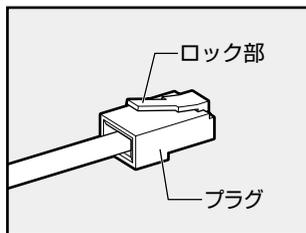
LAN コネクタに LAN ケーブルを接続すると、Fast Ethernet (100BASE-TX) / Ethernet (10BASE-T) を自動的に検出して切り替えます。

100BASE-TX 規格 (100Mbps) でご使用になるときは、必ずカテゴリ 5 (CAT5) のケーブルおよびコネクタを使用してください。カテゴリ 3 のケーブルは使用できません。

10BASE-T 規格 (10Mbps) でご使用になるときは、カテゴリ 3 または 5 のケーブルが使用できます。



- LAN ケーブルをはずしたり差し込むときは、プラグの部分を持って行ってください。また、はずすときは、プラグのロック部を押しながらずしてください。ケーブルを引っ張らないでください。



ネットワーク機器の接続先やネットワークの設定は、『Windows のヘルプ』をご覧ください。または、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

### 2 ケーブルを使わないLAN接続 (無線LAN)

\*無線LAN モデルのみ

無線 LAN とは、パソコンに LAN ケーブルを接続しない状態で使用できる、ワイヤレスの LAN 機能のことです。モデムやルータの位置とは関係なく、無線通信のエリア内であればあらゆる場所からコンピュータを LAN システムに接続できます。

無線 LAN アクセスポイント (別売り) を使用することによって、複数のパソコンからワイヤレスでブロードバンド環境を実現できます。



- 無線 LAN は環境条件により、実効転送レートが変化します。

## 無線 LAN の概要

本製品では、次の機能をサポートしています。

- 転送レート自動選択機能  
11、5.5、2、1Mbps の転送レートから選択可能です。
- 周波数チャンネル選択 (2.4GHz 帯)
- マルチチャンネル間のローミング
- パワーマネージメント
- IEEE802.11 規格で規定されている RC4 暗号化アルゴリズムに基づいたデータ暗号化 (WEP)

### ■ 無線 LAN の種類

無線 LAN は、IEEE802.11b に準拠する無線ネットワークです。無線 LAN は最大 11Mbps の転送レートをサポートしています。

- Wireless Ethernet Compatibility Alliance, WECA 認定の Wi-Fi (Wireless Fidelity) ロゴを取得しています。  
Wi-Fi ロゴは、IEEE802.11b に準拠する他社の無線 LAN 製品との通信が可能な無線機器であることを意味します。
- 「直接拡散方式」 (Direct Sequence Spread Spectrum, DSSS) を採用し、IEEE802.11b に準拠する他社の無線 LAN システムと完全な互換性を持っています。
-  は Wireless Ethernet Compatibility Alliance, Inc. の認証マークです。

### ■ 無線 LAN を使用する上でのお願い

- 無線 LAN の無線アンテナは、できるかぎり障害物が少なく見通しのきく場所で使用してください。無線通信のレンジを最大限有効にするには、ディスプレイを開き、本や分厚い紙の束などの障害物でディスプレイを覆わないようにしてください。
- 無線 LAN は無線製品です。各国で適用される無線規制については、『無線 LAN について ユーザに対するお知らせ』を確認してください。

## 無線 LAN ネットワークの種類

---

### ■ ピア・ツー・ピアワークグループ

無線 LAN アクセスポイントを持たない環境（Small Office/Home Office（SOHO）など）で一時的なネットワークを構築する方法です。ピア・ツー・ピアワークグループを設定することで、小規模な無線ネットワークを構築できます。パソコンなどのデバイス同士が互いの通信範囲内にある場合は、最も簡単かつ低コストに無線ネットワークを構築する方法です。

このワークグループでは、Microsoft ネットワークでサポートされているような [ファイルとプリンタの共有] などの機能を使用したファイル交換ができます。家族や友人同士でデータを共有したり、ファイルのやり取りをしたい場合などに便利です。

### ■ インフラストラクチャネットワーク

無線 LAN アクセスポイントを使用してネットワークに接続し、すべてのネットワーク設備に無線 LAN 機器でアクセスできる方法です。ネットワークは、次のどちらでもアクセスできます。

#### 【スタンドアロンネットワーク】

無線 LAN アクセスポイントのみで構築したネットワークです。

#### 【インフラストラクチャネットワーク】

無線 LAN アクセスポイントを既存の有線ネットワークに組み込むネットワーク形態です。

## 基本設定 ( )

---

無線 LAN ネットワークに接続するには、接続するネットワークに応じた設定が必要です。

Windows XP は、標準で無線 LAN ネットワークに対応しています。

- 1 [スタート] → [コントロールパネル] をクリックする
- 2 [ネットワークとインターネット接続] をクリックする
- 3 [ホームネットワークまたは小規模オフィスのネットワークをセットアップまたは変更する] をクリックする  
[ネットワークセットアップウィザードの開始] 画面が表示されます。画面に従って操作してください。

## 詳細設定 ( )

---

無線 LAN は、ほとんどのネットワーク環境において基本的な設定だけで動作しますが、インフラストラクチャネットワークに接続している場合は、[設定の変更] 画面で詳細設定をすることもできます。

- 1 [スタート] → [マイコンピュータ] をクリックする
- 2 [その他] の [マイネットワーク] をクリックする
- 3 [ネットワークタスク] の [ネットワーク接続を表示する] をクリックする  
[ネットワーク接続] 画面が表示されます。

- 4 [ワイヤレスネットワーク接続] を選択し①、[ネットワークタスク] の [この接続の設定を変更する] をクリックする②



[ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ] 画面が表示されます。



- 5 設定を変更し、[OK] ボタンをクリックする

## Windows 2000 モデルでの使用方法

[スタート] → [ファイル名を指定して実行] から [C:¥Toswlan¥Manual¥Setup.exe] を実行すると、デスクトップとスタートメニューにヘルプファイル『無線 LAN について』が作成されますのでご覧ください。

## 無線 LAN 機能を使う

ここでは、ネットワークに接続している他のパソコンの確認と、無線 LAN の電波状況の表示、無線 LAN の設定変更について説明します。無線 LAN 機能を起動するには、本体のスイッチを入れます。

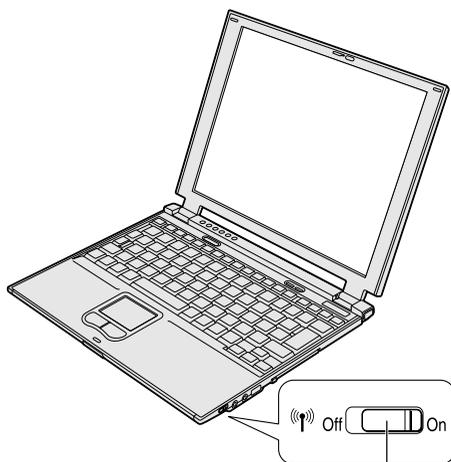
### ⚠ 警告

- ・パソコン本体を航空機に持ち込む場合、ワイヤレスコミュニケーションスイッチをオフ（左側）にし、必ずパソコン本体の電源を切ってください。ワイヤレスコミュニケーションスイッチをオンにしたまま持ち込むと、パソコンの電波により、計器に影響を与える場合があります。また、航空機内でのパソコンのご使用は、必ず航空会社の指示に従ってください。

## 3 章

### 本体の機能

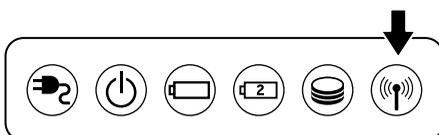
- 1 パソコン本体のワイヤレスコミュニケーションスイッチを右側（On）にする



#### ワイヤレスコミュニケーションスイッチ

無線 LAN の機能を使用するかしないかを切り替えます。使用するときは右側（On）に、使用しないときは左側（Off）に切り替えてください。

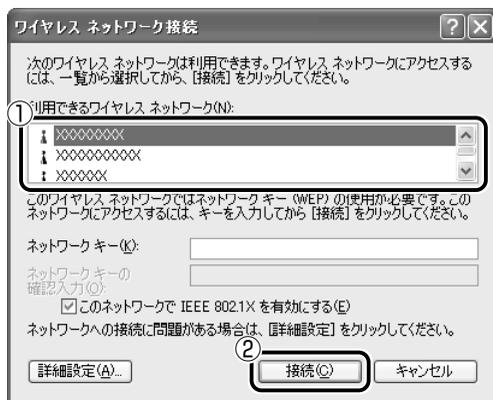
ワイヤレスコミュニケーション LED が点灯し、無線 LAN が使用可能な状態になります。



## ■ Windows XP の場合

Windows XP では無線 LAN 機能が起動すると、パソコンは自動的に利用できるネットワークを検索します。利用できるネットワークが検出された場合、タスクバーからメッセージが表示されます。

- 1 [利用可能なネットワークの一覧を表示するには、ここをクリックしてください] をクリックする  
[ワイヤレスネットワークへの接続] 画面が表示されます。
- 2 [利用できるネットワーク] の使いたいネットワークを選択し①、[接続] ボタンをクリックする②



接続できると、画面下に [ワイヤレスネットワーク接続に接続しました] とメッセージが表示されます。

- 3 [スタート] → [マイコンピュータ] をクリックする
- 4 [その他] の [マイネットワーク] をクリックする
- 5 [ネットワークタスク] の [ワークグループのコンピュータを表示する] をクリックする  
無線 LAN で接続できる、他のパソコンなどのデバイスが表示されます。

無線 LAN の詳しい情報は、『Windows のヘルプ』をご覧ください。

## ■ Windows 2000 の場合

ヘルプファイル『無線 LAN について』をご覧ください。

# 3 ネットワーク設定／デバイスを切り替える

「ネットワークデバイススイッチ」を使って、ネットワークの設定やネットワークデバイスの切り替えをより簡単に行うことができます。

ネットワーク設定をプロファイルとして管理し、プロファイルを選択するだけで、以前設定したネットワークの設定内容に切り替えることができます。

例えば、自宅とオフィスのネットワーク設定を簡単に切り替えられます。

自動切り換え機能では、LAN ケーブルが抜かれたとき、もしくは無線ネットワーク（SSID）を検知したときに自動で LAN 接続（有線 LAN / 無線 LAN）の切り替えを行います。例えば、リビングルームでは有線 LAN に接続し、書斎に移動したときは無線 LAN でネットワークに接続するといった使いかたができます。

詳しくは、「ネットワークデバイススイッチ」のヘルプをご覧ください。



- コンピュータの管理者のユーザアカウントで起動してください。
- デバイスを切り替えると、ネットワークにログオンし直す必要がある場合があります。

## ■ 「ネットワークデバイススイッチ」のセットアップ方法 (Windows 2000 モデル)

Windows 2000 モデルでは、「ネットワークデバイススイッチ」は出荷時にセットアップされていません。セットアップの方法は、『無線 LAN について』をご覧ください。

### ■ 起動方法

#### 1 XP

[スタート] → [すべてのプログラム] → [Network Device Switch] → [Network Device Switch] をクリックする

#### 2000

[スタート] → [プログラム] → [Network Device Switch] → [Network Device Switch] をクリックする

## ■ ヘルプの起動方法

- 1 「ネットワークデバイススイッチ」を起動後、メニューバーから [ヘルプ] → [ヘルプ] をクリックする

# 7

## PC カード

本製品の PC カードスロットは、PC Card Standard 準拠の TYPE II 対応のカード（CardBus 対応カードも含む）を使用できます。

PC カードの詳しい使いかたなどについては『PC カードに付属の説明書』をご覧ください。



● PC カード接続のハードディスクドライブや CD-ROM ドライブなどの動作中に、通信またはサウンドの再生を行った場合、次の現象が発生することがあります。

- ・ 通信回線の速度が遅くなる、通信回線が切断される、ダイヤルに失敗する
- ・ サウンド再生時に音飛びが発生する

### 取り付け／取りはずしのご注意

#### ⚠ 注意

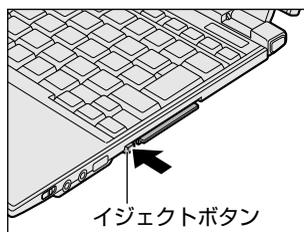
- ・ ホットインサクションに対応していない PC カードを使用する場合は、必ずパソコン本体の電源を切ってから取り付け／取りはずしを行ってください。
- ・ PC カードには、長い時間使用していると熱を帯びるものがあります。PC カードを取りはずす際に、PC カードが熱い場合は、少し時間をおき、冷めてから PC カードを取りはずしてください。
- ・ PC カードの使用停止は必ず行ってください。使用停止せずに PC カードを取りはずすとシステムが致命的影響を受ける場合があります。

## 取り付け

1 ケーブルの接続が必要なときは、PC カードにケーブルを付ける

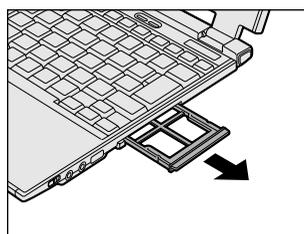
2 PC カードスロットのイジェクトボタンを2回押す

1回押すとイジェクトボタンが出てくるので、もう1度カチッと音がするまで押してください。ダミーカードが出てきます。

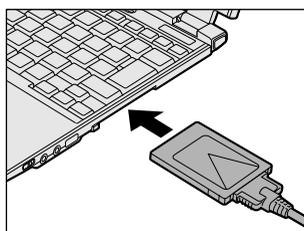


3 ダミーカードを抜く

ダミーカードはなくさないように保管してください。



4 PC カードの表裏を確認し、表を上にして挿入する



カードは、無理な力を加えず、静かに奥まで押してください。きちんと奥まで差し込まれていない場合、PC カードを使用できない、またはPC カードが壊れることがあります。

 カードの接続および環境の設定方法 ⇨ 「PC カードに付属の説明書」

# 取りはずし

## 1 PCカードの使用を停止する



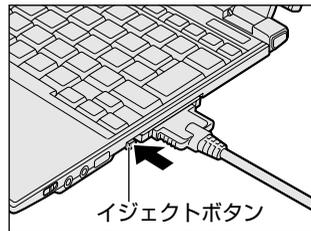
- ① タスクバーの [ハードウェアの安全な取り外し] アイコン (  ) をクリックする
- ② 表示されたメニューから [XXXX (取りはずす PC カード) を安全に取り外します] をクリックする
- ③ 「安全に取り外すことができます」 のメッセージが表示されたら、[閉じる] ボタン (  ) をクリックする



- ① タスクバーの [ハードウェアの取り外しまたは取り出し] アイコン (  ) をクリックする
- ② 表示されたメニューから [XXXX (取りはずす PC カード) を停止します] をクリックする
- ③ 「安全に取り外すことができます」 が表示されたら、[OK] ボタンをクリックする

## 2 PC カードスロットのイジェクトボタンを2回押す

1回押すとイジェクトボタンが出てくるので、もう1度カチッと音がするまで押ししてください。カードが少し出てきます。



## 3 カードをしっかりとつかみ、引き抜く

熱くないことを確認してから行ってください。



- カードを引き抜くときはケーブルを引っ張らないでください。故障するおそれがあります。

## 4 ダミーカードを挿入する



- PC カードを取りはずした後はダミーカードを挿入してください。ほこりやゴミなどがPCカードスロットに入り、故障するおそれがあります。

# 8

## SD メモリカード

本製品のSDメモリカードスロットでは、SDメモリカードを使用できます。マルチメディアカードとSDIOカードは使用できません。

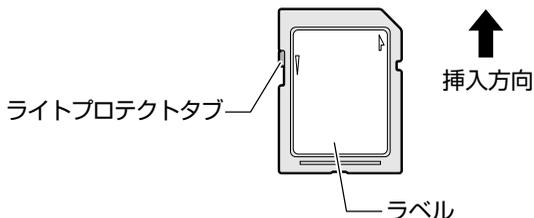
### SDメモリカードについて

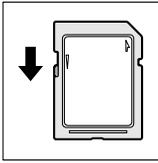
#### ■ SDメモリカードの使用について

- SDメモリカードは、SDMI (Secure Digital Music Initiative) の取り決めに従って、デジタル音楽データの不正なコピーや再生を防ぐための著作権保護技術を搭載しています。そのため、他のパソコンなどで取り込んだデータが著作権保護されている場合は、本製品でコピー、再生することはできません。
- あなたが記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- SDメモリカードは、デジタル音楽データの不正なコピーや再生を防ぐSDMI規格に準拠したデータを取り扱うことができます。メモリの一部を管理データ領域として使用するため、ご使用いただけるメモリ容量は表示の容量より少なくなっています。

#### ■ ライトプロテクトタブ

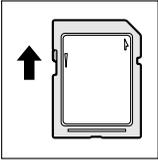
SDメモリカードは、ライトプロテクトタブを移動することにより、誤ってデータを消したりしないようにすることができます。





### 書き込み禁止状態

ライトプロテクトタブを挿入とは反対の方向へ移動させます。この状態のSDメモ리카ードには、データの書き込みはできません。データの読み取りはできます。



### 書き込み可能状態

ライトプロテクトタブを挿入と同じ方向へ移動させます。この状態のSDメモ리카ードには、データの書き込みも読み取りもできます。

## ■ フォーマット

新品のSDメモ리카ードは、SDメモ리카ードの規格にあわせてフォーマットされた状態で販売されています。再フォーマットをする場合は、SDメモ리카ードを使用する機器（デジタルカメラやオーディオプレーヤなど）で行ってください。フォーマット方法については、『使用する機器に付属の説明書またはヘルプ』をご覧ください。

### ⚠ 注意

- ・ Windows 上（[マイ コンピュータ] 画面）でSDメモ리카ードのフォーマットを行わないでください。デジタルカメラやオーディオプレーヤなど他の機器で使用できなくなる場合があります。



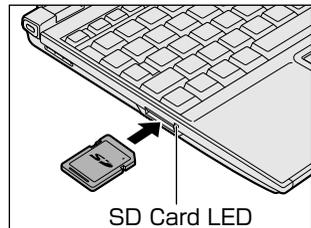
- 再フォーマットを行うと、そのSDメモ리카ードに保存されていた情報はすべて消去されます。1度使用したSDメモ리카ードを再フォーマットする場合は注意してください。

## セット

### 1 SDメモ리카ードの表裏を確認し、表を上にして挿入する

奥まで挿入します。

SDメモ리카ードとデータをやり取りしているときは、SD Card LEDが点灯します。



## ⚠ 注意

- ・ SD Card LED が点灯中は、電源を切ったり、SD メモリカードを取り出したり、パソコン本体を動かしたりしないでください。データや SD メモリカードが壊れるおそれがあります。
- ・ SD メモリカードは無理な力を加えず、静かに挿入してください。正しく挿し込まれていない場合、パソコンの動作が不安定になったり、SD メモリカードのデータが壊れるおそれがあります。

## 取りはずし

### 1 SD メモリカードの使用を停止する



- ① タスクバーの [ハードウェアの安全な取り外し] アイコン (  ) をクリックする
- ② 表示されたメニューから [TOSHIBA SD Memory Card Drive を安全に取り外します] をクリックする
- ③ 「安全に取り外すことができます」 のメッセージが表示されたら、[閉じる] ボタン (  ) をクリックする



- ① タスクバーの [ハードウェアの取り外しまたは取り出し] アイコン (  ) をクリックする
- ② 表示されたメニューの [TOSHIBA SD Memory Card Drive を停止します] をクリックする
- ③ 「安全に取り外すことができます」 のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックする

### 2 SD メモリカードを押す

カードが少し出てきます。そのまま手で取り出します。



- SD Card LED が点灯している間は、カードを取り出さないでください。カード内のデータが壊れることがあります。

# 9

## コンパクトフラッシュカード

\*コンパクトフラッシュモデルのみ

コンパクトフラッシュカードスロットに、CFA（Compact Flash Association）準拠のTYPE I／II対応コンパクトフラッシュカードを取り付けて使用できます。

詳しい使いかたなどについては『コンパクトフラッシュカードに付属の説明書』をご覧ください。

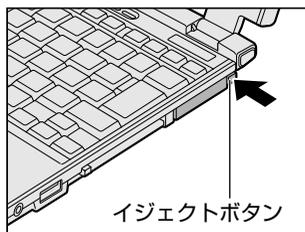
### 3章

#### 本体の機能

## セット

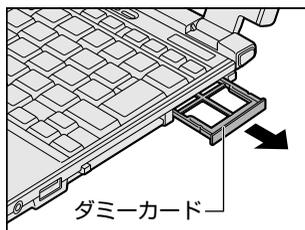
- 1 コンパクトフラッシュカードスロットのイジェクトボタンを2回押す

1回押すとイジェクトボタンが出てくるので、もう1度カチッと音がするまで押してください。ダミーカードが出てきます。



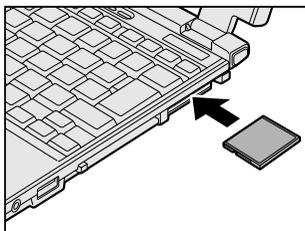
- 2 ダミーカードを抜く

ダミーカードはなくさないように保管してください。



- 4 コンパクトフラッシュカードの表裏を確認し、表を上にして挿入する

無理な力を加えず、静かに奥まで押してください。きちんと奥まで差し込まれていない場合、コンパクトフラッシュカードを使用できない、またはコンパクトフラッシュカードが壊れることがあります。



# 取り出し

## 1 コンパクトフラッシュカードの使用を停止する



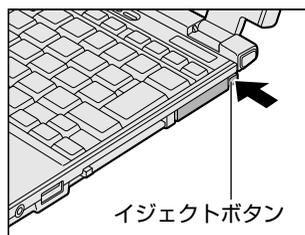
- ① タスクバーの [ハードウェアの安全な取り外し] アイコン (  ) をクリックする
- ② 表示されたメニューから [XXXX (取りはずすコンパクトフラッシュカード) を安全に取り外します] をクリックする
- ③ 「安全に取り外すことができます」 のメッセージが表示されたら、[閉じる] ボタン (  ) をクリックする



- ① タスクバーの [ハードウェアの取り外しまたは取り出し] アイコン (  ) をクリックする
- ② 表示されたメニューから [XXXX (コンパクトフラッシュカード) を停止します] をクリックする
- ③ 「安全に取り外すことができます」 が表示されたら、[OK] ボタンをクリックする

## 2 コンパクトフラッシュカードスロットのイジェクトボタンを2回押す

1回押すとイジェクトボタンが出てくるので、もう1度カチッと音がするまで押してください。コンパクトフラッシュカードが少し出てきます。



## 3 コンパクトフラッシュカードをしっかりとつかみ、引き抜く

## 4 ダミーカードを挿入する



- コンパクトフラッシュカードを取りはずした後はダミーカードを挿入してください。  
ほこりやゴミなどがコンパクトフラッシュカードスロットに入り、故障するおそれがあります。

# 10

## CRT ディスプレイの接続

RGB コネクタに CRT ディスプレイを接続できます。  
CRT ディスプレイを接続した場合には次の表示方法があります。

- 内部液晶ディスプレイだけに表示する（初期設定）
- CRT ディスプレイと内部液晶ディスプレイに同時表示する
- CRT ディスプレイだけに表示する



- 省電力機能により CRT ディスプレイの表示が消えた場合、キーあるいはタッチパッドの操作により表示が復帰します。  
このとき、表示が復帰するまで 10 秒前後かかることがあります  
すが、故障ではありません。



- 次のようなときには、表示方法を切り替えしないでください。データが消失するおそれがあります。
  - ・データの読み込みや書き込みをしている間
  - ・通信を行っている間
- CRT ディスプレイに表示する場合は、CRT ディスプレイ側で、表示位置や表示幅を設定してください。



ビデオモードについて ⇨ 「付録 1- サポートしているビデオモード」

### ■ 方法 1 - 画面のプロパティで設定する

#### 1 XP

[スタート] → [コントロールパネル] をクリック → [デスクトップの表示とテーマ] をクリック → [画面] をクリックする

#### 2000

[スタート] → [設定] → [コントロールパネル] をクリック → [画面] をダブルクリックする

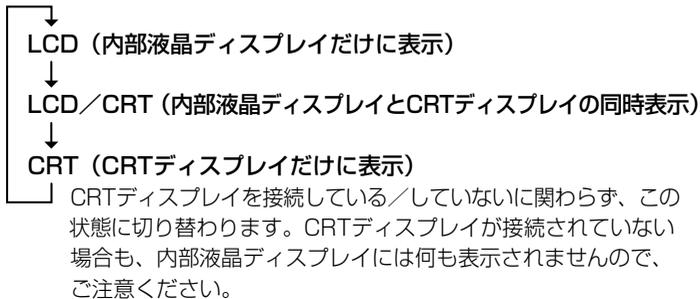
2 [設定] タブで [詳細] または [詳細設定] ボタンをクリックする

3 [表示デバイス] タブで次のいずれかを選択する

- 内部液晶ディスプレイだけに表示  
..... [LCD] ボタンをクリック
- 内部液晶ディスプレイとCRTディスプレイの同時表示  
..... [LCD] ボタンと [CRT] ボタンの両方をクリック
- CRTディスプレイだけに表示  
..... [CRT] ボタンをクリック

### ■ 方法2 - (Fn) + (F5) キーを使う

(Fn)キーを押したまま、(F5)キーを押すと、表示装置を選択する画面が表示されます。カーソルは現在の表示装置を示しています。(F5)キーを押すたびに、カーソルが移動します。表示させたい装置にカーソルを移動し、(Fn)キーを離すと表示装置が切り替わります。



CRTディスプレイを接続していないときに表示を「CRT」にした場合、(Fn) + (F5)キーを3秒間押し続けると内部液晶ディスプレイの表示に戻ります。

「東芝HWセットアップ」または「セットアッププログラム」からも設定できます。

参照 東芝HWセットアップからの設定 ⇨ [5章 1- 起動時の表示装置]

参照 セットアッププログラムからの設定 ⇨ [5章 2-4 ⑥ DISPLAY]

増設メモリスロットに256MBまでの増設メモリを取り付けることができます。増設メモリは、本製品で動作が保証されているものをご購入ください。それ以外のメモリを増設するとシステムが起動しなくなったり、動作が不安定になることがあります。

### 取り付け／取りはずしのご注意

#### ⚠ 警告

- ・本文中で説明されている部分以外は絶対に分解しないでください。内部には高電圧部分が多くあり、万一触ると危険です。

#### ⚠ 注意

- ・ステーブル、クリップなどの金属や、コーヒーなどの液体を機器内部に入れないでください。ショート、発煙のおそれがあります。万一、機器内部に入った場合は、バッテリーを取りはずし、電源を入れずに、お買い求めの販売店、またはお近くの保守サービスに点検を依頼してください。
- ・メモリの取り付け／取りはずしは、必ず電源を切り、ACアダプタのプラグを抜き、バッテリーパックを取りはずしてから作業を行ってください。電源を入れたまま取り付け／取りはずしを行うと感電、故障のおそれがあります。
- ・電源を切った直後はやけどをするおそれがありますので、増設メモリの取り付け／取りはずしを行わないでください。  
電源を切った後30分以上たってから行うことをおすすめします。
- ・パソコン本体やメモリのコネクタに触らないでください。コネクタにゴミが付着すると、メモリが正常に使用できなくなります。



お願い

- ネジをはずす際は、十字ねじ回しビット0番のドライバを使用してください。
- 増設メモリを強く押ししたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- スタンバイ／休止状態中に増設メモリの取り付け／取りはずしを行わないでください。スタンバイ／休止状態が無効になります。また、本体内の記憶内容が変化し、消失することがあります。

## ■ 静電気について

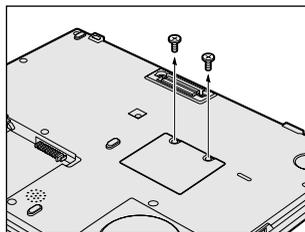
増設メモリは、精密な電子部品のため静電気によって致命的損傷を受けることがあります。人間の体はわずかながら静電気を帯びていますので、増設メモリを取り付ける前に静電気を逃がしてから作業を行ってください。手近にある金属製のものに軽く指を触れるだけで、静電気を防ぐことができます。

## 取り付け

- 1 データを保存し、Windows を終了して電源を切る
- 2 パソコン本体に接続されている AC アダプタとケーブル類をはずす
- 3 ディスプレイを閉じてパソコン本体を裏返す
- 4 バッテリーパックを取りはずす

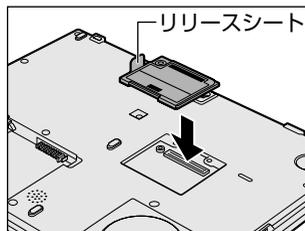
 バッテリーパックについて ⇨ 「4章 1-3 バッテリーパックを交換する」

- 5 増設メモリカバーのネジ2本をはずし、増設メモリカバーをはずす



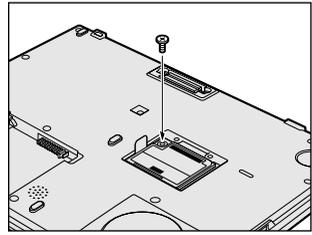
- 6 スロットに、リリースシートの端が上に出た状態で増設メモリを取り付ける

取り付けるときには、増設メモリに貼られているラベルの黒い部分をおさえます。



- 増設メモリのラベルの黒い部分以外を押さないでください。増設メモリが壊れるおそれがあります。

- 7 増設メモリを同梱されているネジ1本でとめる



- 8 リリースシートを収納しながら増設メモリカバーをはめ、手順5ではずしたネジ2本でとめる

- 9 バッテリーパックを取り付ける

パソコン本体の電源を入れると総メモリ容量が自動的に認識されます。総メモリ容量が正しいか確認してください。

 参照  メモリ容量の確認について  「本節 - メモリ容量の確認」

## 取りはずし

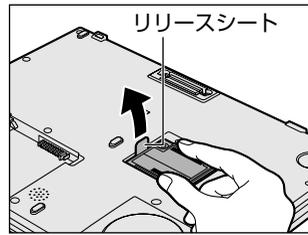
---

- 1 データを保存し、Windows を終了させて電源を切る
- 2 パソコン本体に接続されている AC アダプタとケーブル類をはずす
- 3 ディスプレイを閉じてパソコン本体を裏返す
- 4 バッテリーパックを取りはずす

 参照  バッテリーパックについて  「4章 1-3 バッテリーパックを交換する」

- 5 増設メモリカバーのネジ2本をはずし、増設メモリカバーをはずす
- 6 増設メモリを固定しているネジ1本を取りはずす

- 7 増設メモリに貼られているラベルの黒い部分に指を添えながら、リリースシートを矢印の方向にゆっくり引き上げ、増設メモリを取りはずす



- 増設メモリのラベルの黒い部分以外を押さないでください。増設メモリが壊れるおそれがあります。

- 8 増設メモリカバーをはめ、手順5ではずしたネジ2本でとめる

- 9 バッテリーパックを取り付ける

パソコン本体の電源を入れると総メモリ容量が自動的に認識されます。総メモリ容量が正しいか確認してください。



メモリ容量の確認について ⇨ 「本節 - メモリ容量の確認」

## メモリ容量の確認

① **XP**

[スタート] → [すべてのプログラム] → [東芝ユーティリティ] → [PC 診断ツール] をクリックする

**2000**

[スタート] → [プログラム] → [東芝ユーティリティ] → [PC 診断ツール] をクリックする

- ② [基本情報の表示] ボタンをクリックする

- ③ [メモリ] の数値を確認する



- メインメモリ領域のうち 16MB がビデオ RAM として使用されるため、[基本情報の表示] で表示されるメモリ容量は、実際の搭載メモリより約 16MB 少なく表示されます。

# 4章 パソコンを持ち歩く

- 1 バッテリーについて ..... 96
- 2 省電力の設定 ..... 106
- 3 大容量バッテリー ..... 111

# 1

## バッテリーについて

パソコン本体には、バッテリーパックが取り付けられています。

バッテリーを充電して、バッテリー駆動（ACアダプタを接続しない状態）で使うことができます。

バッテリー駆動で使う場合は、あらかじめACアダプタを接続してバッテリーの充電を完了（フル充電）させます。または、フル充電したバッテリーパックを取り付けます。

ご購入時は、バッテリーはフル充電されていませんので、本製品を初めてお使いになるときは、バッテリーを充電してからお使いください。

また、標準バッテリーとあわせて大容量バッテリー（別売り）をご使用になると、より長い時間バッテリー駆動でお使いいただけます。

 大容量バッテリー ⇨ 「本章 3 大容量バッテリー」

バッテリー駆動でお使いになる前に、『安心してお使いいただくために』をよくお読みになり、必ず指示をお守りください。

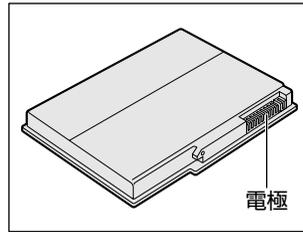
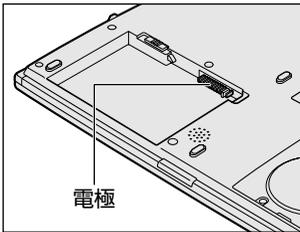
 『安心してお使いいただくために バッテリーパックの取り扱いについて』

### 警告

- ・バッテリーパックは、必ず本製品に付属の製品を使用してください。また、寿命などで交換する場合は、東芝純正バッテリー（TOSHIBA バッテリーパック：PABAS017）をお買い求めください。指定以外の製品は、電圧や端子の極性が異なることがあるため発煙、火災のおそれがあります。

## ⚠ 注意

- ・バッテリーパックの充電温度範囲内（10～30℃）で充電してください。充電温度範囲内で充電しないと、液もれや発熱、性能や寿命が低下するおそれがあります。
- ・別売りのバッテリーパックをお買い上げ後、初めて使用する場合にサビ、異臭、発熱などの異常があると思われるときは使用しないでください。お買い求めの販売店または、お近くの保守サービスに点検を依頼してください。
- ・バッテリー駆動で使用しているときは、バッテリーの残量に十分注意してください。  
バッテリー（バッテリーパック、時計用バッテリー）を使いきってしまうと、スタンバイが効かなくなり、電源が切れて、メモリに記憶されていた内容はすべて消えます。また、時刻や日付に誤差が生じます。このような場合は、全バッテリーを充電してください。
- ・バッテリーパックの取り付け／取りはずしをする場合は、必ず電源を切り、電源コードのプラグを抜いてから作業を行ってください。スタンバイを実行している場合は、バッテリーパックの取りはずしをしないでください。データが消失します。
- ・電極に手を触れないでください。故障の原因になります。



## バッテリーを節約する

---

バッテリーを節約して、本製品をバッテリー駆動で長時間使用するには、次の方法があります。

- こまめに休止状態にする

 休止状態 ⇨ 「2章 3-2 休止状態」

- 入力しないときは、ディスプレイを閉じておく

 ディスプレイを閉じる ⇨ 「2章 4 簡単に電源を切る／使用を中断する」

- 省電力モードに設定する

 省電力設定 ⇨ 「本章 2 省電力の設定」

## 時計用バッテリー

---

本製品には、取りはずしができるバッテリーパックの他に、内蔵時計を動かすための時計用バッテリーが内蔵されています。

時計用バッテリーの充電は、パソコン本体の電源が入っているときに行われますので、普通に使用しているときは、あまり意識して行う必要はありません。ただし、あまり充電されていない場合、時計が止まったり、遅れたりすることがあります。充電完了までの時間は次のとおりですが、実際には充電完了まで待たなくても使用できます。また、充電状態を知ることはできません。

### ■ 充電完了までの時間

状態	時計用バッテリー
電源ON (Power  LEDが緑色に点灯)	8時間

-  時計用バッテリーが切れていると、時間の再設定をうながす Warning（警告）メッセージが出ます。

# 1 バッテリーを充電する

ここでは、バッテリーの充電方法とフル充電になるまでの充電時間について説明します。

## 充電方法

### 1 パソコン本体に AC アダプタを接続し、電源コードのプラグをコンセントに差し込む

DC IN  LED が緑色に点灯して Battery  LED がオレンジ色に点灯すると、充電が開始されます。

パソコン本体に AC アダプタを接続すると、電源の ON/OFF にかかわらず、フル充電になるまで充電されます。

### 2 Battery LED が緑色になるまで充電する

バッテリーの充電中は Battery  LED がオレンジ色に点灯します。

DC IN  LED が消灯している場合は、通電していません。AC アダプタ、電源コードの接続を確認してください。



- バッテリーパックが極端に熱いか冷えていると、正常に充電されないことがあります。バッテリーを充電するには、10～30℃の室温で充電してください。



- パソコン本体を長時間で使用にならないときは、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 大容量バッテリーを取り付けている場合は、標準のバッテリーパックから充電が開始されます。

## ■ 充電時間

フル充電になるまでの充電時間の目安は次のとおりです。

状態	電源ON	電源OFF
標準のバッテリーパック	約2～4時間	約2時間
大容量バッテリー	約3～8時間	約3時間

(注) 周囲の温度が低いとき、バッテリーの温度が高くなっているとき、周辺機器を取り付けている場合は、この時間よりも長くなる場合があります。

## ■ 使用できる時間

バッテリー駆動での使用時間は、パソコン本体の使用環境によって異なります。

次の時間は目安にしてください。

### 【充電完了の状態で使用した場合】

測定法		JEITA測定法1.0
動作時間	標準のバッテリーパック	約2.4時間
	標準のバッテリーパックと大容量バッテリーの両方	約7.7時間

## ■ 使っていないときの充電保持時間

パソコン本体を使わないで放置していても、バッテリー充電量は少しずつ減っていきます。1ヶ月以上の長期間にわたり、ACアダプタを接続したままパソコンを使用した場合でも、バッテリー充電量は少しずつ減少します。いずれの場合も放置環境などに左右されますので、保持時間は、目安にしてください。

### 【フル充電した状態で電源を切った場合】

パソコン本体の状態	保持時間
電源切断または休止状態	約25日
スタンバイ	約2日



- スタンバイを実行した場合、放電しきるまでの時間が非常に短い  
ため、バッテリー駆動時は休止状態にすることをおすすめします。

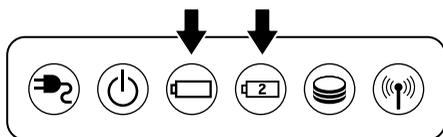
## 2 バッテリ充電量を確認する

バッテリー駆動で使う場合、バッテリーの充電量が減って途中で作業を中断したりしないよう、バッテリーの充電量を確認しておく必要があります。バッテリー充電量を確認するには、次の方法があります。

### LEDで確認する

ACアダプタを使用している場合、Battery  LEDが緑色に点灯すれば充電完了です。

また、大容量バッテリー（別売り）を取り付けている場合は、大容量バッテリー  LEDが緑色に点灯すれば充電完了です。



バッテリー駆動で使用しているときにオレンジ色に点滅した場合は、バッテリーの充電が必要です。LEDの色は次の状態を示しています。

緑	充電完了
オレンジ	充電中
オレンジの点滅	充電が必要
消灯	<ul style="list-style-type: none"><li>・バッテリーが接続されていない</li><li>・ACアダプタが接続されていない</li><li>・バッテリー異常</li></ul>

## タスクバーの [省電力] アイコンで確認する

タスクバーの [省電力] アイコン (  ) の上にポインタを置くと、バッテリー充電量が表示されます。

このときバッテリー充電量以外にも、現在使用している省電力モード名や、使用している電源の種類が表示されます。バッテリー駆動で使用している場合には、バッテリー動作予想時間も表示されます。

- AC アダプタを接続している場合



- バッテリー駆動の場合



-  ● タスクバーに表示される [省電力] アイコンは現在使用されている省電力モードにより変わります。
- 東芝省電力ユーティリティ ([コントロールパネル] → [東芝省電力]) の設定内容によっては、タスクバーに [省電力] アイコンが表示されません。表示させたいときは、[電源設定] タブで [タスクバーに省電力モードの状態を表示する] をチェックしてください。
-  ● 1ヶ月以上の長期間にわたり、AC アダプタを接続したままパソコンを使用してバッテリー駆動を行わないと、バッテリー充電量が少しずつ減少します。このような状態でバッテリー充電量が減少したときは、Battery  LED や [省電力] アイコンで充電量の減少が表示されないことがあります。1ヶ月に1度は再充電することをおすすめします。

 再充電の方法 ⇨ 「本項-バッテリーを長持ちさせるには」

## バッテリー充電量が減少したとき

---

電源が入っている状態でバッテリーの充電量の減少が進むと、Battery  LED がオレンジ色に点滅します（バッテリーの減少を示しています）。ただちに次のいずれかの方法で対処してください。

- パソコン本体に AC アダプタを接続し、通電する
- 電源を切ってから、フル充電のバッテリーパックと取り換える

ご購入時の設定では、対処しなかった場合、パソコン本体は自動的に休止状態になり、電源を切ります。



- 長時間使用しないでバッテリーが自然に放電しきってしまったときは、Battery  LED で放電しきったことを知ることはできません。長時間使用しなかったときは、充電してから使用してください。

## バッテリーを長持ちさせるには

---

- ACアダプタをコンセントに接続したままで、パソコンを8時間以上ご使用にならない場合は、バッテリーを長持ちさせるためにも、ACアダプタをコンセントからはずしてください。
- 1ヶ月以上の長期間バッテリーを使わないときは、パソコン本体からバッテリーパックをはずして、風通しの良い涼しい場所に保管してください。
- 1ヶ月に1度は、ACアダプタをはずしてバッテリー駆動でパソコンをお使いください。  
その際には、パソコンをお使いになる前に次の方法で再充電してください。

### 1 パソコン本体の電源を切る

### 2 パソコン本体からACアダプタをはずし、パソコンの電源を入れる

電源が入らない場合は手順4へ進んでください。

### 3 5分程度バッテリー駆動を行う

この間、Battery  LED が点滅するか、充電量が少なくなった等の警告が表示された場合は、速やかにACアダプタを接続し、手順4へ進みます。

### 4 パソコン本体にACアダプタを接続し、電源コードをコンセントにつなぐ

DC IN  LED が緑色に点灯して Battery  LED がオレンジ色に点灯すると、充電が開始されます。

### 5 Battery LED が緑色になるまで充電する

バッテリー充電中は Battery  LED がオレンジ色に点灯します。DC IN  LED が消灯している場合は、通電していません。ACアダプタ、電源コードの接続を確認してください。

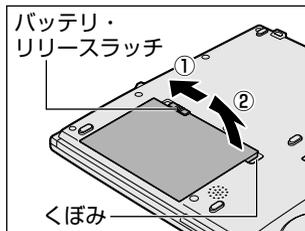
## 3 バッテリーパックを交換する



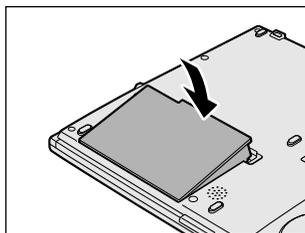
- バッテリーパックの取り付け/取りはずしの際には、必ず電源を切り、電源コードのプラグを抜いてから作業を行ってください。

### 取り付け/取りはずし

- 1 パソコンの電源を切り、パソコン本体から AC アダプタと周辺機器のケーブル類をはずす
- 2 ディスプレイを閉じてパソコン本体を裏返す
- 3 バッテリー・リリースラッチをスライドしながら①、くぼみに指をかけてバッテリーパックを取りはずす  
②



- 4 交換するバッテリーパックを、カチッという音がするまで、静かに差し込む



## 4 章

パソコンを持ち歩く

# 2

## 省電力の設定

バッテリー駆動でパソコンを使用しているときに、消費電力を減らすこと（ディスプレイの明るさを抑えるなど）で、より長い時間お使いいただけます。省電力の設定は「東芝省電力ユーティリティ」から行います。ACアダプタを接続して使う場合には、特に設定する必要はありません。

### 起動方法

#### 1 XP

[スタート] → [コントロールパネル] をクリック → [パフォーマンスとメンテナンス] をクリック → [東芝省電力] をクリックする

#### 2000

[スタート] → [設定] → [コントロールパネル] をクリック → [東芝省電力] をダブルクリックする  
タスクバーの省電力アイコン（) をダブルクリックしても起動できます。

### [電源設定] タブ



使用目的や使用環境（モバイル、会社、家など）に合わせて、省電力モードを設定したり、複数の省電力モードを作成できます。環境が変化したときに省電力モードを切り替えるだけで、簡単にパソコンの電源設定を変更することができ、快適にご使用いただけます。また、現在の電源やバッテリー残量などの詳細情報も表示します。

### ■【電源に接続】【バッテリーを使用中】

設定可能な省電力モードの一覧が表示されますので、ご使用になる省電力モードに設定します。【電源に接続】【バッテリーを使用中】はACアダプタ接続／バッテリー駆動での使用によって、自動的に切り替わります。

ご購入時にはあらかじめ次の省電力モードがあります。これらの省電力モードは、電源の供給状態によって、設定できるモードがあらかじめ決められています。また、すべての省電力モードを、使用環境や状態に合わせて詳細設定したり、コピー、名前の変更などが行えます。また、新しい省電力モードを作成することもできます。

フルパワー	最高性能で動作します。消費電力が一番大きいモードです。ご購入時の初期状態では、【電源に接続】（ACアダプタを使用するとき）がこのモードに設定されています。
ロングライフ	消費電力を優先して省電力制御を行います。
ノーマル	性能と消費電力を両立して省電力制御を行います。ご購入時の初期状態では、【バッテリーを使用中】（バッテリー駆動で使用するとき）がこのモードに設定されています。
ハイパワー	性能を優先して省電力制御を行います。
DVD再生	性能と消費電力を両立してDVDの再生などに適した省電力制御を行います。
プレゼンテーション	性能と消費電力を両立してプレゼンテーション用ソフトなどの使用に適した省電力制御を行います。
スーパーロングライフ	消費電力を最優先にして省電力制御を行います。

## 【省電力モードの作成】

- ① 新しく作成する省電力モードのもとになる省電力モードをクリックする
- ② [コピー] ボタンをクリックする  
[~のコピー] という省電力モードができます。
- ③ その省電力モードの名前を変更する
- ④ 必要に応じて省電力の設定を変更する

 省電力モードの詳細設定 ⇨ 「本節 省電力モードの詳細設定」

## 【省電力モードの削除】

- ① 削除する省電力モードをクリックする
- ② [削除] ボタンをクリックする  
[元に戻す] ボタンをクリックすると直前に行った削除をキャンセルすることができますが、[閉じる] ボタンをクリックした後には元に戻すことはできません。また、購入時に搭載されている7つの省電力モードを削除することはできません。

### ●タスクバーに省電力モードの状態を表示する

[タスクバーに省電力モードの状態を表示する] をチェックする (  ) と現在の省電力モードを示す省電力アイコン (  ) がタスクバーに表示されます。

省電力アイコンをダブルクリックすることにより、東芝省電力ユーティリティを開くことができます。

### ●タスクバーに Intel(R)SpeedStep(TM)Technology の状態を表示する

[タスクバーに Intel(R)SpeedStep(TM)Technology の状態を表示する] をチェックする (  ) と現在の CPU 周波数の状態を示すアイコン (  ) がタスクバーに表示されます。

CPU 周波数アイコンをクリックすることにより、CPU 周波数を変更することができます。

## 【休止状態】 タブ

---

休止状態を使用するかしないかの設定を行います。

使用する場合には、[休止状態をサポートする] をチェックします。

## 省電力モードの詳細設定

---

### 1 [電源設定] タブで利用したい省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリックする

[XX (省電力モード) のプロパティ] の画面が表示されます。

#### ■ [全般] タブ

省電力モードのアイコンを変更したり、その省電力モードを作成した目的や使用環境などを記述できます。また、ここで設定したプログラムがアクティブになったとき、自動的にこの省電力モードに切り替わるように設定できます。

#### ■ [省電力] タブ

省電力に関する設定を自由に編集することができます。ここでは、ディスプレイやハードディスクの電源を切る時間、ディスプレイの輝度、CPUの処理速度などを設定します。また、CPUが高温になったとき、熱を冷ます方式を選択できます。

#### ■ [動作] タブ

ここでは、電源スイッチを押したときやパソコンのディスプレイを閉じたときの動作を設定します。

##### 【スタンバイ】

スタンバイとは、作業を中断したときの状態をメモリに保存する機能です。次に電源スイッチを押すと、状態を再現することができます。

##### 【休止状態】

休止状態とは、パソコン本体の電源を切るときに、メモリの内容をハードディスクに保存する機能です。次に電源を入れると、以前の状態を再現します。

##### 【電源オフ】

Windows を終了して電源を切ります。

 [参照](#) スタンバイ、休止状態の詳細  「2章 3 パソコンの使用を中断する」

- スタンバイおよび休止状態から復帰するときにパスワードの入力を求める  
ここをチェックする（）と、Windows のパスワードを設定している場合には、スタンバイや休止状態から復活するときに Windows パスワードが要求されます。

-  ●ここに表示している動作設定を他の省電力モードにも設定する場合には、[現在の設定をすべてのモードで使用する] ボタンをクリックします。

## ■ [アラーム] タブ

バッテリー残量が少なくなったことをユーザに通知する方法および実行する動作を設定します。

[アラーム] タブは [電源設定] タブで [バッテリーを使用中] に登録された省電力モードを選択した場合のみ表示されます。

## ■ [デバイスの設定] タブ

省電力モードで使用するとき、デバイスを有効／無効にする設定を行います。

## 詳しい操作方法を知りたいとき（ヘルプの起動）

---

- 1 [東芝省電力ユーティリティ] を起動後、[東芝省電力のプロパティ] 画面右上の  をクリックする  
ポインタが  に変わります。
- 2 画面上の知りたい項目にポインタを置き、クリックする

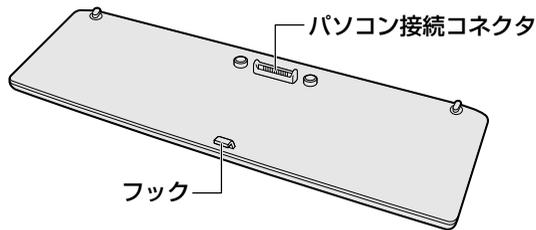
# 3

## 大容量バッテリー

本製品には、標準添付のバッテリーパックの他に、大容量バッテリー（別売り）が用意されています。

パソコン本体のドッキングポートに大容量バッテリーを取り付けて、標準バッテリーパックと大容量バッテリーを同時に使用することにより、長時間バッテリー駆動で使用することができます。

充電方法、充電時間、バッテリーでの使用時間については、標準バッテリーパックとあわせて説明していますので、「本章 1 バッテリーについて」をご覧ください。

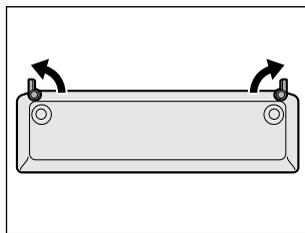


### ⚠ 注意

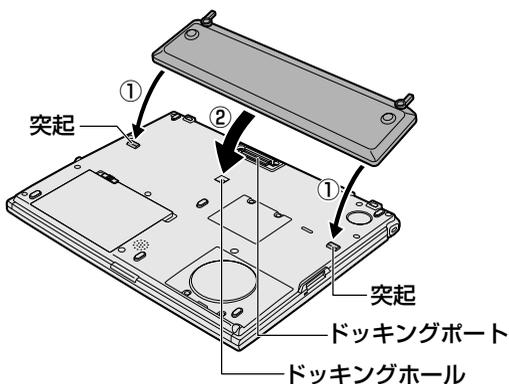
- ・ 大容量バッテリーはしっかりと取り付けられているかどうか、必ず確認してください。正しく取り付けられていないと、持ち運びのときに大容量バッテリーがはずれ落ちて、思わぬケガのおそれがあります。

## 取り付け

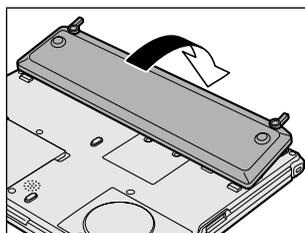
- 1 パソコン本体の電源を切り、ACアダプタや周辺機器のケーブルをはずす
- 2 パソコン本体と大容量バッテリーを裏返す
- 3 大容量バッテリーの左右のレバーを垂直に起こす



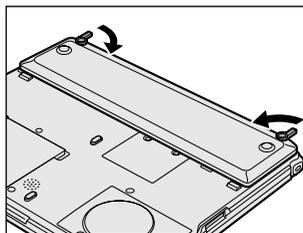
- 4 パソコン本体の突起に大容量バッテリーをあわせ①、中央のドッキングホールに大容量バッテリー中央のフックをかける②



- 5 大容量バッテリーを矢印の向きに倒す  
大容量バッテリーがドッキングポートにはまります。

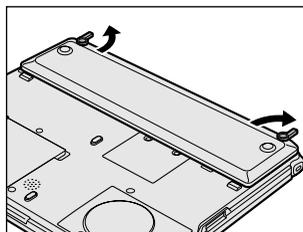


- 6** 大容量バッテリーのレバーを元の位置に戻し、パソコン本体に固定する

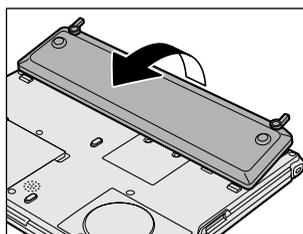


## 取りはずし

- 1** パソコン本体の電源を切り、ACアダプタや周辺機器のケーブルをはずす
- 2** パソコン本体と大容量バッテリーを裏返す
- 3** 大容量バッテリーの左右のレバーを矢印の方向に起こす



- 4** 大容量バッテリーを矢印の方向に引き上げ、パソコン本体から大容量バッテリーを取りはずす





# 5章 システム構成と パスワード

<b>1</b>	東芝HWセットアップ.....	116
<b>2</b>	セットアッププログラム.....	120
<b>3</b>	パスワードセキュリティ.....	134

# 1

## 東芝HW セットアップ

ハードウェアの設定を変更できます。

### 起動方法

---

#### 1 XP

[スタート] → [コントロールパネル] をクリック → [プリンタとその他のハードウェア] をクリック → [東芝HW セットアップ] をクリックする

#### 2000

[スタート] → [設定] → [コントロールパネル] をクリック → [東芝HW セットアップ] をダブルクリックする

#### ■ [全般] タブ

セットアッププログラムのバージョンなどを表示します。

- [標準設定] ボタン  
東芝HW セットアップの設定をご購入時の状態に戻します。
- [バージョン情報] ボタン  
東芝HW セットアップのバージョンを表示します。

#### ■ [パスワード] タブ

パソコンの電源を入れたときに入力するパスワードの登録や削除を行います。

 パスワードについて ⇨ 「本章 3 パスワードセキュリティ」

#### ■ [デバイスの設定] タブ

パソコンが起動したときにセットアッププログラムが初期化するデバイスを指定します。

## 【デバイスの設定】

- **全デバイス設定**  
すべてのデバイスを初期化します。
- **OS による設定（標準値）**  
システムをロードするのに必要なデバイスのみ初期化します。それ以外のデバイスはシステムが初期化します。

## ■ 【ディスプレイ】 タブ

パソコンが起動したときに表示する装置を選択します。

### 【起動時の表示装置】

- **内部／外部を自動選択（標準値）**  
システム起動時に、外部 CRT ディスプレイが接続されている場合は、外部 CRT ディスプレイだけに表示します。システム起動時に、外部 CRT ディスプレイが接続されていない場合は、本体のディスプレイに表示します。
- **内部／外部を同時使用**  
外部ディスプレイと本体のディスプレイの両方に表示します。

 **CRT ディスプレイの接続** ⇨ 「3章 10 CRT ディスプレイの接続」

## ■ 【CPU】 タブ

CPU に関する設定を行います。

### 【CPU 周波数の設定】

- **ダイナミック切替モード（標準値）**  
CPUの消費電力・周波数自動切り替え機能を有効にし、使用状況に応じて CPU 周波数を自動的に切り替えます。
- **常時高速モード**  
CPUの消費電力・周波数自動切り替え機能を無効にし、常時、高周波数で動作します。
- **常時標準モード**  
CPUの消費電力・周波数自動切り替え機能を無効にし、常時、低消費電力・低周波数で動作します。

## ■ 【OSの起動】 タブ

OSの起動について設定します。

### 【OSの起動】

システムを起動するディスクドライブの順番を選択します。  
通常は [HDD → FDD → CD-ROM → LAN] に設定してください。

### 【ネットワークブートプロトコル】

ネットワークを使ってリモートブートする際のプロトコルを設定します。

- PXE (標準値)  
プロトコルをPXEに設定します。
- RPL  
プロトコルをRPLに設定します。

## ■ 【キーボード】 タブ

キーボードについて設定します。

### 【キーボードによるスタンバイ復帰】

この機能を有効にすると、キーボードからの入力で、スタンバイから復帰できます。

- 有効にする
- 無効にする (標準値)

## ■ 【USB】 タブ

USB対応機器について設定します。

### 【USB キーボード/マウス レガシーサポート】

USB キーボードやマウスのレガシーサポートを行うかどうかを設定します。

- 有効にする (標準値)  
レガシーサポートを行います。ドライバなしでUSB キーボード、USB マウスが使用できます。
- 無効にする  
レガシーサポートを行いません。

### 【USB フロッピーディスク レガシーサポート】

USB フロッピーディスクドライブのレガシーサポートを行うかどうかを設定します。

- 有効にする（標準値）  
レガシーサポートを行います。フロッピーディスクから起動する場合は、こちらに設定します。
- 無効にする  
レガシーサポートを行いません。

### ■ [LAN] タブ

LAN 機能に関する設定を行います。

#### 【LANのウェイクアップ】

LANのウェイクアップ機能とは、ネットワークで接続された管理者のパソコンからの呼び出しにより、自動的に電源を入れる機能です。LANのウェイクアップ機能を使用する場合は、必ずACアダプタを接続してください。

- 使用する
- 使用しない（標準値）

#### 【内蔵 LAN】

内蔵LANを使用するかどうかを設定します。

- 使用する（標準値）
- 使用しない

## 詳しい操作方法を知りたいとき（ヘルプの起動）

---

- 1 [東芝HWセットアップ] を起動後、画面右上の **?** をクリックする  
ポインタが  **?** に変わります。
- 2 画面上の知りたい項目にポインタを置き、クリックする

# 2

## セットアッププログラム

セットアッププログラムとは、パソコンのシステム構成をパソコン本体から設定するプログラムのことです。BIOSバイオスと呼ばれる場合もあります。

### セットアッププログラムをご使用になる前に

- 通常、システム構成の変更は Windows 上の「東芝 HW セットアップ」、「東芝省電力ユーティリティ」、システムの「デバイスマネージャ」などで行ってください。  
セットアッププログラムと Windows 上の設定が異なる場合、Windows 上の設定が優先されます。
- ご使用のシステムによっては、システム構成を変更しても、変更が反映されない場合があります。
- セットアッププログラムで設定した内容は、電源を切っても消えませんが、しかし、内蔵バッテリーが消耗した場合は標準設定値に戻ります。

## 1 起動

### 1 (Esc) キーを押しながら電源を入れる

「Password = 」と表示された場合は、ユーザパスワードが登録されています。ユーザパスワードを入力し、(Enter) キーを押してください。

 ユーザパスワードについて ⇨ 「本章 3 パスワードセキュリティ」

「Check system. Then press [F1] key.」と表示されます。

### 2 (F1) キーを押す

セットアッププログラムが起動します。

## 2 終了

### 終了方法

---

変更した内容を有効にして終了します。

**1** **(Fn) + (→)**キーを押す

本製品では、**(Fn) + (→)**が**(End)**キーの機能を持ちます。  
画面にメッセージが表示されます。

**2** **(Y)**キーを押す

設定内容が有効になり、セットアッププログラムが終了します。  
変更した項目によっては、再起動されます。

### 途中で終了する方法

---

設定内容がよくわからなくなったり、途中で設定を中止する場合には行います。この場合は変更した内容はすべて無効になります。設定値は変更前の状態のままです。

**1** **(Esc)**キーを押す

画面にメッセージが表示されます。

**2** **(Y)**キーを押す

セットアッププログラムが終了します。

### 3 セットアッププログラムの画面

セットアッププログラムには次の2つの画面があります。

SYSTEM SETUP (1/2) ACPI BIOS version = X. XX

<p>① <b>MEMORY</b> Total = XXXXXXKB</p> <p>② <b>PASSWORD</b> Not Registered</p> <p>③ <b>BATTERY</b> Battery Save Mode = Full Power</p> <p>④ <b>PERIPHERAL</b> Internal Pointing Device = Enabled Hard Disk Mode = Enhanced IDE(Normal)</p> <p>⑤ <b>DISPLAY</b> Power On Display = Auto-Selected LCD Display Stretch = Disabled</p>	<p><b>OTHERS</b> Power-up Mode = Boot CPU Cache = Enabled Level 2 Cache = Enabled Dynamic CPU Frequency Mode = Dynamically Switchable Auto Power On = Disabled</p> <p>⑥</p> <p><b>BOOT PRIORITY</b> Boot Priority = HDD-FDD-CD-ROM-LAN Network Boot Protocol = PXE</p> <p>⑦</p>
--	---

↑↓←→: Select items    **Space,BkSp** : Change values    **PgDn,PgUp** : Change pages  
**Esc** : Exit without saving    **Home** : Set default values    **End** : Save changes and Exit

(注) 画面は標準設定値の表示例です。

SYSTEM SETUP (2/2) ACPI BIOS version = X. XX

<p>⑧ <b>CONFIGURATION</b> Device Config. = Setup by OS</p> <p>⑨ <b>PCI BUS</b> PCI BUS = IRQ11</p> <p>⑩ <b>LEGACY EMULATION</b> USB KB/Mouse Legacy Emulation = Enabled USB-FDD Legacy Emulation = Enabled</p>	<p><b>PC CARD</b> Controller Mode = Auto-Selected</p> <p>⑪</p> <p><b>DRIVES I/O</b> Built-in HDD = Primary IDE(1F0H/IRQ14)</p> <p>⑫</p> <p><b>PCI LAN</b> Built-in LAN = Enabled</p> <p>⑬</p>
--	---

↑↓←→: Select items    **Space,BkSp** : Change values    **PgDn,PgUp** : Change pages  
**Esc** : Exit without saving    **Home** : Set default values    **End** : Save changes and Exit

(注) 画面は標準設定値の表示例です。

設定項目の詳細について → 「本節 4 設定項目」

基本操作は次のとおりです。

### ■ 変更したい項目を選択する

(↑)、(↓)、(←)、(→)キーを押す

項目が移動します。

画面中で反転している部分が現在変更できる項目です。

### ■ 項目の内容を変更する

(Space)または(BackSpace)キーを押す

項目の内容が変わります。

### ■ 画面を切り替える

(Fn) + (↓)または(Fn) + (↑)キーを押す

本製品では、(Fn) + (↓)が(PgDn)、(Fn) + (↑)が(PgUp)キーの機能を持ちます。

次の画面または前の画面に切り替わります。

### ■ 設定内容を標準値にする

(Fn) + (←)キーを押す

本製品では、(Fn) + (←)が(Home)キーの機能を持ちます。

次の項目以外は、設定が標準設定になります。

- PASSWORD
- Hard Disk Mode
- Write Policy

## 4 設定項目

カーソルが移動しない項目は、変更できません（参照のみ）。  
ここでは、標準設定値を「標準値」と記述します。

### ① MEMORY—メモリ容量を表示する

---

#### 【Total】

本体に取り付けられているメモリの総メモリ容量が表示されます。

### ② PASSWORD—パスワードの登録／削除をする

---

 ユーザパスワードの登録／削除の方法 ⇨ 「本章 3-1 ユーザパスワード」

#### 【Not Registered】

パスワードが設定されていないときに表示されます（標準値）。

#### 【Registered】

パスワードが設定されているときに表示されます。

### ③ BATTERY—バッテリーで長く使用するための設定をする

---

#### 【Battery Save Mode】

バッテリーセーブモードを設定します。

「BATTERY SAVE OPTIONS」ウィンドウが開きます。

「User Setting」を選択した場合のみ、設定の変更ができます。

-  ● Windows を使用している場合は「東芝省電力ユーティリティ」の設定が有効になり、「Battery Save Mode」の設定は無効になります。
- 「BATTERY SAVE OPTIONS」ウィンドウを閉じるには、  キーを押して選択項目を「Cooling Method」の外に移動します。

「BATTERY SAVE OPTIONS」ウィンドウの設定項目は次のように表示されます。

●Full Power (標準値)	●Low Power	●User Setting (設定例)
Processing Speed = High CPU Sleep Mode = Enabled Display Auto Off = 30Min. HDD Auto Off = 30Min. LCD Brightness = Bright*1 Super-Bright*2 Cooling Method = Maximum Performance	Processing Speed = Low CPU Sleep Mode = Enabled Display Auto Off = 03Min. HDD Auto Off = 03Min. LCD Brightness = Semi-Bright*1 Bright*2 Cooling Method = Battery Optimized	Processing Speed = Low CPU Sleep Mode = Enabled Display Auto Off = 03Min. HDD Auto Off = 03Min. LCD Brightness = Semi-Bright Cooling Method = Battery Optimized

(注) LCD Brightness (LCD 輝度) の表示は次の状態で変わります。

\* 1 バッテリ駆動時

\* 2 ACアダプタ使用時

次に「BATTERY SAVE OPTIONS」ウィンドウの項目について説明します。

### ● Processing Speed

処理速度を設定します。

使用するアプリケーションソフトによっては設定を変更する必要があります。

- ・ High ..... 処理速度を高速に設定する
- ・ Low ..... 処理速度を低速に設定する

### ● CPU Sleep Mode

CPU が処理待ち状態のとき、電力消費を低減します。

一部のアプリケーションソフトでは「Enabled」に設定すると処理速度が遅くなることがあります。その場合は「Disabled」に設定してください。

- ・ Enabled ..... 電力消費を低減する
- ・ Disabled ..... 電力消費を低減しない

### ● Display Auto Off (表示自動停止時間)

時間を設定すると、設定した時間以上キーを押さない場合 (マウスやタッチパッドの操作も含む) にディスプレイを消灯して節電します。画面に表示されている内容が見えなくなりますが、これは故障ではありません。画面に表示するには、(Shift)キーを押すか、マウス、タッチパッドを操作してください。

- ・ Disabled ..... 自動停止機能を使用しない

自動停止時間の設定は「01Min.」～「30Min.」から選択します。

● **HDD Auto Off (HDD 自動停止時間)**

設定した時間以上ハードディスクの読み書きをしない場合に、ハードディスクの回転を止めて節電します。

自動停止時間の設定は「01Min.」～「30Min.」から選択します。ハードディスクドライブを保護するため、「Disabled」は設定できません。

● **LCD Brightness (LCD 輝度)**

画面の明るさを選択します。

- ・ Semi-Bright ..... 低輝度に設定する
- ・ Bright ..... 高輝度に設定する
- ・ Super-Bright ..... 最高輝度に設定する

● **Cooling Method (CPU 熱制御方式)**

CPU の熱を冷ます方式を選択します。

CPU が高熱を帯びると故障の原因になります。

- ・ Maximum Performance ... CPU 温度が上昇したときに、本体内にあるファンを高速回転させて CPU に風を送り、冷やします。
- ・ Performance ..... CPU が高温になったときに、本体内にあるファンが作動し CPU に風を送り、冷やします。
- ・ Battery Optimized ..... CPU が高温になったときに、CPU の処理速度を「Low」にして温度を下げます。「Low」にしても、温度が上がる場合はファンを作動させます。



- CPU が高熱を帯びると故障の原因になります。高熱状態が続く場合は、自動的にレジューム機能を効かせた状態で電源を切り、パソコンを故障から守ります。

## ④ PERIPHERAL—HDD や外部装置の設定をする

---

### 【Internal Pointing Device】

タッチパッドからの入力を使用するかどうかを設定します。

- ・ Enabled (標準値) ..... 使用する
- ・ Disabled ..... 使用しない

### 【Hard Disk Mode】

ハードディスクのモードを設定します。

項目を変更する場合は、パーティションの再設定を行ってください。

- ・ Enhanced IDE (Normal) (標準値)  
..... 通常はこちらを選択する
- ・ Standard IDE ..... Enhanced IDE に対応していない OS を使用する場合に選択する  
この場合、528MB までが使用可能となり、残りの容量は使用できません。

## ⑤ DISPLAY—表示装置の設定をする

### 【Power On Display】

表示装置を選択します。

- ・ Auto-Selected (標準値) ... システム起動時に外部 CRT ディスプレイを接続しているときは外部 CRT ディスプレイだけに、接続していないときは本体のディスプレイだけに表示する
- ・ Simultaneous ..... 外部 CRT ディスプレイと本体のディスプレイに同時表示する



- SVGA モードに対応していない外部 CRT ディスプレイを接続して、「Simultaneous」を選択した場合、外部 CRT ディスプレイには画面が表示されません。

### 【LCD Display Stretch】

内部ディスプレイの表示機能を選択します。

- ・ Enabled ..... 解像度の小さい表示モードを伸張して表示する
- ・ Disabled (標準値) ..... 解像度の小さい表示モードは伸張せずにそのまま表示する

## ⑥ OTHERS—その他の設定をする

---

### 【Power-up Mode (レジューム機能)】

レジューム機能を設定します。

- ・ Boot (標準値) ..... レジューム機能を無効にする
- ・ Resume ..... レジューム機能を有効にする  
「Resume」を選択すると、  
[OTHERS] の1番最後に「Panel  
Power On/Off」が表示されます。

### 【CPU Cache (キャッシュ)】

CPU内のキャッシュメモリを使用するかどうかの設定をします。  
使用するアプリケーションソフトによっては設定を変更する必要があります。

- ・ Enabled (標準値) ..... キャッシュメモリを使用する
- ・ Disabled ..... キャッシュメモリを使用しない

「Enabled」を選択すると「OPTION」ウィンドウが開きます。

次に「OPTION」ウィンドウの項目について説明します。

#### ● Write Policy

キャッシュメモリへの書き込み方式を設定します。

- ・ Write-back (標準値) ..... 書き込み方式を「Write-back」に設定する  
キャッシュメモリにデータを書き込み、  
キャッシュメモリの状態に応じてメインメモリに書き込みます。
- ・ Write-through ..... 書き込み方式を「Write-through」に設定する  
キャッシュメモリとメインメモリに、  
同時にデータを書き込みます。

### 【Level 2 Cache】

2次キャッシュを使用するかどうかの設定をします。  
「CPU Cache」が「Disabled」に設定されている場合は変更できません。

- ・ Enabled (標準値) ..... 2次キャッシュを使用する
- ・ Disabled ..... 2次キャッシュを使用しない

### 【Dynamic CPU Frequency Mode】

- ・ Dynamically Switchable (標準値)  
..... CPUの消費電力・周波数自動切り替え機能を有効にし、使用状況に応じてCPU周波数を自動的に切り替えます。
- ・ Always High ..... CPUの消費電力・周波数自動切り替え機能を無効にし、常時、高周波数で動作します。
- ・ Always Low ..... CPUの消費電力・周波数自動切り替え機能を無効にし、常時、低消費電力・低周波数で動作します。

### 【Auto Power On (タイマ・オン機能)】

タイマ・オン機能の設定状態を示します。タイマ・オン機能は1回のみ有効です。起動後は設定が解除されます。

- ・ Disabled (標準値) ..... タイマ・オン機能、Wake-up on LAN機能とも設定されていない
- ・ Enabled ..... タイマ・オン機能、Wake-up on LAN機能が設定されている

タイマ・オン機能、Wake-up on LAN機能の設定は「OPTIONS」ウィンドウで行います。

次に「OPTIONS」ウィンドウの項目について説明します。

アラームの時刻の設定は(Space)または(BackSpace)キーで行います。時と分、月と日の切り替えは(↑)(↓)キーで行います。

#### ● Alarm Time

自動的に電源を入れる時間を設定します。

- ・ Disabled ..... 時間を設定しない

#### ● Alarm Date Option

自動的に電源を入れる月日を設定します。

「Alarm Time」が「Disabled」の場合は、設定できません。

- ・ Disabled ..... 月日を設定しない

#### ● Ring Indicator

電話回線からの呼び出し信号により、自動的に電源を入れます。

「Power-up Mode」が「Resume」の場合に設定できます。

また、この機能はPCカードタイプのモデムで使用できます。

- ・ Enabled ..... リングインジケータ機能を使用する
- ・ Disabled ..... リングインジケータ機能を使用しない

## ● Wake-up on LAN

ネットワークで接続された管理者のパソコンからの呼び出しにより、自動的に電源を入れます。

⑬ PCI LAN の「Built-in LAN」が「Enabled」の場合に設定できません。

Wake-up on LAN 機能を使用する場合は、必ず AC アダプタを接続してください。

- ・ Enabled ..... Wake-up on LAN 機能を使用する
- ・ Disabled ..... Wake-up on LAN 機能を使用しない

## 【Panel Power On/Off (パネルスイッチ機能)】

ディスプレイの開閉による電源の入/切を設定します。

「Power-up Mode」が「Resume」の場合に表示されます。

- ・ Enabled ..... パネルスイッチ機能を使用する
- ・ Disabled (標準値) ..... パネルスイッチ機能を使用しない

## ⑦ BOOT PRIORITY—ブート優先順位を設定する

---

### 【Boot Priority】

システムを起動するディスクドライブの順番を設定します。

通常は「HDD → FDD → CD-ROM → LAN」に設定してください。

- ・ HDD → FDD → CD-ROM → LAN (標準値)
  - ・ FDD → HDD → CD-ROM → LAN
  - ・ HDD → CD-ROM → LAN → FDD
  - ・ FDD → CD-ROM → LAN → HDD
  - ・ CD-ROM → LAN → HDD → FDD
  - ・ CD-ROM → LAN → FDD → HDD
- 指定のドライブ順に起動する

### 【Network Boot Protocol】

ネットワークからの起動について設定します。

- ・ PXE (標準値) ..... PXE プロトコルに設定する
- ・ RPL ..... RPL プロトコルに設定する

## ⑧ CONFIGURATION

---

### 【Device Config.】

ブート時に BIOS が初期化するデバイスを指定します。

- ・ Setup by OS (標準値) ... OS をロードするのに必要なデバイのみ初期化する  
それ以外のデバイスは OS が初期化し  
ます。  
この場合、「PC CARD」内の設定は、  
「Auto-Selected」固定となり、変更  
できません。
- ・ All Devices ..... すべてのデバイスを初期化する

プレインストールされている OS を使用する場合は、「Setup by OS」(標準値) を選択することを推奨します。ただし「PC CARD」内の Controller Mode の設定を「Auto-Selected」以外に設定する場合は「All Devices」に設定してください。

 「PC CARD」について

⇒ 「本項 ⑩ PC CARD - PC カードのモードを選択する」

## ⑨ PCI BUS— PCI バスの割り込みレベルを表示する

---

### 【PCI BUS】

PCI バスの割り込みレベルを表示します。変更はできません。

## ⑩ LEGACY EMULATION— USB 対応機器の設定をする

---

### 【USB KB/Mouse Legacy Emulation】

USB キーボードやマウスのレガシーサポートを行うかどうかを設定します。

- ・ Enabled (標準値) ..... レガシーサポートを行う  
ドライバなしで USB キーボード/  
USB マウスが使用できます。
- ・ Disabled ..... レガシーサポートを行わない

## 【USB-FDD Legacy Emulation】

USB フロッピーディスクドライブのレガシーサポートを行うかどうかを設定します。

- ・ Enabled (標準値)..... レガシーサポートを行う  
ドライバなしで USB フロッピーディスクドライブが使用できます。  
フロッピーディスクから起動する場合は、こちらに設定します。
- ・ Disabled ..... レガシーサポートを行わない



- [USB-FDD Legacy Emulation] が [Enabled] に設定されていても、⑦ BOOT PRIORITY の [Boot Priority] が標準値の「HDD → FDD → CD-ROM → LAN」の場合は、標準ハードディスクから起動します。

## ⑪ PC CARD—PC カードのモードを選択する

---

### 【Controller Mode】

PC カードのモードを選択します。

「Device Config.」が「All Devices」の場合に変更できます。

- ・ Auto-Selected (標準値) ... プラグアンドプレイに対応した OS を使用している場合、選択します。
- ・ CardBus/16-bit ..... Auto-Selected で正常に動作しない CardBus または 16-bit 対応の PC カードを使用する場合に選択します。

## ⑫ DRIVES I/O—HDD やスリムセレクトベイの設定

---

### 【Built-in HDD】

標準ハードディスクのアドレス、割り込みレベルの設定を表示します。  
変更はできません。

## ⑬ PCI LAN

---

### 【Built-in LAN】

内蔵 LAN の機能を有効にするかどうかの設定をします。

- ・ Enabled (標準値) ..... 有効にする
- ・ Disabled ..... 無効にする

# 3

## パスワードセキュリティ

本製品では、パスワードを設定できます。

### ● Windows のログオンパスワード

Windows にログオンするとき

インスタントセキュリティ状態やパスワード保護の設定をしたスクリーンセーバを解除するとき



参照 インスタントセキュリティ機能

⇒ 「3章 4-1- (Fn)キーを使った特殊機能キー」

### ● ユーザパスワード、スーパーバイザパスワード

電源を入れたとき、スタンバイ状態、休止状態から復帰するとき

本節では、ユーザパスワードの設定方法、キーフロッピーディスク\*1の作成方法、スーパーバイザパスワードプログラムについて説明します。

\*1 ユーザパスワードを忘れてしまった場合に使用します。

通常はユーザパスワードを登録してください。



参照 ユーザパスワード ⇒ 「本節 1 ユーザパスワード」

スーパーバイザパスワードは、パソコン本体の環境設定を管理する人が使用します。スーパーバイザパスワードを登録すると、スーパーバイザパスワードを知らないユーザは、セットアッププログラムの設定を変更できないようにする、などいくつかの制限を加えることができます。

この制限を加える必要がなければ、ユーザパスワードだけ登録してください。



参照 スーパーバイザパスワード ⇒ 「本節 2 スーパーバイザパスワード」



● パスワードは、スーパーバイザパスワードとユーザパスワードでは、違うものを使用してください。

## パスワードとして使用できる文字

パスワードに使用できる文字は次のとおりです。

パスワードは「\*\*\*\* (アスタリスク)」または「●●●●」で表示されますので画面で確認できません。

よく確認してから入力してください。

使用できる文字	アルファベット (半角)	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
	数字 (半角)	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号 (単独のキーで入力できる文字の一部)	- ^ @ [ ] ; : , . / (スペース)
使用できない文字	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全角文字 (2バイト文字)</li> <li>・ 日本語入力システムの起動が必要な文字</li> </ul> <b>【例】</b> 漢字、カタカナ、ひらがな、日本語入力システムが供給する記号 など	

ユーザパスワードはアルファベットの大文字、小文字を区別しませんが、Windows ログオンパスワードでは大文字と小文字は別の文字として認識されます。

次の文字は Windows ログオンパスワードでは使用できますが、ユーザパスワード、スーパーバイザパスワードでは使用できません。

- ・ 単独のキーで入力できない (入力するときに(Shift)キーなどを使用する) 文字

**【例】** | (バーチカルライン)、& (アンド)、~ (チルダ) など

- ・ ¥ (エン)

 キーや  キーを押すと¥が入力されます。

# 1 ユーザパスワード

ユーザパスワードの登録 / 削除は、通常「東芝 HW セットアップ」で行ってください。

キーフロッピーディスクを作成したい場合は、「セットアッププログラム」で登録してください。

パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。

## ユーザパスワードの登録

---

### ■ 東芝 HW セットアップでの登録

#### 1 XP

[スタート] → [コントロールパネル] をクリック → [プリンタとその他のハードウェア] をクリック → [東芝 HW セットアップ] をクリックする

#### 2000

[スタート] → [設定] → [コントロールパネル] をクリック → [東芝 HW セットアップ] をダブルクリックする

#### 2 [パスワード] タブで [ユーザパスワード] の [登録] をチェックする

パスワードが登録されている場合は、削除してからもう 1 度登録してください。

 参照  パスワードの削除 ⇨ 「本項 ユーザパスワードの削除」

#### 3 [パスワードの入力] にパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックする

#### 4 [パスワードの確認] 画面の [パスワードの確認] に同じパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックする

#### 5 表示されるメッセージを確認し、[OK] ボタンをクリックする

## ■ セットアッププログラムでの登録

キーフロッピーディスクを作成する場合は、フォーマット済みの2DDまたは2HD（1.44MB）フロッピーディスクと、USB フロッピーディスクドライブ（別売り）が必要です。あらかじめご用意ください。

-  ● キーフロッピーディスクを作成すると、そのフロッピーディスクに保存されていた内容はすべて消去されます。フロッピーディスクの内容をよくご確認のうえ、ご使用ください。

### 1 セットアッププログラムを起動する

### 2 カーソルバーを「PASSWORD」の「Not Registered」に合わせ、(Space)または(BackSpace)キーを押す

パスワード入力画面が表示されます。

パスワードが登録されている場合は、「PASSWORD」に「Registered」と表示されます。その場合は、パスワードを削除してから、登録してください。

 パスワードの削除方法 ⇨ 「本項 ユーザパスワードの削除」

### 3 パスワードを入力する

パスワードは10文字以内で入力します。入力すると1文字ごとに\*が表示されます。

 入力できる文字 ⇨ 「本節 パスワードとして使用できる文字」

### 4 (Enter)キーを押す

1回目のパスワードが確認され、パスワードの再入力画面が表示されます。

### 5 2回目のパスワードを入力する

パスワードは手順3と同じパスワードを入力してください。入力すると1文字ごとに\*が表示されます。

### 6 (Enter)キーを押す

パスワードが登録されます。2回目のパスワードが1回目のパスワードと異なる場合は、再度パスワードの入力画面が表示されます。手順3からやり直してください。

## 7 パスワードの設定が終了したら、(Fn) + (→) キーを押す

本製品では、(Fn) + (→) が (End) キーの機能を持ちます。

次のようなメッセージが表示されます。

Are you sure ? (Y/N)  
The changes you made will cause the system to reboot.  
Insert password service disk if necessary.

## 8 キーフロッピーディスクを作成する場合は、フロッピーディスクをセットして (Y) キーを押す

作成しないでそのまま終了する場合はフロッピーディスクをセットせずに (Y) キーを押します。

セットアッププログラムの画面に戻るには (N) キーを押します。

手順 9 は キーフロッピーディスクを作成する場合の手順です。

## 9 キーフロッピーディスクを作成する



キーフロッピーディスクの使いかた

▷ 「本節 3- ユーザパスワードを忘れてしまった場合」

次のメッセージが表示されます。

Password Service Disk Type ? (1:2HD,2:2DD)

- ① セットされているフロッピーディスクが 2HD の場合は ① キーを、2DD の場合は ② キーを押す  
フロッピーディスクへの書き込みを開始します (フロッピーディスクがセットされていない場合は、そのまま終了します)。  
フロッピーディスクへの書き込みが終了すると、次のメッセージが表示されます。

Remove the password service disk, then press any key.

- ② フロッピーディスクを取り出し、何かキーを押して終了する

# ユーザパスワードの削除

## ■ 東芝HW セットアップでの削除

### 1 XP

[スタート] → [コントロールパネル] をクリック → [プリンタとその他のハードウェア] をクリック → [東芝HW セットアップ] をクリックする

### 2000

[スタート] → [設定] → [コントロールパネル] をクリック → [東芝HW セットアップ] をダブルクリックする

2 [パスワード] タブで [ユーザパスワード] の [未登録] をチェックする

3 [ユーザパスワード] 画面の [パスワードの入力] にパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックする

4 表示されるメッセージを確認し、[OK] ボタンをクリックする

-  ● パスワードの入力エラーが3回続いた場合は、パスワード削除の操作ができなくなります。  
この場合は、パソコン本体の電源を入れ直し、もう1度設定を行ってください。

## ■ セットアッププログラムでの削除

1 セットアッププログラムを起動する

2 カーソルバーを「PASSWORD」の「Registered」に合わせ、(Space)または(BackSpace)キーを押す  
パスワード入力画面が表示されます。

3 登録してあるパスワードを入力する  
入力すると1文字ごとに\*が表示されます。

#### 4 (Enter)キーを押す

パスワードが削除されます。

入力したパスワードが登録したパスワードと異なる場合は、ビープ音が鳴りエラーメッセージが表示された後、パスワードの入力画面が表示されます。手順3からやり直してください。

-  ● 入力エラーが3回続いた場合は、以後パスワードの項目にカーソルが移動できなくなります。この場合は、パソコン本体の電源を入れ直し、再度設定を行ってください。

## 2 スーパーバイザパスワード

「スーパーバイザパスワード設定ツール」で、Windows 上からスーパーバイザパスワードの設定や設定の変更ができます。

-  ● パスワードは、スーパーバイザパスワードとユーザパスワードでは、違うものを使用してください。

### ■ 起動方法

- 1 [スタート] → [ファイル名を指定して実行] をクリックする
- 2 [C:¥Program Files¥Toshiba¥Windows Utilities¥SVPWTool¥SVPW32.exe] と入力する
- 3 [OK] ボタンをクリックする  
詳しくは、「README.HTM」をご覧ください。

### ■ 「README.HTM」の起動方法

- 1 [スタート] → [ファイル名を指定して実行] をクリックする
- 2 [C:¥Program Files¥Toshiba¥Windows Utilities¥SVPWTool¥README.HTM] と入力する
- 3 [OK] ボタンをクリックする

## 3 パスワードの入力

ユーザパスワードが設定されている場合、電源を入れると、画面に「Password=」と表示されます。

この場合は、次の手順で起動します。

- 1 設定したとおりにパスワードを入力し、(Enter)キーを押す  
パスワードは大文字、小文字を区別しません。



- パスワードの入力ミスを3回繰り返した場合は、自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください。

### ■ ユーザパスワードを忘れてしまった場合

キーフロッピーディスクを使用して、登録したパスワードの解除と再設定ができます。また、再設定したパスワードのキーフロッピーディスクも作成できます。

キーフロッピーディスクを作成していなかったときにパスワードを忘れてしまった場合は、お近くの保守サービスにご相談ください。パスワードの解除を保守サービスにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

- 1 「Password=」と表示されたら、キーフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットして、(Enter)キーを押す

パスワードが解除され、次のメッセージが表示されます。

Set Password Again ? (Y/N)

- 2 パスワードを再設定する場合は、(Y)キーを押す

セットアップ画面が表示されます。「本節 1-セットアッププログラムでの登録」の手順2以降を行ってください。再設定後、システムが再起動します。

パスワードを再設定しない場合は、(N)キーを押す

次のメッセージが表示されます。

Remove the Disk, then press any key.

フロッピーディスクを取り出し、何かキーを押すと、システムが再起動します。

## ■ 起動時にユーザパスワードを入力した場合

スタンバイ状態、休止状態を実行して電源を切った場合、再びパソコン本体を起動するには、ユーザパスワードまたはスーパーバイザパスワードを入力してください。

-  ● スーパーバイザパスワードで、ユーザパスワードからの起動による制限事項を設定している場合、ユーザパスワードで起動すると制限を受けます。

## ■ 起動時にスーパーバイザパスワードを入力した場合

スタンバイ状態を実行して電源を切った場合、再びパソコン本体を起動するには、スーパーバイザパスワードを入力してください。ユーザパスワードの入力は受け付けません。

休止状態を実行して電源を切った場合、再びパソコン本体を起動するには、ユーザパスワードまたはスーパーバイザパスワードを入力してください。

-  ● スーパーバイザパスワードで、ユーザパスワードからの起動による制限事項を設定している場合、ユーザパスワードで起動すると制限を受けます。

# 6章 困ったときは

1 困ったときは .....	144
----------------	-----

# 1

## 困ったときは

パソコンがうまく操作できないとき、動作がおかしいと感じたときには次の順番で解消へのアプローチをたどってください。

パソコンの状態を確認してください。

- 電源は入りますか？
- 画面は表示されますか？
- タッチパッド、キーボードは操作できますか？

はい

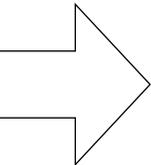
**オンラインマニュアルで調べてください。**

パソコンの画面上で本製品の使いかたやトラブルの解消方法を見ることができます。  
また、語句（キーワード）を入力して検索できます。

いいえ

**本書の「本章 Q&A集」で調べてください。**

パソコンについてよく問い合わせのあるトラブルの解消方法を、「電源を入れるとき／切るとき」などの操作場面ごとにQ&A形式で説明しています。



**「dynabook.com」**  
で調べてください。  
インターネットに接続して「dynabook.com」のホームページで調べてください。  
本製品の最新情報や、「よくあるご質問 (FAQ)」、技術情報などが掲載されています。

アプリケーションの  
トラブル

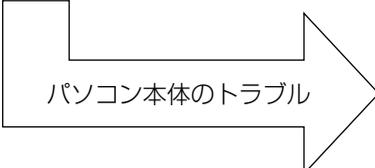


**各アプリケーション**  
のサポート窓口にお問い合わせください。  
「8章 5 アプリケーションのお問い合わせ先」を確認してください。

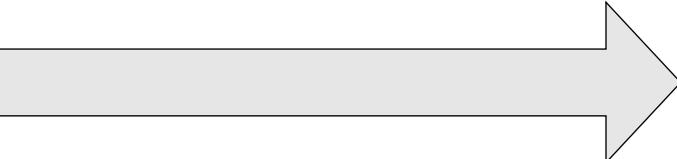
周辺機器の  
トラブル



**各周辺機器のサポート**  
窓口にお問い合わせください。  
『周辺機器に付属の説明書』を確認してください。



パソコン本体のトラブル



**「東芝PCダイヤル」**  
にお問い合わせください。  
巻末の「トラブルチェックシート」で必要事項を確認してから、電話で問い合わせてください。

## サポート情報について

URL [http://dynabook.com/assistpc/index\\_j.htm](http://dynabook.com/assistpc/index_j.htm)

「dynabook.com」のトップページ (<http://dynabook.com/>) から  
は、[サポート情報] タブをクリックすると表示されます。

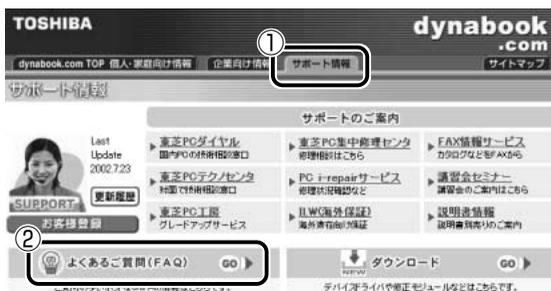


「よくあるご質問 (FAQ)」や、デバイスドライバや修正モジュールなどのダウンロード、Windows 関連情報を提供しています。  
また、インターネットでのお客様登録を行うことができます。  
サポート窓口や修理についても案内しています。

## パソコンの操作に困ったら「よくあるご質問 (FAQ)」

URL [http://dynabook.com/assistpc/faq/index\\_j.htm](http://dynabook.com/assistpc/faq/index_j.htm)

「dynabook.com」のトップページ (<http://dynabook.com/>) から  
は、[サポート情報] タブをクリックし①、[よくあるご質問] ボタン  
をクリックする②と表示されます。



日頃、よく寄せられる質問について、サポートスタッフが、図や解説をまじえて解決方法を掲載しています。

キーワードまたは普通の文章を入力して検索できます。



「dynabook.com」は、最新情報を掲載するため、内容を変更することがあります。

## 1 Q&A集を見る前に

設定の確認によく使う、[コントロールパネル] の開きかたを説明します。

### ■ Windows XPの場合

1 [スタート] → [コントロールパネル] をクリックする

### ■ Windows 2000の場合

1 [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] をクリックする  
または、  
デスクトップの [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリック → [コントロールパネル] アイコンをダブルクリックする

## 2 Q&A集

### 電源を入れるとき／切るとき

- Q 電源スイッチを押しても反応しない ..... 152
- Q 1度電源が入りかけるがすぐに切れる  
電源が入らない ..... 152
- Q 自動的に電源が入ってしまう ..... 153
- Q [終了オプション] から電源が切れない (  ) ..... 154
- Q 使用中に突然電源が切れてしまった ..... 154
- Q しばらく操作しないとき、電源が切れる ..... 154
- Q 間違って電源を切ってしまった ..... 155
- Q Windows の起動と同時にプログラムが実行される ..... 156
- Q パソコンが休止状態にならない ..... 157
- Q 休止状態を設定できない ..... 158

### 画面／表示

- Q 画面に何も表示されない ..... 159
- Q 画面が見にくい ..... 160
- Q 画面が暗い ..... 160
- Q 画面の色がはっきりしない ..... 161
- Q CRT ディスプレイで画面の色がにじんだように表示される ..... 161

### Windows

- Q 内蔵時計が合っていない ..... 162
- Q パソコンの処理速度が遅くなった ..... 163

### バッテリー駆動で使用するとき

- Q Battery LED が点滅した ..... 164
- Q 充電したはずのバッテリーパックを使用しても  
Battery LED がオレンジ色に点滅する ..... 164
- Q バッテリー駆動でしばらく操作しないとき、電源が切れる ..... 165

## キーボード

- Q キーを押しても希望の文字が入力できない ..... 166
- Q キーボードから文字を入力しているときに  
カーソルがとんでしまう ..... 166
- Q 「\」(バックスラッシュ)が入力できない ..... 167
- Q ひらがなや漢字の入力ができない ..... 167
- Q キーボードで入力モードを切り替えたい ..... 167
- Q キーに印刷された文字と違う文字が入力されてしまう ... 167
- Q どのキーを押しても反応しない  
設定は合っているが、希望の文字が入力できない ..... 169
- Q キーボードに飲み物をこぼしてしまった ..... 169

## タッチ패드／マウス

- Q タッチ패드やマウスを動かしても  
画面のポインタが動かない(反応しない) ..... 170
- Q ダブルクリックがうまくできない ..... 170
- Q ポインタの動きが遅い／速い ..... 171
- Q USB マウスが使えない ..... 171

## サウンド機能

- Q スピーカから音が聞こえない ..... 172
- Q 甲高い音がる ..... 173
- Q サウンド再生時に音飛びが発生する ..... 173

## LAN 機能

- Q ネットワークに接続できない ..... 174

## 周辺機器

- Q 周辺機器を取り付けているときの電源を入れる順番は? .... 176
- Q 周辺機器を取り付けたが正しく動かない ..... 176

## PC カード

- Q PC カードが認識されない ..... 178
- Q PC カードの挿入は認識されるが  
デバイスとして認識されない ..... 178
- Q PC カードは認識されるが使用できない ..... 179

## SD メモリカード

- Q SD メモリカードが使えない ..... 180
- Q SD メモリカードに書き込み (データの保存) ができない .. 180
- Q 「READ ERROR」「DATA ERROR」「CODE ERROR」  
と表示された ..... 180

## コンパクトフラッシュカード

- Q コンパクトフラッシュカードが認識されない ..... 181

## USB 対応機器

- Q USB 対応機器が使えない ..... 182
- Q 休止状態から復帰後、USB 対応機器が正常に動作しない ... 182

## 赤外線通信

- Q 赤外線通信ができない ..... 183
- Q データが正しく送られない ..... 183
- Q 赤外線通信ソフトが使えない ..... 183

## アプリケーション

- Q アプリケーションが使えない ..... 184
- Q アプリケーションが操作できなくなった ..... 184
- Q 購入時に入っていたアプリケーションを  
誤って削除してしまった ..... 184

## メッセージ

- Q 「Password=」と表示された ..... 186
- Q 「パスワードを忘れてしまいましたか？」  
「パスワードが誤っています」と表示された ..... 186
- Q 使用中突然「このプログラムは不正な処理を行ったので…」  
と表示された ..... 186
- Q 次のようなメッセージが表示された ..... 187
- Q 「Bad ×××× ××××」と表示された ..... 187
- Q C:¥Windows>\_ または C:¥>\_ と表示された ..... 188
- Q その他のメッセージが表示された ..... 188

## その他

- Q セーフモードで起動した ..... 189
- Q Disk LEDが点滅し、パソコン本体から音がする ..... 189
- Q パソコンの近くにあるテレビやラジオの調子がおかしい ..... 190
- Q パソコンが応答しない ..... 190
- Q コンピュータウイルスに感染した可能性がある ..... 191
- Q 異常な臭いや過熱に気づいた！ ..... 191
- Q 操作できない原因がどうしてもわからない ..... 191
- Q パソコンを廃棄したい ..... 191

## 電源を入れるとき / 切るとき

### Q 電源スイッチを押しても反応しない

- A 電源スイッチを押す時間が短いと電源が入らないことがあります。  
Power  LEDが緑色に点灯するまで押し続けてください。

### Q 1度電源が入りかけるがすぐに切れる 電源が入らない

(Battery  LEDがオレンジ色に点滅している場合)

- A バッテリーの充電量が少ない可能性があります。  
次のいずれかの対処を行ってください。
- 本製品用のACアダプタを接続し、通電する  
他製品用のACアダプタは使用できません。
  - 充電済みのバッテリーパックを取り付ける

 バッテリーについて ⇨ 「4章 1 バッテリーについて」

(DC IN  LEDがオレンジ色に点滅している場合)

- A 電源の接続の接触が悪い可能性があります。  
バッテリーパックやACアダプタを接続し直してください。

 バッテリーパックの取り付け/取りはずし  
⇨ 「4章 1-3 バッテリーパックを交換する」

- A パソコン内部温度の上昇が一定以上に達すると、保護機能が働き、システムが自動停止します。  
次の対処を行ってください。
- パソコンを涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるのを待つ
  - 通風孔のまわりには物を置かない  
通風孔をふさぐと、パソコンの温度は非常に上昇しやすくなります。

以上の手順でも解決できない場合は、お近くの保守サービスにご連絡ください。

## Q 自動的に電源が入ってしまう

A Windows のタスクスケジューラで設定されている可能性があります。タスクスケジューラで [タスクの実行時にスリープを解除する] に設定されていると、スタンバイ中や休止状態のときは自動的に電源が入り、設定したタスクを実行します。

次の手順で設定を変更できます。

①  XP

[スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [システムツール] → [タスク] をクリックする

 2000

[スタート] → [プログラム] → [アクセサリ] → [システムツール] → [タスク] をクリックする

② 設定されているタスクをダブルクリックする

電源が入った時間などを参考に選択してください。

③ [設定] タブの [電源の管理] で [タスクの実行時にスリープを解除する] のチェックをはずす

④ [OK] ボタンをクリックする

A パネルスイッチ機能が設定されている可能性があります。

次の手順で、パネルスイッチ機能の設定を解除できます。

①  XP

[コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリック→ [東芝省電力] をクリックする

 2000

[コントロールパネル] を開き、[東芝省電力] をダブルクリックする

② [電源設定] タブで利用する省電力モードを選択して、[詳細] ボタンをクリックする

③ [動作] タブの [コンピュータを閉じたとき] で [何もしない] を選択する

④ [OK] ボタンをクリックする

⑤ [東芝省電力のプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

## Q 【終了オプション】から電源が切れない ( )

- A (Ctrl)+(Alt)+(Del)キーを押して、電源を切ってください。
- ① (Ctrl)+(Alt)+(Del)キーを押す  
[Windows タスクマネージャ] 画面が表示されます。
  - ② メニューバーの [シャットダウン] をクリックする  
タッチパッドやマウスで操作できない場合は、(Alt)+(U)キーを押してください。
  - ③ [コンピュータの電源を切る] をクリックする  
タッチパッドやマウスで操作できない場合は、(U)キーを押してください。  
プログラムを強制終了し、電源が切れます。
- A (Ctrl)+(Alt)+(Del)キーを押しても反応がない場合は、電源スイッチを5秒以上押してください。

## Q 使用中に突然電源が切れてしまった

- A パソコン内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。  
パソコン本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。  
また、通風孔をふさぐと、パソコンの温度は非常に上昇しやすくなります。通風孔のまわりには物を置かないでください。  
それでも電源が切れる場合は、お近くの保守サービスにご連絡ください。

## Q しばらく操作しないとき、電源が切れる

- A Power  LEDが点灯している場合、表示自動停止機能が働いた可能性があります。画面には何も表示されませんが実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。  
次の操作を行ってください。
- (Shift)キーや(Ctrl)キーを押す
  - タッチパッドを操作する

- A Power  LEDがオレンジ色に点滅しているか、消灯している場合、自動的にスタンバイまたは休止状態になった可能性があります。電源スイッチを押してください。

また、次の手順で設定を解除できます。

- ①  XP  
[コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリック→ [東芝省電力] をクリックする
-  2000  
[コントロールパネル] を開き、[東芝省電力] をダブルクリックする
- ② [電源設定] タブで利用する省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリックする
- ③ [省電力] タブで [システムスタンバイ] および [システム休止状態] の設定を [なし] にする
- ④ [OK] ボタンをクリックする
- ⑤ [東芝省電力のプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

 [参照](#) スタンバイ、休止状態について ⇨ [2章 3 パソコンの使用を中断する]

## 間違って電源を切ってしまった

- A パソコンが処理をしている最中 (Disk  LEDが点灯中) に電源が切れてしまうと、ハードディスクが故障する場合がありますので、正しい終了手順を守ってください。

正しい終了手順に従わずに強制終了した後、パソコンの動作に少しでも異常が起こった場合は、チェックディスク (ハードディスクの検査) を行ってください。チェックディスクの結果、ハードディスクに異常があれば、Windows が起動します。異常があった場合は、画面の指示に従って操作を行ってください。

 [参照](#) チェックディスクについて ⇨ [Windows のヘルプ]

## 🔍 Windows の起動と同時にプログラムが実行される

- A [スタートアップ] にプログラムが設定されている可能性があります。  
[スタートアップ] は、設定されているプログラムを Windows 起動時に自動的に実行します。  
アプリケーションをインストールすると、自動的に [スタートアップ] に登録される場合があります。  
次の手順でプログラムを削除できます。

### XP

- ① [スタート] ボタンを右クリックし、表示されたメニューから [開く] をクリックする
- ② [プログラム] アイコンをダブルクリックする
- ③ [スタートアップ] アイコンをダブルクリックする  
[スタートアップ] 画面が表示されます。
- ④ 削除したいプログラムのアイコンをクリックし、[ファイルとフォルダのタスク] の [このファイルを削除する] をクリックする  
[ファイルの削除の確認] 画面が表示されます。
- ⑤ [はい] ボタンをクリックする
- ⑥ [スタートアップ] 画面の [閉じる] ボタン (  ) をクリックする

### 2000

- ① [スタート] → [設定] → [タスクバーと [スタート] メニュー] をクリックする
- ② [詳細] タブで [削除] ボタンをクリックする  
[ショートカットやフォルダの削除] 画面が表示されます。
- ③ [スタートアップ] をダブルクリックする
- ④ 削除したいプログラムのアイコンをクリックし、[削除] ボタンをクリックする  
確認メッセージが表示されます。
- ⑤ [はい] ボタンをクリックする
- ⑥ [ショートカットやフォルダの削除] 画面で [閉じる] ボタンをクリックする
- ⑦ [タスクバーとスタートメニューのプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

- A** Windowsのタスクスケジューラで設定されている可能性があります。タスクスケジューラで「実行する」に設定されていると、設定したスケジュールに従ってタスクを実行します。アプリケーションをインストールすると、自動的にタスクが登録される場合があります。
- 次の手順で設定を変更できます。

①  XP

[スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [システムツール] → [タスク] をクリックする

 2000

[スタート] → [プログラム] → [アクセサリ] → [システムツール] → [タスク] をクリックする

- ② 設定されているタスクをダブルクリックする  
プログラムが実行された時間などを参考に選択してください。
- ③ [タスク] タブで「実行する」のチェックをはずす
- ④ [OK] ボタンをクリックする

## **Q** パソコンが休止状態にならない

- A** 休止状態に対応していない周辺機器（PCカードなど）を取り付けていると休止状態になりません。  
休止状態に対応していない周辺機器を取りはずしてから、休止状態を実行してください。
- A** [スタートアップ] に休止状態の妨げになるアプリケーションが設定されている可能性があります。  
[スタートアップ] からそのアプリケーションを削除し、Windowsを再起動してください。



スタートアップに登録されているアプリケーションの削除方法

☞ 「本節 電源を入れるとき/切るとき」

Q.Windowsの起動と同時にプログラムが実行される」

## 休止状態を設定できない

-  休止状態の設定になっていない可能性があります。  
次の手順で設定を変更してください。

①  XP

[コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリック→ [東芝省電力] をクリックする

 2000

[コントロールパネル] を開き、[東芝省電力] をダブルクリックする

② [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックする  
()

③ [OK] ボタンをクリックする

 参照  休止状態について  「2章 3-2 休止状態」

## 画面 / 表示

### ❓ 画面に何も表示されない

(Power  LEDが消灯、またはオレンジ色に点滅している場合)

- A 電源が入っていない、またはスタンバイ状態になっています。  
電源スイッチを押してください。

(Power  LEDが点灯している場合)

- A 表示自動停止機能が働いた可能性があります。  
(Shift)キーや(Ctrl)キーを押す、またはタッチパッドを操作してください。

 ● CRTディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに10秒前後かかることがあります。故障ではありません。

- A インスタントセキュリティ機能が働いた可能性があります。  
次の操作を行ってください。

パスワードによる保護を設定していない場合：

(Shift)キーや(Ctrl)キーを押す、またはタッチパッドを操作する

パスワードによる保護を設定（[画面のプロパティ] の [スクリーンセーバー] タブで、[パスワードによる保護] または [再開時によるこの画面に戻る] をチェック）している場合：

- ① (Shift)キーや(Ctrl)キーを押す、またはタッチパッドを操作する
- ② 複数のユーザアカウントを設定している場合は、ユーザ名をクリックする
- ③ パスワード入力画面に Windows のログオンパスワードを入力し、(Enter)キーを押す

 参照 インスタントセキュリティ機能について

➤ 「3章 4-1- (Fn)キーを使った特殊機能キー」

- A 表示装置が適切に設定されていない可能性があります。  
(Fn) + (F5) キーを 3 秒間押し続けてください。  
表示が内部液晶ディスプレイに戻ります。

 参照  詳細について ⇨ 「3 章 10 CRT ディスプレイの接続」

## Q 画面が見にくい

- A ディスプレイを見やすい角度に調整してください。

## Q 画面が暗い

- A 内部液晶ディスプレイの輝度が低く設定されている可能性があります。  
次の手順で設定を変更してください。

### ●方法 1

- (Fn) + (F7) キーを押して内部液晶ディスプレイの輝度を上げる  
(明るくする)  
(Fn) + (F6) キーを押すと内部液晶ディスプレイの輝度は下がります。

### ●方法 2

- ①  [コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリック→ [東芝省電力] をクリックする  
 [コントロールパネル] を開き、[東芝省電力] をダブルクリックする
- ② [電源設定] タブで利用する省電力モードを選択して、[詳細] ボタンをクリックする
- ③ [省電力] タブで [モニタの輝度] を設定する
- ④ [OK] ボタンをクリックする
- ⑤ [東芝省電力のプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

設定を変更しても明るくならない場合は、ディスプレイに取り付けられているバックライト用蛍光管が消耗している可能性があります。お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご連絡ください。有償にて交換いたします。

## Q 画面の色がはっきりしない

A 色数が少ない場合に起こります。  
次の手順で設定を変更してください。

①  XP

[コントロールパネル] を開き、[デスクトップの表示とテーマ] をクリック→ [画面] をクリックする

 2000

[コントロールパネル] を開き、[画面] をダブルクリックする

② [設定] タブで [画面の色] を「最高」や「High Color (16 ビット)」や「True Color (32 ビット)」に設定する

③ [OK] ボタンをクリックする

## Q CRT ディスプレイで画面の色がにじんだように表示される

A テレビ、オーディオ機器のスピーカなど強力な磁気を発生する電気製品の近くに設置している場合は、遠ざけてください。



- 高圧電線の近くの建物の場合は、パソコン本体を置く位置を変えることによって、画像の乱れが直る場合もあります。

## Q 内蔵時計が合っていない

A 次の手順で [日付と時刻] を修正してください。

①  XP

[コントロールパネル] を開き、[日付、時刻、地域と言語のオプション] をクリック→ [日付と時刻を変更する] をクリックする

 2000

[コントロールパネル] を開き、[日付と時刻] をダブルクリックする

[日付と時刻のプロパティ] 画面が表示されます。

② [時刻] に表示されている、デジタル時計の数字の部分をクリックする

[時：分：秒] で項目が分かれているので、変更したい部分をクリックしてください。

③ デジタル時計の右端にある ▲▼ ボタンで、時刻の修正を行う

④ [OK] ボタンをクリックする

A 長い間パソコンを使用しないと時計用バッテリーの充電が不十分になります。

パソコン本体に AC アダプタを接続し、電源を入れて時計用バッテリーを充電してください。

A 充電してもしばらくすると内蔵時計が合わなくなる場合は、時計用バッテリーの充電機能が低下している可能性があります。

お近くの保守サービスにご連絡ください。

## Q パソコンの処理速度が遅くなった

A 「東芝省電力ユーティリティ」の設定で、CPUの処理速度が切り替わった可能性があります。また、ご購入時の状態の省電力モードは、ACアダプタを接続しているときは[フルパワー]、バッテリー駆動で使用するときは[ノーマル]に設定されていますので、ACアダプタ接続時に比べてバッテリー駆動時のパソコンの処理速度は遅くなります。

CPUの処理速度は次の手順で変更できます。

①  XP

[コントロールパネル]を開き、[パフォーマンスとメンテナンス]をクリック→[東芝省電力]をクリックする

 2000

[コントロールパネル]を開き、[東芝省電力]をダブルクリックする

- ② 利用したい省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリックする
- ③ [省電力] タブの [CPUの処理速度] で、バッテリー残量に応じて処理速度を設定する
- ④ [OK] ボタンをクリックする
- ⑤ [東芝省電力のプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

 参照  省電力モードについて ⇨ 「4章 2 省電力の設定」

A パソコンのCPUが高温になり、自動的に処理速度が遅くなった可能性があります。

しばらく作業を中止すると、CPUの温度が下がり処理速度が元に戻ります。

A ハードディスクの空き容量が少なくなり、処理速度が遅くなった可能性があります。

不要なファイルなどを削除して、ハードディスクの空き容量を増やしてください。

## バッテリー駆動で使用するとき

### Q Battery LED が点滅した

A バッテリーの充電量が残り少ない状態です。  
ただちに次のいずれかの対処を行ってください。

- パソコン本体に AC アダプタを接続し、電源を供給する
- 電源を切ってから、フル充電のバッテリーパックと取り換える

対処しないと、休止状態が有効に設定されている場合、パソコン本体は自動的に休止状態になり、電源を切ります。

休止状態が無効の場合、パソコン本体は何もしないで電源が切れますので、作業中のデータが消失するおそれがあります。休止状態を有効にしておくことをおすすめします。ご購入時は有効に設定されています。また、データはこまめに保存してください。

 参照  バッテリーの充電方法 ⇨ 「4 章 1-1 バッテリーを充電する」

### Q 充電したはずのバッテリーパックを使用しても Battery LED がオレンジ色に点滅する

A バッテリーパックは使わずにいても充電量が少しずつ減っていきます。  
もう 1 度充電してください。

充電しても状態が変わらない場合は、バッテリーパックの充電機能が低下している可能性があります。別売りのバッテリーパックと交換してください。それでも状態が変わらない場合は、パソコン本体が故障していると考えられます。お近くの保守サービスにご連絡ください。

 参照  バッテリーの充電量について ⇨ 「4 章 1-2 バッテリー充電量を確認する」

## Q バッテリー駆動でしばらく操作しないとき、電源が切れる

A 一定時間パソコンを使用しないときに、自動的にスタンバイまたは休止状態にし、システムの動作をオフにするように設定されています。設定を解除してください。

①  XP

[コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリック→ [東芝省電力] をクリックする

 2000

[コントロールパネル] を開き、[東芝省電力] をダブルクリックする

- ② [電源設定] タブで利用する省電力モードをクリックし、[詳細] ボタンをクリックする
- ③ [省電力] タブで [システムスタンバイ] および [システム休止状態] の設定を [なし] にする
- ④ [OK] ボタンをクリックする
- ⑤ [東芝省電力のプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

## キーボード

### Q キーを押しても希望の文字が入力できない

A キーボードの文字キーは、キーボードの入力モードによって、入力される文字が異なります。ショートカットキーを利用して入力モード（ひらがな入力、ローマ字入力、半角英数入力、大文字ロック状態など）を変更できます。

次のキーを使って、文字入力の状態を合わせてから入力してください。

- ・(Shift)+(Caps Lock英数)キー
- ・(Alt)+(カタカナひらがな)キー
- ・(Fn)+(F10)キー
- ・(Fn)+(F11)キー

参照  詳細について  「3章 4 キーボード」

### Q キーボードから文字を入力しているときにカーソルがとんでしまう

A 文字を入力しているときに誤ってタッチパッドに触れると、カーソルがとんだり、アクティブウィンドウが切り替わってしまうことがあります。次のいずれかの操作を行ってください。

- 文字を入力している間はタッピング機能が効かないように設定する

① 

[コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリック→ [マウス] をクリックする



[コントロールパネル] を開き、[マウス] をダブルクリックする  
[マウスのプロパティ] 画面が表示されます。

- ② [タッピング] タブの [タイピング] で [キー入力時タップしない] をチェックする (  )
- ③ [OK] ボタンをクリックする

- タッチパッドを無効に設定する

(Fn)+(F9)キーを押して、タッチパッドを無効に切り替えてください。

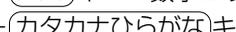
## Q 「\」(バックslash)が入力できない

- A 日本語フォントでは「\」は入力できません。  
を押すと¥が表示されますが、「\」と同じ機能を持ちます。

## Q ひらがなや漢字の入力ができない

- A 日本語入力システムが起動していない状態になっています。  
キーを押してください。

## Q キーボードで入力モードを切り替えたい

- A 次のショートカットキーを利用して入力モードを変更できます。
-  +  キー：大文字ロック状態
  -  +  キー：アロー状態
  -  +  キー：数字ロック状態
  -  +  キー：ローマ字入力/かな入力の切り替え

 詳細について ⇨ 「3章 4 キーボード」

## Q キーに印刷された文字と違う文字が入力されてしまう

- A キーボードドライバの設定が正しくない可能性があります。  
次の手順でドライバを再設定してください。



- ① [コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
- ② [システム] をクリックする
- ③ [ハードウェア] タブで [デバイスマネージャ] ボタンをクリックする
- ④ [キーボード] をダブルクリックする
- ⑤ 表示されるキーボードドライバ名をダブルクリックする  
キーボードのプロパティ画面が表示されます。
- ⑥ [ドライバ] タブで [ドライバの更新] ボタンをクリックする  
[ハードウェアの更新ウィザード] 画面が表示されます。

- ⑦ [一覧または特定の場所からインストールする] を選択し、[次へ] ボタンをクリックする
- ⑧ [検索しないで、インストールするドライバを選択する] を選択し、[次へ] ボタンをクリックする
- ⑨ [互換性のあるハードウェアを表示] のチェックをはずす [製造元] と [モデル] の一覧が表示されます。
- ⑩ [製造元] から [(標準キーボード)]、[モデル] から [日本語 PS/2 キーボード (106 / 109 キー Ctrl + 英数)] を選択して、[次へ] ボタンをクリックする [デバイスのインストールの確認] 画面が表示されます。
- ⑪ [[はい] ボタンをクリックする  
ドライバがインストールされ、[ハードウェアの更新ウィザードの完了] 画面が表示されます。
- ⑫ [完了] ボタンをクリックする
- ⑬ キーボードのプロパティ画面で、[閉じる] ボタンをクリックする [システム設定の変更] 画面が表示され、「今コンピュータを再起動しますか?」というメッセージが表示されます。
- ⑭ [[はい] ボタンをクリックする  
パソコンが再起動します。

## 2000

- ① [コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする
- ② [ハードウェア] タブで [デバイスマネージャ] ボタンをクリックする
- ③ [キーボード] を [日本語 PS/2 キーボード (106 / 109 キー)] に設定する
- ④ [閉じる] ボタンをクリックする  
パソコンが再起動します。

## Q どのキーを押しても反応しない 設定は合っているが、希望の文字が入力できない

- A [スタート] メニューから再起動してください。  
[スタート] メニューから再起動できない場合は、**(Ctrl)+(Alt)+(Del)** キーを押して、再起動してください。この場合、保存していない作成中のデータは消去されます。

 **(Ctrl)+(Alt)+(Del)**キーでの再起動について  
⇒「本節 その他-Q.パソコンが反応しない」

- A **(Ctrl)+(Alt)+(Del)** キーを押して再起動できない場合は、電源スイッチを5秒以上押してください。電源が切れます。この場合、保存していない作成中のデータは消去されます。  
しばらくしてから電源を入れ直してください。

## Q キーボードに飲み物をこぼしてしまった

- A 飲み物など液体がこぼれて内部に入ると、感電、本体の故障、作成データの消失などのおそれがあります。液体がパソコン内部に入ったときは、電源を切り、ACアダプタとバッテリーパックを取りはずして、ただちに買い求めの販売店、または保守サービスに点検を依頼してください。

## タッチ패드／マウス

\* マウスは別売りです。

### Q タッチ패드やマウスを動かしても画面のポインタが動かない（反応しない）

- A システムが処理中の可能性があります。  
ポインタが砂時計の形（⌚）をしている間は、システムが処理中のため、タッチ패드、マウス、キーボードなどの操作を受け付けないときがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。
- A タッチパッドが無効に設定されている可能性があります。  
(Fn)+(F9)キーを押して、タッチパッドを有効に切り替えてください。

### Q ダブルクリックがうまくできない

- A 次の手順で、ダブルクリックの速度を自分に合った速度に調節してください。

- ① **XP**  
[コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリック→ [マウス] をクリックする
- ② **2000**  
[コントロールパネル] を開き、[マウス] をダブルクリックする
- ③ [ボタン] タブで [ダブルクリック速度] のスライダーバーを左右にドラッグする
- ④ [OK] ボタンをクリックする

## Q ポインタの動きが遅い／速い

A 次の手順でポインタの速度を変更してください。

### XP

- ① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリック→ [マウス] をクリックする
- ② [ポインタオプション] タブで [速度] のスライダーバーを左右にドラッグする
- ③ [OK] ボタンをクリックする

### 2000

- ① [コントロールパネル] を開き、[マウス] をダブルクリックする
- ② [動作] タブで [速度] のスライダーバーを左右にドラッグする
- ③ [OK] ボタンをクリックする

A マウス内部が汚れていないか確認してください。  
マウス内部が汚れていると動きが鈍くなります。マウスを使用している場合は、マウス内部の掃除を行ってください。  
マウスのお手入れについては、『マウスに付属の説明書』をご覧ください。

## Q USB マウスが使えない

A 新しいハードウェアとして認識されていない可能性があります。  
次の手順で [新しいハードウェアの追加ウィザード] を実行してください。

### XP

- ① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
- ② [関連項目] の [ハードウェアの追加] をクリックする  
[ハードウェアの追加ウィザード] が起動します。
- ③ [次へ] ボタンをクリックする  
画面の指示に従って操作してください。

### 2000

- ① [コントロールパネル] を開き、[ハードウェアの追加と削除] をダブルクリックする
- ② [次へ] ボタンをクリックする  
画面の指示に従って操作してください。

## サウンド機能

### Q スピーカから音が聞こえない

- A ヘッドホン出力端子からヘッドホンを取りはずしてください。
- A (Fn) + (1) キー、(Fn) + (2) キーで音量を調節してください。
- A スピーカの設定がミュート（消音）になっている可能性があります。  
(Fn) + (Esc) キーを押してミュートを解除してください。
- A 標準の [優先するデバイス] が変更されている可能性があります。  
次の手順で設定を変更してください。

#### XP

- ① [コントロールパネル] を開き、[サウンド、音声、およびオーディオデバイス] をクリックする
- ② [サウンドとオーディオデバイス] をクリックする  
[サウンドとオーディオデバイスのプロパティ] 画面が表示されます。
- ③ [オーディオ] タブで [音の再生] の [既定のデバイス] を [ALi Audio Wave] に設定する
- ④ [OK] ボタンをクリックする

#### 2000

- ① [コントロールパネル] を開き、[サウンドとマルチメディア] をダブルクリックする
- ② [オーディオ] タブで [音の再生] の [優先するデバイス] を [ALi Audio Wave] に設定する
- ③ [OK] ボタンをクリックする

- A** 上記の操作を行っても音量が変わらなければ、標準のサウンドドライバが壊れているか、誤って消去された可能性があります。  
次の手順でサウンドドライバを再インストールしてください。



- ・ [スタート] → [すべてのプログラム] → [アプリケーションの再インストール] をクリックし、表示された画面に従って操作する  
またはアプリケーション CD-ROM をセットし、表示された画面に従って操作する



- ・ アプリケーション CD-ROM をセットし、表示された画面に従って操作する

## **Q** 甲高い音がする

- A** 外部マイクとスピーカでハウリングを起こしている可能性があります。使用するソフトウェアによっては、この現象が起きることがあります。次の操作を行ってください。

- (Fn) + (1) キー、(Fn) + (2) キーで音量を調節する
- 使用しているソフトウェアの設定を変える
- Windows 上から音量の設定を調整する

## **Q** サウンド再生時に音飛びが発生する

- A** PC カード接続のハードディスクドライブまたは CD-ROM ドライブの動作中にサウンドの再生を行うと、音飛びが発生する場合があります。

## LAN 機能

### Q ネットワークに接続できない

A ネットワークの設定が正しくない可能性があります。  
次の点を確認してください。

- Windows のネットワーク設定を確認する
- 相手先のネットワーク機器（HUB）などの設定を確認する
- ケーブルの状態を確認する

A LAN 機能が無効に設定されている可能性があります。  
次の手順で設定を変更してください。

#### ●方法 1 - 「デバイスマネージャ」で変更する

##### ① XP

[コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリック→ [システム] をクリックする

##### 2000

[コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする  
[システムのプロパティ] 画面が表示されます。

② [ハードウェア] タブで [デバイス マネージャ] ボタンをクリックする

③ [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする

有線 LAN 機能は [Intel 825x-based PCI Ethernet Adapter (10/100)] と表示されます。

無線 LAN 機能は [Toshiba Wireless LAN Mini PCI Card] と表示されます。

項目の左に×がついている場合は、無効に設定されています。  
次の手順で設定を変更してください。

④ 項目を右クリックし、表示されたメニューから [有効] をクリックする

⑤ [デバイス マネージャ] 画面を閉じる

⑥ [システムのプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

●方法 2 - 「東芝 HW セットアップ」で変更する  
(有線 LAN 機能のみ)

①  **XP**

[コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリック→ [東芝 HW セットアップ] をクリックする

 **2000**

[コントロールパネル] を開き、[東芝 HW セットアップ] をダブルクリックする

- ② [LAN] タブで [内蔵 LAN] の [使用する] をチェックする
- ③ [OK] ボタンをクリックする

## 周辺機器

周辺機器については『周辺機器に付属の説明書』もあわせてご覧ください。

### Q 周辺機器を取り付けているときの電源を入れる順番は？

- A 周辺機器の電源を入れてからパソコン本体の電源を入れてください。  
USB 対応機器など、周辺機器によっては、パソコン本体が起動した後に電源を入れても使うことができるものがあります。  
詳しくは、『周辺機器に付属の説明書』をご覧ください。

### Q 周辺機器を取り付けたが正しく動かない

- A パソコン本体が周辺機器を、「新しいハードウェア」として認識していない可能性があります。  
次の手順で [ハードウェアの追加ウィザード] を実行してください。

#### XP

- ① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
- ② [関連項目] で [ハードウェアの追加] をクリックする  
[ハードウェアの追加ウィザード] が起動します。
- ③ [次へ] ボタンをクリックする  
画面の指示に従って操作してください。

#### 2000

- ① [コントロールパネル] を開き、[ハードウェアの追加と削除] をダブルクリックする
- ② [次へ] ボタンをクリックする  
画面の指示に従って操作してください。

- A 接続ケーブルが正しく接続されていない可能性があります。  
接続ケーブルを正しく接続し直してください。
- A システム（OS）に対応していない可能性があります。  
周辺機器によっては、使用できるシステム（OS）が限られているもの  
があります。お使いのシステム（OS）に対応しているか確認してくだ  
さい。  
詳しくは、『周辺機器に付属の説明書』をご覧ください。

## PC カード

### Q PC カードが認識されない

A PC カードが奥までしっかり差し込んであるか確認してください。

### Q PC カードの挿入は認識されるがデバイスとして認識されない

A PC カードによっては、使用できるシステム（OS）が限られているものがあります。詳しくは、『PC カードに付属の説明書』をご覧ください。

A PC カードのコントローラモードが正しく設定されていない可能性があります。セットアッププログラムを起動し、[PC CARD] の [Contraller Mode] で設定を変更してください。

 セットアッププログラム ⇨ 「5章 2 セットアッププログラム」

A 本製品は Windows 専用モデルです。コマンドプロンプト上での PC カードの使用はサポートしておりません。

## Q PCカードは認識されるが使用できない

A IRQ が不足している可能性があります。  
次の手順で使用しないデバイスを使用不可にしてください。

①  XP

[コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリック→ [システム] をクリックする

 2000

[コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする  
[システムのプロパティ] 画面が表示されます。

- ② [ハードウェア] タブで [デバイスマネージャ] ボタンをクリックする
- ③ [デバイスマネージャ] で使用しないデバイスをダブルクリックする
- ④ 表示される項目から使用しないデバイスを右クリックし、[無効] をクリックする  
確認のメッセージが表示されます。
- ⑤ [はい] ボタンをクリックする
- ⑥ [デバイスマネージャ] 画面を閉じる
- ⑦ [システムのプロパティ] 画面で [OK]、または [閉じる] ボタンをクリックする

## SD メモリカード

### Q SD メモリカードが使えない

- A SD メモリカードが正しくセットされていない可能性があります。SD メモリカードが正しい向き（ラベル面が上）で奥まで挿入されているか確認してください。

### Q SD メモリカードに書き込み（データの保存）ができない

- A SD メモリカードのライトプロテクトタブが「書き込み禁止状態」になっていると、書き込み（データの保存）ができません。SD メモリカードを取り出して、ライトプロテクトタブを「書き込み可能状態」にしてください。
- A SD メモリカードの空き容量が少ないと、書き込み（データの保存）ができません。  
次の操作を行ってください。
- 不要なファイルやフォルダを削除して空き容量を増やし、やり直す SD メモリカードから削除したファイルを元に戻すことはできません。よく確かめてから削除を行ってください。
  - 空き容量が十分にある別の SD メモリカードを使用する

### Q 「READ ERROR」「DATA ERROR」「CODE ERROR」と表示された

- A ファイル読み込みでエラーが検出されました。データが壊れている可能性があります。  
そのファイルを削除してください。  
このエラーが多発する場合は、その SD メモリカードをフォーマットしてください。  
フォーマットを行うと、その SD メモリカードに保存されていた情報はすべて消去されます。よく確かめてからフォーマットを行ってください。



## コンパクトフラッシュカード

\*コンパクトフラッシュモデルのみ

### Q コンパクトフラッシュカードが認識されない

- A コンパクトフラッシュカードが正しい向き（ラベル面が上）で、奥までしっかり差し込んであるか確認してください。

## USB 対応機器

### Q USB 対応機器が使えない

- A ケーブルが正しく接続されていない可能性があります。  
ケーブルを接続し直してください。
- A 何らかの原因で、システム（OS）が正しく USB 対応機器を認識していない可能性があります。Windows を再起動してください。
- A ドライバが正しくインストールされていない可能性があります。  
次の手順でドライバをインストールしてください。

#### XP

- ① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
- ② [関連項目] で [ハードウェアの追加] をクリックする  
[ハードウェアの追加ウィザード] が起動します。
- ③ [次へ] ボタンをクリックする  
画面の指示に従って操作してください。

#### 2000

- ① [コントロールパネル] を開き、[ハードウェアの追加と削除] をダブルクリックする
- ② [次へ] ボタンをクリックする  
画面の指示に従って操作してください。

### Q 休止状態から復帰後、USB 対応機器が正常に動作しない

- A 休止状態に対応していない USB 対応機器を接続している可能性があります。  
USB 対応機器を USB コネクタから取りはずし、もう 1 度接続してください。

# 赤外線通信

\*無線 LAN モデルのみ

## Q 赤外線通信ができない

A 赤外線通信ができる環境になっていない可能性があります。  
次の点を確認してください。

- 通信先とパソコン通信速度を同じにする
- 赤外線ポート間の障害物を取り除く
- 赤外線ポートの汚れをおとす
- 赤外線ポートの設定を正しく設定する

## Q データが正しく送られない

A 正しく通信できる環境になっていない可能性があります。  
次のことを行ってみてください。

- 通信先とパソコン通信速度を同じにする
- 通信先との距離を近付ける
- 直射日光や蛍光灯の当たる場所からパソコンを離す
- 赤外線を出す装置をパソコン本体から離す

## Q 赤外線通信ソフトが使えない

A 赤外線ソフトが正しく設定されていない可能性があります。  
次の手順で設定を変更してください。

### XP

- ① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
- ② [ワイヤレスリンク] をクリックする
- ③ [赤外線] タブの [ファイルの転送オプション] で [赤外線通信によるファイルの受信を可能にする] をチェックする

### 2000

- ① [コントロールパネル] を開き、[ワイヤレスリンク] をダブルクリックする
- ② [ファイルの転送] タブの [ファイルの転送オプション] で [赤外線通信によるファイルの受信を可能にする] をチェックする

# アプリケーション

## Q アプリケーションが使えない

- A 正しくインストールされていない可能性があります。  
『アプリケーションに付属の説明書』を読んで、正しくインストールしてください。
- A システム（OS）に対応していない可能性があります。  
アプリケーションによっては使用できるシステム（OS）が限られているものがあります。  
詳しくは、『アプリケーションに付属の説明書』をご覧ください。
- A メモリが足りない可能性があります。  
アプリケーションを起動するために必要なメモリ容量がない場合は、そのアプリケーションを使用することはできません。必要なメモリ容量は、『アプリケーションに付属の説明書』をご覧ください。
- A アプリケーションによっては、システム構成の変更が必要です。  
『アプリケーションに付属の説明書』を読んで、システム構成を変更してください。

## Q アプリケーションが操作できなくなった

- A アプリケーション使用中に操作できなくなった場合は、次の手順でアプリケーションを強制終了してください。終了後、もう1度アプリケーションを起動してください。この場合、アプリケーションで編集していたデータは保存できません。



- ① **(Ctrl) + (Alt) + (Del)** キーを押す  
[Windows タスクマネージャ] 画面が表示されます。
- ② [アプリケーション] タブで [応答なし] と表示されているアプリケーションのタスクをクリックする
- ③ [タスクの終了] ボタンをクリックする  
アプリケーションが終了します。
- ④ [Windows タスクマネージャ] 画面を閉じる

## 2000

- ① (Ctrl) + (Alt) + (Del) キーを押す  
[Windows のセキュリティ] 画面が表示されます。
- ② [タスクマネージャ] ボタンをクリックする  
[Windows タスクマネージャ] 画面が表示されます。
- ③ [アプリケーション] タブで [応答なし] と表示されているアプリケーションのタスクをクリックする
- ④ [タスクの終了] ボタンをクリックする  
アプリケーションが終了します。
- ⑤ [Windows タスクマネージャ] 画面を閉じる

## Q 購入時に入っていたアプリケーションを誤って削除してしまった

- A 本製品にプレインストールされているアプリケーションやドライバは再インストールできます。

## XP

- ・ [スタート] → [すべてのプログラム] → [アプリケーションの再インストール] をクリックし、表示された画面に従って操作する  
または、アプリケーション CD-ROM をセットし、表示された画面に従って操作する

## 2000

- ・ アプリケーション CD-ROM をセットし、表示された画面に従って操作する

## メッセージ

### Q 「Password=」 と表示された

- A ユーザパスワードが設定されています。  
「東芝 HW セットアップ」または「セットアッププログラム」で設定したユーザパスワードを入力し、(Enter)キーを押してください。  
ユーザパスワードを忘れた場合は、キーフロッピーディスクを使用してください。  
キーフロッピーディスクがない場合は、お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご連絡ください。有償にてユーザパスワードを解除いたします。その際、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

 ユーザパスワードの入力について ⇨ 「5章 3 パスワードセキュリティ」

### Q 「パスワードを忘れてしまいましたか？」 「パスワードが誤っています」と表示された

- A 入力を誤っている可能性があるため、いったんパスワードを削除し、もう1度入力して下さい。
- A 入力モードの状態により、大文字／小文字を誤って入力した可能性があります。  
(Shift)+(Caps Lock 英数)キーを押して入力の状態を切り替え、もう1度入力して下さい。

### Q 使用中突然「このプログラムは不正な処理を行ったので…」と表示された

- A ソフトウェアの内部処理がうまくいきませんでした。  
画面の指示に従い、[閉じる] ボタンをクリックし、パソコンを再起動してください。  
このとき、作成中のデータは保存されない場合があります。

## Q 次のようなメッセージが表示された

- 「Remove disks or other medias. Press any key to restart」
- 「Insert system disk in drive. Press any key when ready」
- 「Non- System disk or disk error Replace and press any key when ready」
- 「Invalid system disk Replace the disk, and then press any key」
- 「Boot:Couldn't Find NTLDR Please Insert another disk」
- 「Disk I/O error Replace the disk, and then press any key」
- 「Cannot load DOS press key to retry」

A 別売りのフロッピーディスクドライブを取り付けている場合は、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出し、何かキーを押してください。

A 上記の操作を行っても状態が変わらない場合は、巻末の「トラブルチェックシート」で必要事項をご確認のうえ、東芝 PC ダイヤルにご連絡ください。

## Q 「Bad ×××× ××××」と表示された

A 時計用バッテリーが不足しています。  
セットアッププログラムを標準設定の状態にしてください。  
次の手順で行ってください。

- ① (F1)キーを押す  
セットアッププログラムの画面が表示されます。

 詳細について ⇨ 「5章 2-3 セットアッププログラムの画面」

- ② (Fn) + (←)キーを押す ((Home)キー機能)
- ③ (Fn) + (→)キーを押す ((End)キー機能)  
確認のメッセージが表示されます。
- ④ (Y)キーを押す  
標準設定の状態にし、セットアッププログラムが終了します。  
パソコンは再起動されます。
- ⑤ ACアダプタを接続した (Power ⏻ LED を緑色に点灯させた)  
状態で数時間放置しておく

 詳細について ⇨ 「4章 1- 時計用バッテリー」

## Q C:¥Windows>\_ または C:¥>\_ と表示された

A コマンドプロンプトが全画面表示されています。  
次の操作を行ってください。

●方法1 - プロンプト画面をウィンドウ表示に切り替える

- (Alt) + (Enter) キーを押す

●方法2 - プロンプト画面を終了する

- ① (E)(X)(I)(T) とキーを押す
- ② (Enter) キーを押す

## Q その他のメッセージが表示された

A ご使用のシステムやアプリケーションの説明書をご覧ください。

## その他

### Q セーフモードで起動した

A 周辺機器のドライバやアプリケーションが原因で不具合を起こしている可能性があります。

次の手順でハードディスクをチェックしてください。

- ① [マイコンピュータ] を開く
- ② (C:) ドライブをクリックする
- ③ メニューバーから [ファイル] → [プロパティ] をクリックする
- ④ [ツール] タブの [エラーチェック] で [チェックする] ボタンをクリックする
- ⑤  **XP**  
[ディスクのチェック] 画面で [不良セクタをスキャンし、回復する] をチェックする
-  **2000**  
[チェックディスク] 画面で [不良なセクタをスキャンし、回復する] をチェックする
- ⑥ [開始] ボタンをクリックする  
チェック後パソコンを再起動し、通常起動するか確認してください。

上記の操作を行っても正常に起動しない場合は、東芝 PC ダイアルへご連絡ください。

 参照  セーフモードについて  『Windows のヘルプ』

### Q Disk LED が点滅し、パソコン本体から音がする

A ハードディスクが自動保存を行っています。  
パソコン操作中は、自動的にデータの保存などの内部作業が行われています。ハードディスクが動作する音が聞こえますが、問題はありません。極端に異常な音が聞こえるなど、おかしいと思われる状態が発生したときは、お買い求めの販売店またはお近くの保守サービスまでご連絡ください。

## Q パソコンの近くにあるテレビやラジオの調子がおかしい

A 次の操作を行ってください。

- テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変える
- テレビ、ラジオに対するパソコン本体の方向を変える
- パソコン本体をテレビ、ラジオから離す
- テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使う
- コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れる
- 受信機に屋外アンテナを使う
- 平行フィーダを同軸ケーブルに替える

## Q パソコンが応答しない

A 応答しないアプリケーションを強制終了してください。

 対処方法について

▷ 「本節 アプリケーション-Q. アプリケーションが操作できなくなった」

アプリケーションを終了しても調子がおかしい場合は、以降の操作を行ってください。

A Windows を強制終了し、再起動してください。

強制終了の方法は、次のとおりです。

システムが操作不能になったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スタンバイ/休止状態は無効になります。また、保存していないデータは消去されます。



- ① **(Ctrl) + (Alt) + (Del)** キーを押す  
[Windows タスクマネージャ] 画面が表示されます。
- ② メニューバーの [シャットダウン] をクリックする  
タッチパッドやマウスで操作できない場合は、**(Alt) + (U)** キーを押してください。
- ③ [コンピュータの電源を切る] をクリックする  
タッチパッドやマウスで操作できない場合は、**(U)** キーを押してください。  
プログラムを強制終了し、電源が切れます。
- ④ パソコン本体の電源を入れる

## 2000

- ① (Ctrl) + (Alt) + (Del) キーを押す  
[Windows のセキュリティ] 画面が表示されます。
- ② [シャットダウン] ボタンをクリックする  
タッチパッドやマウスで操作できない場合は、(Alt) + (S) キーを押してください。
- ③ [シャットダウン] を選択し、[OK] ボタンをクリックする  
タッチパッドやマウスで操作できない場合は、(↑) キーや (↓) キーで [シャットダウン] を選択し、(Enter) キーを押してください。  
プログラムを強制終了し、電源が切れます。
- ④ パソコン本体の電源を入れる

## 🔍 コンピュータウイルスに感染した可能性がある

- A ウイルスチェックソフトでウイルスチェックを行い、ウイルスが発見された場合は駆除してください。

## 🔍 異常な臭いや過熱に気づいた！

- A パソコン本体、周辺機器の電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。  
安全を確認してバッテリーパックをパソコン本体から取りはずしてから販売店または保守サービスにご連絡ください。  
なお、ご連絡の際には次のことをお知らせください。
- 使用している機器の名称
  - ご購入年月日
  - 現在の状態（できるだけ詳しくご連絡ください）

## 🔍 操作できない原因がどうしてもわからない

- A 巻末の「トラブルチェックシート」で、必要事項をご確認のうえ、東芝 PC ダイアルにご連絡ください。

## 🔍 パソコンを廃棄したい

- A 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。



# 7章 再セットアップ

- 1 再セットアップとは ..... 194
- 2 標準システムを復元する ..... 196
- 3 標準システムインストール起動ディスクを使う  
..... 200
- 4 パーティションの設定 ..... 204

# 1

## 再セットアップとは

同梱されているリカバリ CD-ROM を使って、システムやアプリケーションをご購入時の状態にリカバリ（復元）することを再セットアップといいます。再セットアップには別売りの CD-ROM ドライブなどをご購入ください。

### 再セットアップが必要なとき

---

次のようなときに、再セットアップしてください。

- C ドライブをフォーマットしてしまった
- ハードディスク内のシステムファイルを削除してしまった
- 電源を入れても、システム（Windows）が起動しない など

### 再セットアップする前に

---

「6 章 困ったときは」に、いろいろなトラブル解決方法が書かれています。そちらをご覧くださいのうえ、解決できないときに再セットアップしてください。

再セットアップすると、ハードディスク内に保存されていたデータは、すべて消えてしまいます。ご購入後に作成したファイルなど、必要なデータは、あらかじめ外部記憶メディアにバックアップをとって保存してください。

また、インターネットやハードウェアなどの設定は、すべてご購入時の状態に戻ります。再セットアップ後も現在と同じ設定でパソコンを使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。

## CD / DVD ドライブについて

---

再セットアップするときには、別売りのUSB 接続 CD-ROM ドライブ (PACDD002) が必要です。

または、別売りのPC カード接続のCD-R/RW ドライブ (IPCS045A、PACDR002)、CD-ROM ドライブ (PA2671UJ、PA2673UJ) もお使いいただけます。

上記以外のドライブをお使いになる場合には「標準システムインストール起動ディスク」が必要です。あらかじめ作成しておくことをおすすめします。

 詳細について ⇨ 「本章 3 標準システムインストール起動ディスクを使う」

## リカバリ CD-ROM について

---

リカバリ CD-ROM は、再セットアップのときに使用します。

 詳細について ⇨ 「本章 2 標準システムを復元する」

## アプリケーション CD-ROM について

---

アプリケーション CD-ROM には、本製品にプレインストールまたは添付されているアプリケーションが入っています。

アプリケーションなどの一覧および概要、注意事項とインストール方法については、アプリケーション CD-ROM をセットし、表示される画面をご覧ください。

リカバリ CD-ROM / アプリケーション CD-ROM は絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

# 2

## 標準システムを復元する

本製品にプレインストールされている Windows やアプリケーションをすべて復元し、ご購入時の状態に戻します。

### ■ 必要なもの

- リカバリ CD-ROM
- 取扱説明書（本書）
- USB 接続 CD-ROM ドライブ（PACDD002 別売り）または、PC カード接続の CD-R/RW ドライブ（IPCS045A、PACDR002 別売り）、CD-ROM ドライブ（PA2671UJ、PA2673UJ 別売り）もお使いいただけます。

上記以外のドライブをお使いになる場合には「標準システムインストール起動ディスク」が必要です。

 詳細について ⇨ 「本章 3 標準システムインストール起動ディスクを使う」

### ■ 準備

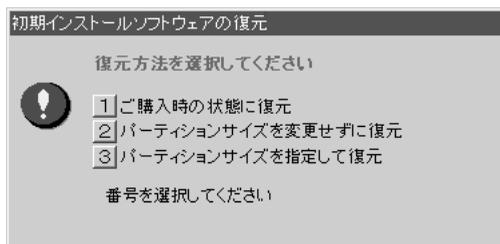
- 必要なデータを保存する  
システムを復元すると、ハードディスクの内容はすべて削除されます。必要なデータは、あらかじめバックアップをとって保存してください。
- パソコンを購入時の状態に戻す  
増設した外付けハードディスクドライブやメモリなど、ご購入後に追加した周辺機器を取りはずしてください。

## 操作手順

- 1 パソコンの電源を切る
- 2 ACアダプタと電源コードを接続する
- 3 パソコンにCD-ROMまたはCD-R/RWドライブを接続する

参照  使用できるドライブ  $\rightarrow$  「本章 1-CD / DVD ドライブについて」

- 4 「リカバリ CD-ROM Disk1」をセットする
- 5 キーボードの(F12)キーを押しながら、パソコンの電源を入れる
- 6 表示されたアイコンのCDにカーソルを $\rightarrow$  $\leftarrow$ キーで合わせ、(Enter)キーを押す  
[初期インストールソフトウェアの復元] 画面が表示されます。
- 7 購入時の状態に復元する場合は①キーを、現在のパーティション設定をそのまま使用する場合は②キーを、パーティション設定を指定する場合は③キーを押す



- ①キーを押した場合  
「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。手順8に進んでください。
- ②キーを押した場合  
「先頭パーティションのデータは、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。手順8に進んでください。
- ③キーを押した場合  
「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。

① **Y**キーを押す

[パーティションサイズの指定] 画面が表示されます。

② **←** **→**を使ってパーティションのサイズを変更する  
ここではハードディスクに対するCドライブのサイズを設定します。ディスク容量が残った場合は管理ツールで設定してください。

 設定方法について ⇨ 「本章 4 パーティションの設定」

③ **Enter**キーを押す

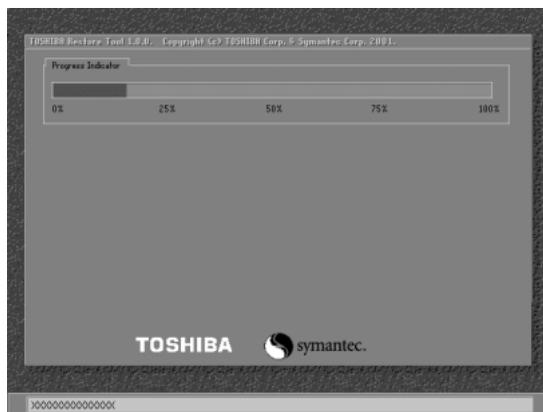
「復元を開始します！」というメッセージが表示されます。  
手順9に進んでください。

## 8 **Y**キーを押す

「復元を開始します！」というメッセージが表示されます。  
処理を中止する場合は、**N**キーを押してください。

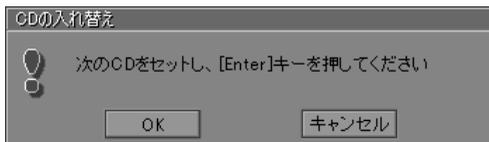
## 9 **Y**キーを押す

処理を中止する場合は、**N**キーを押してください。  
復元が実行されます。復元中は、次の画面が表示されます。  
復元の進行状況を示すグラフ表示が100%まで伸びた後、もう1度0%から始まります。  
グラフが2度目に100%に達すると完了です。

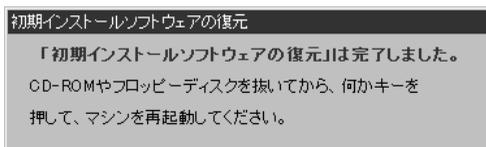


## 10 表示されるメッセージに従って復元を行う

復元中に次のメッセージが表示された場合、CD を入れ替え、**Enter** キーを押してください。処理が続きます。



画面には、現在何枚目のCDの復元が終了し、次に何枚目のCDをセットする必要があるかなどは、表示されません。CDが何枚目であるかはラベルに書いてありますので、CDを取り出す際に番号を覚えておくようにしてください。復元が完了すると、次の画面が表示されます。



**11** CDを取り出し、パソコンからCD-ROMまたはCD-R/RWドライブを取りはずしてから、何かキーを押すシステムが再起動します。

## 12 Windows のセットアップを行う

 参照 [Windows のセットアップ](#) ⇨ 「1 章 2 Windows のセットアップ」

# 3

## 標準システムインストール起動ディスクを使う

標準システム（ご購入時のシステム）の復元は、使用する CD / DVD ドライブによって方法が異なります。

本製品でサポートしている CD / DVD ドライブ（別売り）を使用する場合、リカバリ CD から起動して標準システムの復元を行うことができます。

 サポートしているドライブ ⇨ 「本章 1-CD / DVD ドライブについて」

 標準システムの復元について ⇨ 「本章 2 標準システムを復元する」

上記以外の CD / DVD ドライブを使用する場合、次の手順に従って「標準システムインストール起動ディスク」を作成することで、標準システムの復元を行うことができます。

### ■ 必要なもの

- リカバリ CD-ROM
- 取扱説明書（本書）
- USB 接続フロッピーディスクドライブ（別売り）
- お手持ちの CD / DVD ドライブ

### ■ 準備

- 必要なデータを保存する  
システムを復元すると、ハードディスクの内容はすべて削除されます。必要なデータは、あらかじめバックアップをとって保存してください。
- パソコンを購入時の状態に戻す  
増設したハードディスクドライブやメモリなど、ご購入後に追加した周辺機器を取りはずしてください。

## 作成方法

---

- 1 フォーマット済みのフロッピーディスクを1枚用意し、ラベル（「標準システムインストール起動ディスク」）を付ける
- 2 パソコンにフロッピーディスクドライブを接続し、フロッピーディスクをセットする
- 3  XP  
[スタート] → [すべてのプログラム] → [東芝ユーティリティ] → [標準システムインストール起動ディスクの作成] をクリックする  
 2000  
[スタート] → [プログラム] → [東芝ユーティリティ] → [標準システムインストール起動ディスクの作成] をクリックする
- 4 使用する CD / DVD ドライブのメーカーの番号を入力して **Enter** キーを押す  
メニュー一覧にお持ちのドライブが表示されない場合は、[手動インストール] を選択してください。
- 5 画面の指示に従って操作する  
ディスクの作成が完了すると、「リカバリディスクが作成されました」と表示されます。
- 6 何かキーを押してプログラムを終了する

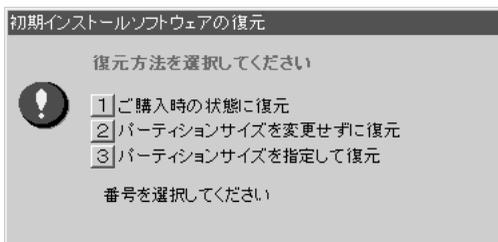
## 使用方法

---



- USB 接続フロッピーディスクドライブをお使いの場合は、「東芝 HW セットアップ」の [USB] タブで、[USB フロッピーディスク レガシーサポート] を [有効にする] に設定してください。「東芝 HW セットアップ」を起動できない場合は、セットアッププログラムを起動し、[LEGACY EMULATION] の [USB-FDD Legacy Emulation] を [Enabled] に設定してください。

- 1 Windows を終了してパソコンの電源を切る
- 2 AC アダプタと電源コードを接続する
- 3 フロッピーディスクドライブを接続し、「標準システムインストール起動ディスク」をセットする
- 4 CD / DVD ドライブを接続し、「リカバリ CD-ROM Disk1」をセットする
- 5 キーボードの(F12)キーを押しながら、パソコンの電源を入れる
- 6 (→)または(←)キーでフロッピーディスクのアイコンにカーソルを合わせ、(Enter)キーを押す  
[初期インストールソフトウェアの復元] 画面が表示されます。
- 7 購入時の状態に復元する場合は①キーを、現在のパーティション設定をそのまま使用する場合は②キーを、パーティション設定を指定する場合は③キーを押す



- ①キーを押した場合  
「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。  
手順8に進んでください。
  - ②キーを押した場合  
「先頭パーティションのデータは、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。  
手順8に進んでください。
  - ③キーを押した場合  
「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。
    - ① **Y**キーを押す  
[パーティションサイズの指定] 画面が表示されます。
    - ② **←** **→**を使ってパーティションのサイズを変更する  
ここではハードディスクに対するCドライブのサイズを設定します。ディスク容量が残った場合は管理ツールで設定してください。
-  設定方法について ⇨ 「本章 4 パーティションの設定」
- ③ **Enter**キーを押す  
「復元を開始します！」というメッセージが表示されます。  
手順9に進んでください。

## 8 **Y**キーを押す

「復元を開始します！」というメッセージが表示されます。  
処理を中止する場合は、**N**キーを押してください。

## 9 **Y**キーを押す

処理を中止する場合は、**N**キーを押してください。  
CD / DVD ドライブを自動認識し、システムのインストールが始まります。

## 10 表示されるメッセージに従って、システムのインストールを行う

# 4

## パーティションの設定

パーティションの設定を変更して再セットアップした場合は、再セットアップ後に残りのパーティションの設定を行ってください。

- 1 コンピュータの管理者になっているユーザアカウントでログオンする
- 2  **XP**  
[コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] → [管理ツール] をクリックする  
 **2000**  
[コントロールパネル] を開き、[管理ツール] をダブルクリックする
- 3 [コンピュータの管理] をダブルクリックする
- 4 [ディスクの管理] をクリックする  
設定していないパーティションは [未割り当て] と表示されます。
- 5 [ディスク0] の [未割り当て] の領域を右クリックする
- 6 表示されるメニューから [新しいパーティション] をクリックする  
[新しいパーティションウィザード] が起動します。
- 7 [次へ] ボタンをクリックし、ウィザードに従って設定する次の項目を設定します。
  - ・パーティションの種類
  - ・パーティションサイズ
  - ・ドライブ文字またはパスの割り当て
  - ・フォーマット
  - ・ファイルシステム

- 8 設定内容を確認し、[完了] ボタンをクリックする  
フォーマットが開始されます。  
パーティションの状態が [正常] と表示されれば完了です。  
詳細については「コンピュータの管理」のヘルプを参照してください。

## ■ ヘルプの起動

- 1 メニューバーから [ヘルプ] → [トピックの検索] をクリックする



# 8章 パソコンの取り扱い

- 1 オンラインマニュアルについて ..... 208
- 2 日常の取り扱いとお手入れ ..... 209
- 3 アフターケアについて ..... 213
- 4 廃棄・譲渡について ..... 214
- 5 アプリケーションのお問い合わせ先 ..... 217

# 1

## オンラインマニュアルについて

### Windows XP の場合

---

ジャンル別にさまざまな情報を検索できる「オンラインマニュアル」があります。

**1** [スタート] → [すべてのプログラム] → [オンラインマニュアル] をクリックする

「オンラインマニュアル」が起動します。



- デスクトップ上にある [オンラインマニュアル] アイコンをダブルクリックしても起動できます。

### Windows 2000 の場合

---

Windows が起動しているときに、取扱説明書（本書）をパソコン画面上で見ることができます。

**1** [スタート] → [オンラインマニュアル] をクリックする



- デスクトップ上にある [オンラインマニュアル] アイコンをダブルクリックしても起動できます。

「Acrobat Reader」と「オンラインマニュアル」が起動します。

初めて「Acrobat Reader」を起動したときは、「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されます。契約内容をお読みのうえ、「同意する」ボタンをクリックしてください。「同意する」ボタンをクリックしないと、「Acrobat Reader」をご使用になれません。また、「オンラインマニュアル」を見ることはできません。

# 2

## 日常の取り扱いとお手入れ

### ⚠ 注意

- ・お手入れの前には、必ずパソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、電源コードをAC電源から抜いてください。電源を切らずにお手入れをはじめると、感電するおそれがあります。
- ・機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。

日常の取り扱いでは、次のことを守ってください。

### パソコン本体

- 機器の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。  
汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼってから拭きます。  
ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。
- 薬品や殺虫剤などをかけないでください。
- ディスプレイは静かに閉じてください。
- 使用できる環境は次のとおりです。  
温度 5～35℃、湿度 20～80%
- 次のような場所で使用や保管をしないでください。  
直射日光の当たる場所  
非常に高温または低温になる場所  
急激な温度変化のある場所（結露を防ぐため）  
強い磁気を帯びた場所（スピーカなどの近く）  
ホコリの多い場所  
振動の激しい場所  
薬品の充満している場所  
薬品に触れる場所
- 使用中に本体の底面やACアダプタが熱くなることがあります。本体の動作状況により発熱しているだけで、故障ではありません。

## 電源コード

---

電源コードのプラグを長期間にわたってACコンセントに接続したままにしていると、プラグにほこりがたまることがあります。定期的にほこりを拭き取ってください。

## キーボード

---

乾いた柔らかい素材のきれいな布で拭いてください。

汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼって拭きます。

キーのすきまにゴミが入ったときは、掃除機などで吸い出します。ゴミが取れないときは、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご相談ください。

飲み物など液体をこぼしたときは電源を切り、ACアダプタとバッテリーパックを取りはずして、ただちにお買い求めの販売店、または保守サービスに点検を依頼してください。

## 液晶ディスプレイ

---

### ■ 画面のお手入れ

- 画面の表面には偏光フィルムが貼られています。このフィルムは傷つきやすいので、むやみに触れないでください。

表面が汚れた場合は、柔らかい素材のきれいな布で拭き取ってください。水や中性洗剤、揮発性の有機溶剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。

- 無理な力の加わる扱いかた、使いかたをしないでください。

液晶表示素子は、ガラス板間に液晶を配向処理して注入してあります。そのため、圧力がかかると配向が乱れ、元に戻らなくなる場合があります。

### ■ バックライト用蛍光管について

液晶ディスプレイに表示されている内容を見るためにバックライト用蛍光管が内蔵されています。バックライト用蛍光管は、ご使用になるにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。表示画面が見づらくなったときは、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご相談ください。有償にて交換いたします。

## ■ 表示について

TFT方式のカラー液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術を駆使して作られていますが、ごく一部に非点灯、常時点灯などの表示が存在することがあります。故障ではありませんのであらかじめご了承ください。

## タッチパッド

---

乾いた柔らかい素材のきれいな布で拭いてください。  
汚れがひどいときは、水かぬるま湯に浸した布を固くしぼってから拭きます。

## データのバックアップについて

---

重要な内容は必ず、定期的にバックアップをとって保存してください。  
本製品は次のような場合、スタンバイ機能または休止状態が無効になり、本体内の記憶内容が変化し、消失するおそれがあります。

- 誤った使いかたをしたとき
- 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
- 長期間使っていなかったために、バッテリー（バッテリーパック、時計用バッテリー）の充電量がなくなったとき
- 故障、修理、バッテリー交換のとき
- バッテリー駆動で使用しているときにバッテリーパックを取りはずしたとき
- 増設メモリの取り付け／取りはずしをしたとき

記憶内容の変化／消失、ハードディスクやフロッピーディスクなどに保存した内容の損害については当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。

## 持ち運ぶとき

---

持ち運ぶときは、誤動作や故障を起こさないために、次のことを守ってください。

- 電源は必ず切ってください。電源を入れた状態、またはスタンバイ状態で持ち運ばないでください。  
電源を切った後も、Disk  LEDが点灯中は動かさないでください。
- 急激な温度変化（寒い屋外から暖かい屋内への持ち込みなど）を与えないでください。  
やむなく急な温度変化を与えてしまった場合は、数時間たってから電源を入れるようにしてください。
- 外付けの装置やケーブルは取りはずしてください。また、CDなどがセットされている場合は、取り出してください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。また、日の当たる自動車内に置かないでください。  
故障の原因になります。
- 持ち運ぶときはディスプレイを閉じてください。

## SDメモ리카ード／コンパクトフラッシュカード

---

- SDメモ리카ード／コンパクトフラッシュカードに保存しているデータは、万一故障が起こったり、消失した場合に備えて、定期的に複製を作って保管するようにしてください。  
SDメモ리카ード／コンパクトフラッシュカードに保存した内容の障害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 接触面（コンタクトエリア）を触らないでください。  
ごみや異物が付着したり、汚れると使用できなくなります。
- 強い静電気、電氣的ノイズの発生しやすい環境での使用、保管をしないでください。  
記録した内容が消えるおそれがあります。
- 高温多湿の場所、また腐食性のある場所での使用、保管をしないでください。
- 持ち運びや保管の際は、付属のケースなどに入れてください。
- 汚れたときは、乾いた柔らかい素材の布で拭いてください。
- 新たにラベルやシールを貼らないでください。

# 3

## アフターケアについて

### 保守サービスについて

---

保守サービスへのご相談は、『東芝 PC サポートのご案内』をご覧ください。

### 消耗品について

---

次の部品は消耗品です。

- バッテリーパック（充電式リチウムイオンポリマ電池）  
長時間の使用により消耗し、充電機能が低下します。  
充電機能が低下した場合は、別売りのバッテリーパック（PABAS017）と交換してください。
- 時計用バッテリー（交換は有償です）  
消耗した場合は、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご連絡ください。

### 保守部品（補修用性能部品）の最低保有期間

---

保守部品（補修用性能部品）とは、本製品の機能を維持するために必要な部品です。

本製品の保守部品の最低保有期間は、製品発表月から6年6ヶ月です。

# 4

## 廃棄・譲渡について

### バッテリーパックについて

不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。その場合、ショート防止のため電極にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってください。



Li-ion

#### ■ バッテリーパック（充電式電池）の回収、リサイクルおよびリサイクル協力店に関するお問い合わせ先

社団法人 電池工業会  
TEL / 03-3434-0261  
ホームページ / <http://www.baj.or.jp>

### パソコン本体について

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。（本製品は、プリント基板の製造に使用するはんだには鉛が、LCD表示部に使用している蛍光灯には水銀が含まれています。）

#### ■ 企業でパソコンをご使用のお客様へ

本製品を廃棄するときは、産業廃棄物として扱われます。東芝は、廃棄品の回収と適切な再使用・再利用処理を有償で実施しています。

使用済みになった東芝製品については、東芝の回収・処理システムをご利用いただきますようお願いいたします。

#### 【お問い合わせ先】

東芝パソコンリサイクルセンター  
〒230-0034 神奈川県横浜市鶴見区寛政町 20-1  
株式会社テルム内  
TEL : 045-510-0255  
受付時間：9:00～17:00（土・日・祝日・当社指定の休日を除く）  
FAX : 045-506-7983（受付時間：24時間）

## ■ パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきております。これらのパソコンの中のハードディスクという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。したがって、そのパソコンを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。ところが、このハードディスク上に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。「データを消去する」という場合、一般に

- ◆ データを「ごみ箱」に捨てる
- ◆ 「削除」操作を行う
- ◆ 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ◆ ソフトで初期化（フォーマット）する
- ◆ 付属のリカバリ CD-ROM を使い、ご購入時の状態に戻す

などの作業ををすると思いますが、これらのことをしても、ハードディスク上に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際はデータは見えなくなっているという状態なのです。

つまり、一見消去されたように見えますが、WindowsなどのOSのもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているという状態にあるのです。

したがって、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このパソコンのハードディスク上の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。パソコンユーザが、廃棄・譲渡などを行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、ユーザの責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス（共に有償）を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁氣的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

なお、ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますため、十分な確認を行う必要があります。

データ消去については、次のホームページも参照してください。

URL <http://dynabook.com/pc/eco/haiki.htm>

## ■ お客様登録（ユーザ登録）の削除について

お客様登録されている製品を廃棄される場合は、「パソコンお客様ご登録係」までご連絡のうえ、登録の削除の手続きをお願いいたします。

パソコンお客様ご登録係

TEL / 043-278-5997

受付時間 / 9:00 ~ 17:00（土・日、祝日、特別休日を除く）

# 5

## アプリケーションの お問い合わせ先

\* 2002年10月現在の内容です。

本製品にプレインストールされているアプリケーションのお問い合わせ先は、次のとおりです。

各アプリケーションのユーザ登録については、それぞれのお問い合わせ先までお問い合わせください。

Acrobat Reader／Fn-esse／Internet Explorer／Outlook Express／  
PC診断ツール／東芝省電力ユーティリティ／東芝HWセットアップ／  
内蔵モデム用地域選択ユーティリティ

### 東芝（東芝PCダイヤル）

お問い合わせの際には「お客様登録番号」をお伺いしております。あらかじめ「お客様登録（ユーザ登録）」を行っていただきますようお願い申し上げます。

ナビダイヤル（全国共通電話番号）

TEL : 0570-00-3100（サポート料無料）

受付時間 : 9:00～19:00（祝日、12/31～1/3を除く）

電話番号はお間違えのないようお確かめのうえ、おかけいただきますようお願いいたします。

お客様からの電話は全国6箇所（千葉市、大阪市、名古屋市、福岡市、仙台市、札幌市）の最寄りの拠点に自動的に接続されます。拠点までの電話料金は有料となります。また、海外からの電話、携帯電話などで上記電話番号に接続できないお客様、NTT以外とマイラインプラスなどの回線契約をご利用のお客様は、043-298-8780でお受けしています。

### ご注意

- ・ナビダイヤルでは、ダイヤル後に通話区間料金のアナウンスが流れます。これはお客様から全国6箇所の最寄りの拠点までの通常電話料金で、サポート料金ではありません。
- ・ナビダイヤルでは、NTT以外とマイラインプラスをご契約の場合でも、自動的にNTT回線を使用することになりますので、あらかじめご了承ください。

### 駅すばあと

#### 株式会社ヴァル研究所 ユーザーサポートセンター

TEL : 03-5373-3522

受付時間 : 10:00～12:00、13:00～18:00（土・日・祝日を除く）

FAX : 03-5373-3523

E-mail : support@val.co.jp

\* ユーザー登録されたお客様が対象となります。

ホームページ : <http://www.ekiworld.net/>

## いきなりインターネット

東芝情報システム株式会社 infoPepperインターネットサービスサポート窓口

TEL : 044-201-0450

受付時間 : 10:00~12:00、13:00~17:00  
(土・日・祝祭日、当社休業日を除く)

FAX : 044-246-1131

FAX・音声

情報サービス : 044-201-0449 (24時間受付)

E-mail : support@staff.pep.ne.jp

ホームページ : <http://www.pep.ne.jp/>

# 付録

<b>1</b>	製品仕様 .....	220
<b>2</b>	各インタフェースの仕様 .....	227
<b>3</b>	技術基準適合について .....	230

# 1

## 製品仕様

### 基本仕様

機種		DynaBook SS 2010シリーズ
プロセッサ	CPU	「PC診断ツール」を参照*1
メモリ	ROM	512KB（フラッシュROM）、ACPI 1.0b、APM 1.2、Plug and Play 1.0a
	RAM	「PC診断ツール」を参照*1*2
	ビデオRAM	16MB（システムメモリと共用）
表示機能	表示装置	12.1型低温ポリシリコンTFTカラー液晶ディスプレイ
	グラフィック表示	横1024×縦768ドット 1画面
入力装置	キーボード	OADG109Aキータイプ準拠 85キー（文字キー、制御キーの合計）
	ポインティングデバイス	タッチパッド内蔵
補助記憶装置	ハードディスクドライブ*3	1.8型 1台装備
インタフェース	RGB	1個装備
	USB	2個装備 USB2.0準拠（無線LANモデル）
		3個装備 USB2.0準拠（コンパクトフラッシュモデル）
	PCカード	1個装備 PC Card Standard準拠（TYPE II） CardBus対応
	SDメモ리카ード	1個装備
	コンパクトフラッシュ*4	1個装備 CFA準拠（TYPE I / II）
	LAN	1個装備 100Base-TX / 10Base-T
	モデム	1個装備（ITU-T V.90準拠）
	無線LAN*5	1個装備 IEEE802.11b準拠 11Mbpsまで対応
サウンド	マイク入力 1個装備（φ3.5mmモノラルミニジャック） ヘッドホン出力 1個装備（φ3.5mmステレオミニジャック） 内蔵スピーカ（モノラル）装備	
	赤外線通信*5	1ポート装備 IrDA 1.1準拠
カレンダー機能		日付、時計機能を標準装備 充電型電池によるバックアップ

機 種		DynaBook SS 2010シリーズ
電源	ACアダプタ	AC100～240V (50Hz、または60Hz)
	バッテリーパック (標準装備)	Li-Polymer 10.8V 1600mAh
	大容量バッテリー (別売り)	Li-ion 10.8V 3600mAh
最大消費電力		約45W
使用環境条件		温度：5℃～35℃ 湿度：20%～80%Rh
外形寸法 (突起部除く)		289(幅) x 229(奥行) x 14.9～19.1(高さ)mm
質量		約1.19kg

- \*1：基本仕様の一部は、「PC診断ツール」の「基本情報の表示」ボタンをクリックして確認できます。ただし、「PC診断ツール」で表示される内容は、その時点での設定内容です。お客様が設定を変更された場合は、変更後の設定内容が表示されます。ただし【CPU】の項目には、搭載されているCPUの最大クロック数（固定値）が表示され、これはユーティリティなどによる設定値には影響されません。
- \*2：メインメモリ領域のうち16MBがビデオRAMとして使用されるため、【PC診断ツール】の【基本情報の表示】で表示されるメモリの容量は、実際の搭載メモリより約16MB少なく表示されます。
- \*3：ハードディスク容量は、ハードディスクドライブのプロパティで確認できます。プロパティを表示するには、【マイコンピュータ】からハードディスクドライブのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから【プロパティ】をクリックします。
- \*4：コンパクトフラッシュモデルのみ
- \*5：無線LANモデルのみ

## ■ 電源コード

本製品に同梱されている電源コードは、アメリカ合衆国、カナダ、日本の規格に準拠しています。  
その他の地域で使用する場合は、別途電源コードを購入してください。  
使用できる電圧（AC）は次のとおりです。

アメリカ合衆国、カナダ	125V
日本	100V

日本では必ずAC100Vのコンセントで使用してください。

※取得規格は、アメリカ合衆国：UL規格、カナダ：CSA、日本：電気用品安全法です。

## ■ AC アダプタ

入力*	AC100～240V、88-115VA、50/60Hz
出力	DC15V 3A

※国外でご使用の場合は、次のとおりです。

入力：AC100V～240V、1.2A、50/60Hz

## ■ 消費電力

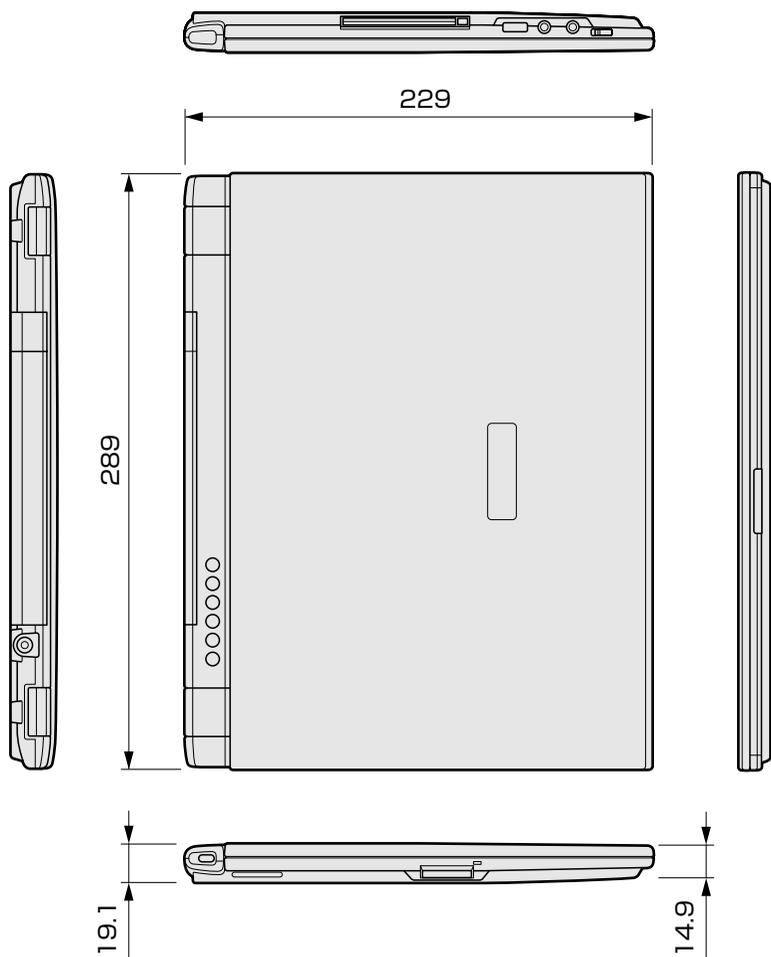
最大消費電力	45W（電源スイッチオン時）
最小消費電力	約1.4W（スタンバイ時）
	約1W（電源スイッチオフ時）

パソコンの電源を切った後に、電源コードを抜くと消費電力はゼロになります。

本機器は、「機器のリサイクルに適した設計」となっています。

## 外形寸法図

\* 数値は突起部を含みません。



(単位 mm)

## サポートしているビデオモード

ディスプレイコントローラによって制御される画面の解像度と表示可能な最大色数を定めた規格をビデオモードと呼びます。

本製品でサポートしている英語モード時のすべてのビデオモードを次に示します。

モードナンバは一般に、プログラマがそれぞれのモードを識別するのに用いられます。アプリケーションソフトがモードナンバによってモードを指定してくる場合、そのナンバが図のナンバと一致してないことがあります。この場合は解像度とフォントサイズと色の数をもとに選択し直してください。

ビデオモード	形式	解像度	フォントサイズ	色数	CRTリフレッシュレート(Hz)
0.1	VGA テキスト	40×25字	8×8	16/256K	70
2,3		80×25字	8×8	16/256K	
0*,1*		40×25字	8×14	16/256K	
2*,3*		80×25字	8×14	16/256K	
0+,1+		40×25字	8(9)×16	16/256K	
2+,3+		80×25字	8(9)×16	16/256K	
4,5	VGA グラフィックス	320×200ドット	8×8	4/256K	
6	640×200ドット	8×8	2/256K		
7	VGA テキスト	80×25字	8(9)×14	モノクロ	
7+		80×25字	8(9)×16	モノクロ	
D	VGA グラフィックス	320×200ドット	8×8	16/256K	
E		640×200ドット	8×8	16/256K	
F		640×350ドット	8×14	モノクロ	
10		640×350ドット	8×14	16/256K	
11		640×480ドット	8×16	2/256K	
12		640×480ドット	8×16	16/256K	
13		320×200ドット	8×8	256/256K	70

ビデオモード	形式	解像度	フォントサイズ	色数	CRTリフレッシュレート(Hz)
—	SVGA グラフィックス	640×480ドット	—	256/256K	60/75 /85
—		800×600ドット	—	256/256K	
—		1024×768ドット	—	256/256K	
—		1280×1024ドット*1	—	256/256K	
—		1600×1200ドット*1	—	256/256K	60
—		640×480ドット	—	64K/64K	60/75 /85
—		800×600ドット	—	64K/64K	
—		1024×768ドット	—	64K/64K	
—		1280×1024ドット*1	—	64K/64K	
—		1600×1200ドット*1	—	64K/64K	60
—		640×480ドット	—	16M/16M	60/75 /85
—		800×600ドット	—	16M/16M	
—		1024×768ドット	—	16M/16M	60/75

\*1： LCDで表示する場合、実際の画面（1024×768）内に、仮想スクリーン表示します。

(注) 一部の画面モードはディファレントリフレッシュレートモード、マルチモニターでは使用できません。

## ハードウェアリソースについて

---

メモリマップ、I/Oポートマップ、IRQ使用リソース、DMA使用リソースは次の方法で確認できます。

ご使用の環境（ハードウェア/ソフトウェア）によって変更される場合があります。

### ■ Windows XP の場合

- 1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [システムツール] → [システム情報] をクリックする
- 2 画面左側のツリーから [ハードウェアリソース] をダブルクリックする
- 3 調べたい項目をクリックする  
メモリマップ : [メモリ]  
I/Oポートマップ : [I/O]  
IRQ使用リソース : [IRQ]  
DMA使用リソース : [DMA]

### ■ Windows 2000 の場合

- 1 [マイコンピュータ] を右クリックして [管理] をクリックする
- 2 画面左側のツリーから [システム情報] → [ハードウェアリソース] をダブルクリックする
- 3 調べたい項目をクリックする  
メモリマップ : [メモリ]  
I/Oポートマップ : [I/O]  
IRQ使用リソース : [IRQ]  
DMA使用リソース : [DMA]

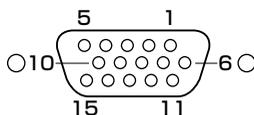
# 2

## 各インタフェースの仕様

### RGB インタフェース

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	CRV	赤色ビデオ信号	0
2	CGV	緑色ビデオ信号	0
3	CBV	青色ビデオ信号	0
4	Reserved	予約	
5	GND	信号グランド	
6	GND	信号グランド	
7	GND	信号グランド	
8	GND	信号グランド	
9	Reserved	予約	
10	GND	信号グランド	
11	Reserved	予約	
12	SDA	SDA通信信号	I/O
13	-CHSYNC	水平同期信号	0
14	-CVSYNC	垂直同期信号	0
15	SCL	SCLデータクロック信号	I/O

#### コネクタ図



高密度D-SUB 3列15ピンメス

信号名：-がついているのは、負論理値の信号です

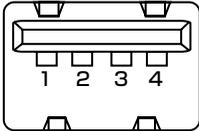
信号方向 (I)：パソコン本体への入力

信号方向 (O)：パソコン本体からの出力

## USB インタフェース

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	VCC	+5V	
2	-Data	マイナスデータ	I/O
3	+Data	プラスデータ	I/O
4	GND	信号グランド	

コネクタ図

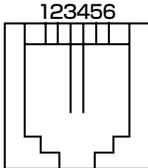


信号名：-がついているのは、負論理値の信号です  
信号方向 (I)：パソコン本体への入力  
信号方向 (O)：パソコン本体からの出力

## モデムインタフェース

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	-	ノーコンタクト	
2	-	ノーコンタクト	
3	TIP	電話回線	I/O
4	RING	電話回線	I/O
5	-	ノーコンタクト	
6	-	ノーコンタクト	

コネクタ図

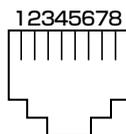


信号方向 (I)：パソコン本体への入力  
信号方向 (O)：パソコン本体からの出力

## LAN インタフェース

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	TX	送信データ (+)	O
2	-TX	送信データ (-)	O
3	RX	受信データ (+)	I
4	Unused	未使用	
5	Unused	未使用	
6	-RX	受信データ (-)	I
7	Unused	未使用	
8	Unused	未使用	

コネクタ図



信号名：-がついているのは、負論理値の信号です  
信号方向 (I)：パソコン本体への入力  
信号方向 (O)：パソコン本体からの出力

# 3

## 技術基準適合について

### 瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

### 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

### 高調波対策について

本装置は、「高調波ガイドライン適合品」です。

### 国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



 省電力設定について ⇨ 「4章 2 省電力の設定」

# FCC information

Product name : PORTÉGÉ 2010

Model number : PP201

## FCC notice "Declaration of Conformity Information"

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, it may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

**WARNING:** *Only peripherals complying with the FCC rules class B limits may be attached to this equipment. Operation with non-compliant peripherals or peripherals not recommended by TOSHIBA is likely to result in interference to radio and TV reception. Shielded cables must be used between the external devices and the computer's or external monitor port, USB port, and microphone jack. Changes or modifications made to this equipment, not expressly approved by TOSHIBA or parties authorized by TOSHIBA could void the user's authority to operate the equipment. The modular cable that comes with the computer must be used to connect a modem.*

## FCC conditions

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference.
2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

## Contact

**Address :** TOSHIBA America Information Systems, Inc.  
9740 Irvine Boulevard  
Irvine, California 92618-1697

**Telephone :** (949) 583-3000

**TOSHIBA**

EU Declaration of Conformity



TOSHIBA declares, that the product: PP201\* conforms to the following Standards:

Supplementary Information: “The product complies with the requirements of the Low Voltage Directive 73/23/EEC and the EMC Directive 89/336/EEC and the R&TTE Directive 1999/05/EEC.”

This product is carrying the CE-Mark in accordance with the related European Directives. Responsible for CE-Marking is TOSHIBA Europe, Hammfelddamm 8, 41460 Neuss, Germany.

## モデム使用時の注意事項

本製品の内蔵モデムをご使用になる場合は、次の注意事項をお守りください。

内蔵モデムは、財団法人 電気通信端末機器審査協会により電気通信事業法第50条1項に基づき、技術基準適合認定を受けたものです。



### ●使用地域

内蔵モデムは、次の地域で使用できます。

アイスランド、アイルランド、アメリカ合衆国、アラブ首長国連邦、イギリス、イスラエル、イタリア、インド、インドネシア、エジプト、エストニア、オーストラリア、オーストリア、オマーン、オランダ、カナダ、韓国、ギリシャ、クウェート、サウジアラビア、シンガポール、スイス、スウェーデン、スペイン、スリランカ、スロバキア、スロベニア、タイ、台湾、チェコ、中国、デンマーク、ドイツ、トルコ、日本、ニュージーランド、ノルウェー、パキスタン、ハンガリー、バングラデシュ、フィリピン、フィンランド、フランス、ブルガリア、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、香港、マルタ、マレーシア、南アフリカ、モロッコ、ラトビア、リトアニア、ルーマニア、ルクセンブルグ、レバノン、ロシア

(2002年10月現在)

なお、その他の地域での許認可は受けていないため、その他の地域ではご使用になれません。ご注意ください。

内蔵モデムが使用できない地域では、その地域で許認可を受けているモデムをご購入ください。

内蔵モデムに接続する回線がPBX等を経由する場合は使用できない場合があります。

上記の注意事項を超えてのご使用における危害や損害などについては、当社では責任を負えませんのであらかじめご了承願います。

## ●自動再発信の制限

内蔵モデムは2回を超える再発信（リダイヤル）は、発信を行わず『BLACK LISTED』を返します（『BLACK LISTED』の応答コードが問題になる場合は、再発信を2回以下または再発信間隔を1分以上にしてください）。

\* 内蔵モデムの自動再発信機能は、電気通信事業法の技術基準（アナログ電話端末）「自動再発信機能は2回以内（但し、最初の発信から3分以内）」に従っています。



- 雷雲が近づいてきたときは、モジュラープラグを電話回線用モジュラージャックから抜いてください。電話回線に落雷した場合、内蔵モデムやパソコン本体が破壊されるおそれがあります。
- 内蔵モデムを使用する場合は、ご使用になる地域にあわせて設定が必要です。

## Conformity Statement

The equipment has been approved to [Commission Decision "CTR21"] for pan-European single terminal connection to the Public Switched Telephone Network (PSTN).

However, due to differences between the individual PSTNs provided in different countries/regions the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point.

In the event of problems, you should contact your equipment supplier in the first instance.

## Network Compatibility Statement

This product is designed to work with, and is compatible with the following networks. It has been tested to and found to conform with the additional requirements conditional in EG 201 121.

Germany	- ATAAB AN005,AN006,AN007,AN009,AN010 and DE03,04,05,08,09,12,14,17
Greece	- ATAAB AN005,AN006 and GR01,02,03,04
Portugal	- ATAAB AN001,005,006,007,011 and P03,04,08,10
Spain	- ATAAB AN005,007,012, and ES01
Switzerland	- ATAAB AN002
All other countries/regions	- ATAAB AN003,004

Specific switch settings or software setup are required for each network, please refer to the relevant sections of the user guide for more details.

The hookflash (timed break register recall) function is subject to separate national type approvals. If has not been tested for conformity to national type regulations, and no guarantee of successful operation of that specific function on specific national networks can be given.

## Pursuant to FCC CFR 47, Part 68:

When you are ready to install or use the modem, call your local telephone company and give them the following information:

- The telephone number of the line to which you will connect the modem
- The registration number that is located on the device

The FCC registration number of the modem will be found on either the device which is to be installed, or, if already installed, on the bottom of the computer outside of the main system label.

- The Ringer Equivalence Number (REN) of the modem, which can vary.  
For the REN of your modem, refer to your modem's label.

The modem connects to the telephone line by means of a standard jack called the USOC RJ11C.

## Type of service

Your modem is designed to be used on standard-device telephone lines.

Connection to telephone company-provided coin service (central office implemented systems) is prohibited. Connection to party lines service is subject to state tariffs. If you have any questions about your telephone line, such as how many pieces of equipment you can connect to it, the telephone company will provide this information upon request.

## Telephone company procedures

The goal of the telephone company is to provide you with the best service it can. In order to do this, it may occasionally be necessary for them to make changes in their equipment, operations, or procedures. If these changes might affect your service or the operation of your equipment, the telephone company will give you notice in writing to allow you to make any changes necessary to maintain uninterrupted service.

## If problems arise

If any of your telephone equipment is not operating properly, you should immediately remove it from your telephone line, as it may cause harm to the telephone network. If the telephone company notes a problem, they may temporarily discontinue service. When practical, they will notify you in advance of this disconnection. If advance notice is not feasible, you will be notified as soon as possible. When you are notified, you will be given the opportunity to correct the problem and informed of your right to file a complaint with the FCC.

In the event repairs are ever needed on your modem, they should be performed by TOSHIBA Corporation or an authorized representative of TOSHIBA Corporation.

## Disconnection

If you should ever decide to permanently disconnect your modem from its present line, please call the telephone company and let them know of this change.

## Fax branding

The Telephone Consumer Protection Act of 1991 makes it unlawful for any person to use a computer or other electronic device to send any message via a telephone fax machine unless such message clearly contains in a margin at the top or bottom of each transmitted page or on the first page of the transmission, the date and time it is sent and an identification of the business, other entity or individual sending the message and the telephone number of the sending machine or such business, other entity or individual.

In order to program this information into your fax modem, you should complete the setup of your fax software before sending messages.

# Instructions for IC CS-03 certified equipment

**1** NOTICE: The Industry Canada label identifies certified equipment. This certification means that the equipment meets certain telecommunications network protective, operational and safety requirements as prescribed in the appropriate Terminal Equipment Technical Requirements document(s). The Department does not guarantee the equipment will operate to the user's satisfaction.

Before installing this equipment, users should ensure that it is permissible to be connected to the facilities of the local telecommunications company. The equipment must also be installed using an acceptable method of connection.

The customer should be aware that compliance with the above conditions may not prevent degradation of service in some situations.

Repairs to certified equipment should be coordinated by a representative designated by the supplier. Any repairs or alterations made by the user to this equipment, or equipment malfunctions, may give the telecommunications company cause to request the user to disconnect the equipment.

Users should ensure for their own protection that the electrical ground connections of the power utility, telephone lines and internal metallic water pipe system, if present, are connected together. This precaution may be particularly important in rural areas.

Caution: Users should not attempt to make such connections themselves, but should contact the appropriate electric inspection authority, or electrician, as appropriate.

**2** The user manual of analog equipment must contain the equipment's Ringer Equivalence Number (REN) and an explanation notice similar to the following:

The Ringer Equivalence Number (REN) of the modem, which can vary.  
For the REN of your modem, refer to your modem's label.

NOTICE: The Ringer Equivalence Number (REN) assigned to each terminal device provides an indication of the maximum number of terminals allowed to be connected to a telephone interface. The termination on an interface may consist of any combination of devices subject only to the requirement that the sum of the Ringer Equivalence Numbers of all the devices does not exceed 5.

**3** The standard connecting arrangement (telephone jack type) for this equipment is jack type(s): USOC RJ11C.

The IC registration number of the modem is shown below.

CANADA: 1353 11026A

# Notes for Users in Australia and New Zealand

## Modem warning notice for Australia

Modems connected to the Australian telecoms network must have a valid Austel permit. This modem has been designed to specifically configure to ensure compliance with Austel standards when the country/region selection is set to Australia.

The use of other country/region setting while the modem is attached to the Australian PSTN would result in your modem being operated in a non-compliant manner.

To verify that the country/region is correctly set, enter the command AT+I which displays the currently active setting.

To set the country/region permanently to Australia, enter the following command sequence:

```
AT%TE=1
ATS133=1
AT&F
AT&W
AT%TE=0
ATZ
```

Failure to set the modem to the Australia region setting as shown above will result in the modem being operated in a non-compliant manner. Consequently, there would be no permit in force for this equipment and the Telecoms Act 1991 prescribes a penalty of \$12,000 for the connection of non-permitted equipment.

## Notes for use of this device in New Zealand

- The grant of a Telepermit for a device in no way indicates Telecom acceptance of responsibility for the correct operation of that device under all operating conditions. In particular the higher speeds at which this modem is capable of operating depend on a specific network implementation which is only one of many ways of delivering high quality voice telephony to customers. Failure to operate should not be reported as a fault to Telecom.
- In addition to satisfactory line conditions a modem can only work properly if:
  - a/ it is compatible with the modem at the other end of the call and
  - b/ the application using the modem is compatible with the application at the other end of the call - e.g., accessing the Internet requires suitable software in addition to a modem.

- This equipment shall not be used in any manner which could constitute a nuisance to other Telecom customers.
- Some parameters required for compliance with Telecom's PTC Specifications are dependent on the equipment (PC) associated with this modem. The associated equipment shall be set to operate within the following limits for compliance with Telecom Specifications:
  - a/ There shall be no more than 10 call attempts to the same number within any 30 minute period for any single manual call initiation, and
  - b/ The equipment shall go on-hook for a period of not less than 30 seconds between the end of one attempt and the beginning of the next.
  - c/ Automatic calls to different numbers shall be not less than 5 seconds apart.
- Immediately disconnect this equipment should it become physically damaged, and arrange for its disposal or repair.
- The correct settings for use with this modem in New Zealand are as follows:
  - ATB0 (CCITT operation)
  - AT&G2 (1800 Hz guard tone)
  - AT&P1 (Decadic dialing make-break ratio =33%/67%)
  - ATS0=0 (not auto answer)
  - ATS6=4 (Blind dial delay)
  - ATS7=less than 90 (Time to wait to carrier after dialing)
  - ATS10=less than 150 (loss of carrier to hangup delay, factory default of 15 recommended)
  - ATS11=90 (DTMF dialing on/off duration=90 ms)
  - ATX2 (Dial tone detect, but not (U.S.A.) call progress detect)
- When used in the Auto Answer mode, the S0 register must be set with a value 3 or 4. This ensures:
  - (a) a person calling your modem will hear a short burst of ringing before the modem answers. This confirms that the call has been successfully switched through the network.
  - (b) caller identification information (which occurs between the first and second ring cadences) is not destroyed.

- The preferred method of dialing is to use DTMF tones (ATDT...) as this is faster and more reliable than pulse (decadic) dialing. If for some reason you must use decadic dialing, your communications program must be set up to record numbers using the following translation table as this modem does not implement the New Zealand "Reverse Dialing" standard.

Number to be dialed: 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

Number to program into computer: 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

Note that where DTMF dialing is used, the numbers should be entered normally.

- The transmit level from this device is set at a fixed level and because of this there may be circumstances where the performance is less than optimal. Before reporting such occurrences as faults, please check the line with a standard Telepermitted telephone, and only report a fault if the phone performance is impaired.
- It is recommended that this equipment be disconnected from the Telecom line during electrical storms.
- When relocating the equipment, always disconnect the Telecom line connection before the power connection, and reconnect the power first.
- This equipment may not be compatible with Telecom Distinctive Alert cadences and services such as FaxAbility.

**NOTE THAT FAULT CALLOUTS CAUSED BY ANY OF THE ABOVE CAUSES MAY INCUR A CHARGE FROM TELECOM**

**General conditions**

As required by PTC 100, please ensure that this office is advised of any changes to the specifications of these products which might affect compliance with the relevant PTC Specifications.

The grant of this Telepermit is specific to the above products with the marketing description as stated on the Telepermit label artwork. The Telepermit may not be assigned to other parties or other products without Telecom approval.

A Telepermit artwork for each device is included from which you may prepare any number of Telepermit labels subject to the general instructions on format, size and colour on the attached sheet.

The Telepermit label must be displayed on the product at all times as proof to purchasers and service personnel that the product is able to be legitimately connected to the Telecom network.

The Telepermit label may also be shown on the packaging of the product and in the sales literature, as required in PTC 100.

The charge for a Telepermit assessment is \$337.50. An additional charge of \$337.50 is payable where an assessment is based on reports against non-Telecom New Zealand Specifications. \$112.50 is charged for each variation when submitted at the same time as the original.

An invoice for \$NZ1237.50 will be sent under separate cover.

# 東芝 PC ダイアルのご案内

パソコンの操作についてのお問い合わせは、東芝 PC ダイアルにご連絡ください。

【お問い合わせの際には「お客様登録番号」をお伺いしております。あらかじめ「お客様登録（ユーザ登録）」いただきますようお願い申し上げます。】

## 東芝PCダイアル

技術的なご質問、お問い合わせに電話でお答えします。

※受付時間／9：00～19：00

（祝日、12/31～1/3を除く）

ナビダイヤル

全国共通電話番号 **0570-00-3100**（サポート料無料）

【電話番号は、お間違えのないようお確かめの上、おかけいただきますようお願いいたします】

お客様からの電話は全国6箇所（千葉市、大阪市、名古屋市、福岡市、仙台市、札幌市）の最寄りの拠点に自動的に接続されます。

ナビダイヤルでは、ダイヤル後に通話区間料金のアナウンスが流れます。これはお客様から全国6箇所の最寄りの拠点までの通常電話料金で、サポート料金ではありません。

ナビダイヤルでは、NTT以外とマイラインプラスをご契約の場合でも、自動的にNTT回線を使用することになりますので、あらかじめご了承ください。

次のようなお電話は、上記の電話ではお受けできません。

該当されるお客様は、043-298-8780（直通）をご利用ください。

- 海外からのお電話
- 携帯電話、PHS
- NTT以外の電話事業者を経由しての接続（0088、0077など）
- 企業で一部使用されている契約回線
- 企業のPBXで「0570」が使用できない設定になっているもの



- $\alpha$ -LCR / Super-LCR などの設定でご使用のお電話は、設定を解除することで「0570-00-3100」をご利用いただけます（解除方法はお手持ちの『電話機に付属の説明書』をご覧ください）。
- 「東芝 PC FAX 情報サービス」からも、商品情報、Q&A などの情報を FAX（G3 規格）で入手することができます。
- 「東芝 PC テクノセンタ」（東京 / 大阪）では対面相談を受け付けております（技術相談 / 作業は有償）



参照 詳細について ⇨ 『東芝 PC サポートのご案内』

# トラブルチェックシート

お問い合わせの際には「お客様登録番号」をお伺いしております。本製品のお客様登録（ユーザ登録）をあらかじめ行っていただくようお願いしております。本体同梱の「お客様登録カード」またはインターネット経由で登録できます。

 ユーザ登録について ⇨ 「1章 3 ユーザ登録」

**Q.1** ご使用になっているパソコン名（型名）は？

（本体や取扱説明書をご覧ください）

機種名： \_\_\_\_\_

お客様登録番号： \_\_\_\_\_

下記の情報をお尋ねすることがございます。

（製造番号： \_\_\_\_\_、購入店： \_\_\_\_\_、購入日： \_\_\_\_\_ など）

**Q.2** ご使用になっているソフトウェア環境は？

Windows®2000 など、お使いのシステムとアプリケーションをお知らせください

OS（システム名）： \_\_\_\_\_

その他： \_\_\_\_\_

**Q.3** どのような症状が起きましたか？

症状： \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

**Q.4** その症状はどのような操作をした後、発生するようになりましたか？

操作内容： \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

**Q.5** エラーメッセージなどは表示されましたか？

表示内容：

---

---

**Q.6** その症状はどれくらいの頻度で発生しますか？

- 一度発生したが、その後発生しない
- 電源を切らないと発生するが、電源を切って再起動すれば発生しない
- 電源を切ってから再起動しても必ず発生する
- その他：

**Q.7** その症状が発生するのは決まった操作の後ですか？

- ある一定の操作をすると発生する
- どんな操作をしても発生する
- その他：

**Q.8** インターネットや通信に関するご相談の場合

プロバイダ名：

---

使用モデム名：

---

使用回線： 内線発信アリ  マイライン契約アリ  ISDN  携帯  
 DSL/ケーブルTV

**Q.9** お問い合わせの内容が周辺機器の場合、ご使用になっている周辺機器名は何ですか？

機器名（製品名）：

---

メーカー名：

---

オペレーティングシステムのバージョンやCPUの種類について東芝 PC ダイアルから聞かれた場合は、[PC 診断ツール] の [基本情報の表示] ボタンをクリックしてご確認ください。

# さくいん

## (記号)

 キーを使ったショートカットキー ..... 63

## (A)

AC アダプタ ..... 10, 52  
Alt キー ..... 58  
Arrow Mode LED ..... 59, 62  
AT コマンド ..... 66  
Auto Power On ..... 129

## (B)

BackSpace キー ..... 59  
BATTERY ..... 124  
Battery LED ..... 47, 99  
Battery Save Mode ..... 124  
BIOS ..... 120  
BOOT PRIORITY ..... 130  
Boot Priority ..... 130  
Break キー ..... 59  
Built-in HDD ..... 133  
Built-in LAN ..... 133

## (C)

Caps Lock LED ..... 58, 64  
Caps Lock 英数キー ..... 58  
CONFIGURATION ..... 131  
Controller Mode ..... 132  
CPU Cache ..... 128  
CPU 周波数の設定 ..... 117  
Ctrl キー ..... 58

## (D)

DC IN LED ..... 32, 47  
Del キー ..... 59  
Device Config ..... 131  
Disk LED ..... 47  
DISPLAY ..... 127  
DRIVES I/O ..... 133  
Dynamic CPU Frequency Mode  
..... 129

## (E)

End ..... 63  
Enter キー ..... 59  
Esc キー ..... 58

## (F)

Fn キー ..... 59  
Fn キーを使った特殊機能キー ..... 61

## (H)

Hard Disk Mode ..... 127  
Home ..... 63

## (I)

Ins キー ..... 59  
Internal Pointing Device ..... 126

## (L)

LAN コネクタ ..... 50, 72  
LAN のウェイクアップ ..... 119  
LCD Display Stretch ..... 127  
LEGACY EMULATION ..... 131  
Level 2 Cache ..... 128

## (M)

MEMORY .....	124
MS-IME .....	65

## (N)

Network Boot Protocol .....	130
Not Registered .....	124
Numeric Mode LED .....	59, 62

## (O)

OS の起動 .....	118
OTHERS .....	128

## (P)

Panel Power On/Off .....	130
PASSWORD .....	124
Pause キー .....	59
PC CARD .....	132
PCI BUS .....	131
PCI LAN .....	133
PC カードスロット (コンパクト フラッシュモデル) .....	49, 81
PC カードスロット (無線 LAN モデル) .....	48, 81
PC カードの取り付け .....	82
PC カードの取りはずし .....	83
PERIPHERAL .....	126
PgDn .....	63
PgUp .....	63
Power LED .....	32, 47
Power On Display .....	127
Power-up Mode .....	128
PrtSc キー .....	59

## (R)

Registered .....	124
RGB コネクタ .....	50, 89

## (S)

SD Card LED .....	85
SD メモリカードスロット .....	46, 84
SD メモリカードのセット .....	85
SD メモリカードの取り扱い .....	212
SD メモリカードの取りはずし .....	86
Shift キー .....	58, 59
Space キー .....	58
SysRq キー .....	59

## (T)

Tab キー .....	58
Total .....	124

## (U)

USB KB/Mouse Legacy Emulation .....	131
USB-FDD Legacy Emulation .....	132
USB キーボード/マウス レガシーサポート .....	118
USB コネクタ (コンパクト フラッシュモデル) .....	49, 50
USB コネクタ (無線 LAN モデル) .....	50
USB フロッピーディスク レガシーサポート .....	119

## (W)

Win キー .....	58
--------------	----

## (ア)

アプリケーションCD-ROM .....	195
アプリケーションキー .....	59
アロー状態 .....	62

## (イ)

インスタントセキュリティ機能 .....	61
インターネットボタン .....	47

## (エ)

液晶ディスプレイの取り扱い .....	210
---------------------	-----

## (オ)

オーバーレイキー .....	59
大文字ロック状態 .....	64
オンラインマニュアル .....	208

## (カ)

書き込み可能状態 .....	85
書き込み禁止状態 .....	85
カタカナ／ひらがなキー .....	59
カナロック状態 .....	64
画面のお手入れ .....	210
漢字キー .....	58
漢字変換 .....	65

## (キ)

キーフロッピーディスク .....	137
キーボード .....	46, 58
キーボードによるスタンバイ復帰 .....	118
キーボードの取り扱い .....	210
起動時の表示装置 .....	117
起動するドライブを変更する .....	35
休止状態 .....	41

## (ク)

クリック .....	55, 56
------------	--------

## (コ)

コネクタカバー (コンパクト フラッシュモデル) .....	49
コネクタカバー (無線LANモデル) .....	48
コンパクトフラッシュカード スロット .....	49, 87
コンパクトフラッシュカードの セット .....	87
コンパクトフラッシュカードの 取り扱い .....	212
コンパクトフラッシュカードの 取り出し .....	88

## (サ)

再セットアップ .....	194
---------------	-----

## (シ)

システムインジケータ .....	46, 47
[省電力] アイコン .....	102
消耗品 .....	213

## (ス)

スーパーバイザパスワード .....	140
数字ロック状態 .....	62
スクロール .....	56
スクロールロック状態 .....	62
スタンバイ .....	38
スピーカ .....	51, 54

## (セ)

赤外線ポート .....	48
セキュリティロック・スロット ...	46
セットアップ (Windows 2000) .....	20
セットアップ (Windows XP) ...	14
セットアッププログラム.....	120

## (ソ)

増設メモリスロット .....	51, 91
-----------------	--------

## (タ)

大容量バッテリー .....	111
大容量バッテリー LED .....	47, 101
大容量バッテリーの取り付け .....	112
大容量バッテリーの取りはずし ...	113
タッチパッド .....	46, 55
タッチパッドオン／オフ機能 .....	56
タッチパッドの取り扱い.....	211
タッピング .....	56
ダブルクリック .....	55, 56

## (ツ)

通風孔 .....	46
-----------	----

## (テ)

ディスプレイ .....	46
ディスプレイ開閉ラッチ .....	11, 46
デバイスの設定 .....	117
電源コード .....	10, 52
電源コードの取り扱い .....	194
電源コネクタ (コンパクト フラッシュモデル) .....	10, 49
電源コネクタ (無線 LAN モデル) .....	10, 48

電源スイッチ .....	33, 46
電源に接続する .....	10

## (ト)

東芝 HW セットアップ .....	116
東芝 PC お客様登録 .....	28
東芝省電力ユーティリティ .....	106
特殊機能キー .....	64
時計用バッテリー .....	98
ドッキングポート .....	51, 112
ドラッグアンドドロップ .....	55, 56

## (ナ)

内蔵 LAN .....	119
--------------	-----

## (ニ)

日本語入力システム .....	65
入力モード .....	65

## (ネ)

ネットワークブートプロトコル .....	118
-------------------------	-----

## (ハ)

パスワードとして使用できる文字 .....	135
パソコン本体の取り扱い .....	209
バックライト用蛍光管 .....	210
バッテリー駆動 .....	96
バッテリー駆動で使用できる時間 .....	100
バッテリーの充電時間 .....	100
バッテリーの充電方法 .....	99
バッテリーパック .....	51, 96

バッテリーパックの取り付け／ 取りはずし .....	105
バッテリーを長持ちさせるには ...	104
パネルスイッチ機能 .....	44
半／全キー .....	58

## (ヒ)

左ボタン .....	46, 55
標準システムインストール 起動ディスク .....	200

## (フ)

ファンクションキー .....	58
-----------------	----

## (ヘ)

ヘッドホン出力端子 (コンパクト フラッシュモデル) .....	49
ヘッドホン出力端子 (無線 LAN モデル) .....	48
変換キー .....	59

## (ホ)

保守サービス .....	213
保守部品 .....	213

## (マ)

マイク入力端子 (コンパクト フラッシュモデル) .....	49
マイク入力端子 (無線 LAN モデル) .....	48

## (ミ)

右ボタン .....	46, 55
ミュート .....	54

## (ム)

無線 LAN .....	72
無変換キー .....	58

## (メ)

メールボタン .....	47
メモリの取り付け .....	92
メモリの取りはずし .....	93
メモリ容量の確認 .....	94

## (モ)

文字キー .....	60
モジュラーケーブル .....	52
モジュラーケーブルの取り付け ...	66
モジュラージャック .....	50
モジュラージャックカバー (コン パクトフラッシュモデル) ....	49
モジュラージャックカバー (無線 LAN モデル) .....	48
モデムの地域設定を変更する .....	67

## (ヤ)

矢印キー .....	59
------------	----

## (ユ)

ユーザ登録 .....	28
ユーザパスワードの削除 .....	139
ユーザパスワードの登録 .....	136
ユーザパスワードを忘れてしまった 場合 .....	141

## (ラ)

ライトプロテクトタブ .....	84
------------------	----

## (リ)

リカバリ .....	194
リカバリ CD-ROM .....	195
リッドスイッチ .....	47
リリース情報 .....	1

## (ロ)

ローマ字キー .....	59
--------------	----

## (ワ)

ワイヤレスコミュニケーション	
LED .....	47, 77
ワイヤレスコミュニケーション	
スイッチ .....	48, 77